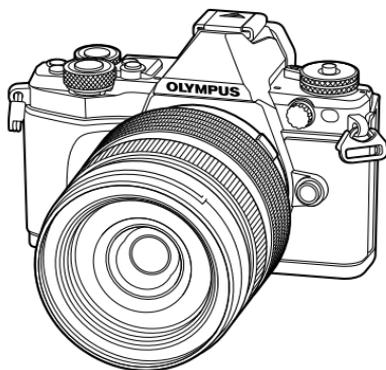


OLYMPUS®

デジタルカメラ

E-M5 Mark II

取扱説明書



もくじ

やりたいこと別かんたん検索

1. 準備する
2. 撮影する
3. 再生する
4. メニューの機能
5. スマートフォンと接続する
6. パソコン・プリンターと接続する
7. 電池／充電器／カード
8. 交換レンズについて
9. 別売品を使う
10. 資料
11. 安全にお使いいただくために
12. ファームアップによる追加・変更

Model No. : E-M5 II

■ オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前に良くお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。

■ ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。

■ 取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

■ カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

■これは付属のフラッシュに関する、主に北米の方へのお知らせです。

Information for Your Safety

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using your photographic equipment, basic safety precautions should always be followed, including the following:

- Read and understand all instructions before using.
- Close supervision is necessary when any flash is used by or near children. Do not leave flash unattended while in use.
- Care must be taken as burns can occur from touching hot parts.
- Do not operate if the flash has been dropped or damaged - until it has been examined by qualified service personnel.
- Let flash cool completely before putting away.
- To reduce the risk of electric shock, do not immerse this flash in water or other liquids.
- To reduce the risk of electric shock, do not disassemble this flash, but take it to qualified service personnel when service or repair work is required. Incorrect reassembly can cause electric shock when the flash is used subsequently.
- The use of an accessory attachment not recommended by the manufacturer may cause a risk of fire, electric shock, or injury to persons.

SAVE THESE INSTRUCTIONS

本書の表記について

本文中、以下の表記を使用しています。

 注意	故障やトラブルになるような重要な注意事項や絶対に避けていただきたい操作について記載しています。
 メモ	実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。
 こんなときは	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。

やりたいこと別かんたん検索	6
各部の名称	8
準備する	10
同梱品を確認する	10
電池を充電する／入れる	11
カードを入れる	12
カードを取り出す	12
レンズを取り付ける	13
モニターを操作する	14
電源を入れる	15
日時を設定する	16
撮影する	17
撮影時の情報表示	17
撮影時のモニター表示	17
表示の切り換え	19
ライブビュー撮影／ファインダー撮影を切り換える	19
情報表示を切り換える	20
静止画を撮る	21
タッチパネルを使って撮る	23
iオートモードを使う	24
シーンモードを使う	26
オートフィルターを使う	28
フォトストリーモードを使う	30
カメラまかせで撮影する (Pプログラム撮影)	32
絞りを決めて撮影する (A絞り優先撮影)	33
シャッター速度を決めて撮影する (Sシャッター優先撮影)	34
絞りとシャッター速度を自分で決める (Mマニュアル撮影)	35
長秒時(バルブ)撮影	35
ライブコンポジット(比較明合成)撮影	36
ムービーを撮る	37
ムービーモード(99)を使う	38
ムービー録画中の静止画撮影 (動画中静止画撮影)	39
ムービー録画時の静音機能を使う	39
マイクリップスを撮る	40
マイクリップスの編集	41
スロー／クイック撮影	42
撮影機能を使う	43
撮影機能呼び出す	43
画像の明るさを変えて撮影する (露出補正)	45
露出を固定する(AEロック)	45
ピントの位置を自分で決める (AFターゲット選択)	46
スモールターゲットやグループ ターゲットを使う(AFターゲット設定)	46
顔優先AF／瞳検出AFを使う	47
拡大枠AF/拡大AFを使う (スーパースポットAF)	48
ピントの合わせ方を設定する(AF方式)	49
ハイライト部／シャドウ部の明るさを 変えて撮影する	50
色合いをコントロールする (カラークリエイター)	50
HDR (ハイダイナミックレンジ)撮影を する	51
明るさを測る方法を選ぶ(測光)	52
感度を変更する(ISO感度)	52
画像の色合いを調整する (ホワイトバランス)	53
ホワイトバランスを微調整する (ホワイトバランス補正)	54
手ぶれを抑えて撮影する(手ぶれ補正)	55
連写する／セルフタイマーを使う	56
シャッター動作時の振動を 防いで撮影する(低振動撮影)	57
シャッター音を立てずに撮影する (静音撮影)	57
より解像度の高い静止画を撮影する (ハイレゾショット)	58
アスペクト比を設定する	58
画質を選択する(静止画画質モード)	59
画質を選択する(ムービー画質モード)	60
フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影)	61

フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ発光量補正)	64
ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)	64
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	68
鮮鋭さを微調整する(シャープネス)	69
明暗の差を微調整する(コントラスト)	69
色の鮮やかさを微調整する(彩度)	69
画像の階調を微調整する(階調)	70
色の再現方式を設定する(カラー設定)	71
ムービー撮影の録音の設定をする (ムービー録音)	72
ムービーに効果をつける	72

再生する 74

再生時の情報表示	74
再生画像情報	74
情報表示を切り換える	75
撮った画像／ムービーを見る	76
インデックス再生／カレンダー再生	77
静止画を見る	77
音量の調節	78
ムービーを見る	79
画像のプロテクト(保護)	79
画像の消去(1コマ消去)	79
画像に転送予約をつける ([シェア予約])	80
画像の選択([選択コマシェア予約] [プロテクト]・[選択コマ消去])	80
タッチパネルを使う	81
画像を選択する／プロテクトする	81

メニューの機能 82

メニューの基本操作	82
撮影メニュー1／撮影メニュー2を 使う	83
カードを初期化する (カードセットアップ)	83
全コマを消去する (カードセットアップ)	83
カメラの設定を初期値に戻す (リセット)	84
お気に入りの設定を登録する (マイセット)	84
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	85

画質を選択する(画質モード)	85
被写体を拡大して記録する (デジタルテレコン)	86
セルフタイマーを設定する(☺/☺)	86
一定時間ごとに自動的に撮影する (☺)インターバル撮影)	87
条件を少しずつ変化させて撮影する (ブラケット撮影)	88
複数の画像を重ね合わせて撮影する (多重露出撮影)	91
台形補正をする／遠近感を強調する (デジタルシフト撮影)	92
低振動撮影／静音撮影を設定する (低振動[+]／静音[♥]撮影)	93
ハイレゾショットを設定する (ハイレゾショット)	93
ワイヤレスRCフラッシュ撮影	93

再生メニューを使う 94

画像を回転して再生する(回転再生)	94
画像編集	94
全プロテクト解除	96

セットアップメニューを使う 97

日時設定	97
●● (言語切り換え)	97
モニタ調整	97
撮影確認	97
Wi-Fi設定	97
☼メニュー表示	97
バージョン	97

カスタムメニューを使う 98

☼ AF/MF	98
☼ ボタンダイヤルレバー	99
☼ レリーズ/連写	99
☼ 表示/音/接続	100
☼ 露出/測光/ISO	102
☼ フラッシュ	103
☼ 画質/色/WB	103
☼ 記録/消去	104
☼ 動画	105
☼ 内蔵EVF	107
☼ その他	107
AEL/AFLモード	108
MFアシスト	109
☼ レバー機能	109

カメラの画像をテレビで見る.....	110
操作画面の表示を選ぶ (Control表示).....	111
情報表示の画面を追加する.....	112
フラッシュ自動発光時の シャッター速度.....	113
JPEGの画像サイズと圧縮率の 組み合わせ.....	114
自分撮りアシストメニューを使って 自分を撮る.....	114
ファインダー内表示のスタイルを 選ぶ.....	115

スマートフォンと接続する 116

スマートフォンに接続する.....	117
スマートフォンに画像を転送する...	118
スマートフォンから リモート撮影する.....	118
画像に位置情報をつける.....	119
接続方法を変更する.....	120
パスワードを変更する.....	120
シェア予約を解除する.....	121
無線LAN設定を初期化する.....	121

パソコン・プリンターと接続する 122

カメラをパソコンに接続する.....	122
パソコンに画像を取り込んで 保存する.....	122
ソフトウェアのインストール.....	123
ダイレクトプリント(PictBridge)....	125
かんたんプリントでプリントする.....	125
カスタムプリントでプリントする.....	126
プリント予約(DPOF).....	127
プリント予約する.....	127
プリント予約を選択して解除する/ すべて解除する.....	128

電池／充電器／カード 129

電池／充電器についてのご注意 ...	129
海外での使用について.....	129
使用できるカード.....	130
画質モード／ファイル容量／ 撮影可能枚数.....	131

交換レンズについて 132

主なM.ZUIKO DIGITALレンズの 仕様.....	133
----------------------------------	-----

別売品を使う 137

パワーバッテリーホルダー (HLD-8).....	137
専用フラッシュ.....	139
ワイヤレスRCフラッシュ撮影.....	139
市販のフラッシュについて.....	140
主なアクセサリーについて.....	141
システムチャート.....	142

資料 144

こんなときは?.....	144
エラーコード.....	146
カメラのお手入れと保管.....	148
カメラのお手入れ.....	148
カメラの保管.....	148
撮像素子のクリーニングとチェック.....	148
画像処理機能をチェックする ーピクセルマッピング.....	149
アフターサービス.....	149
メニュー一覧.....	150
仕様.....	157

安全にお使いいただくために 160

安全にお使いいただくために.....	160
使用上のご注意.....	163
その他のご注意.....	164

ファームアップによる追加・変更 167

索引 176

作例写真を使った撮影テクニック

ハウツー グッドピクチャー

<http://www.olympus.co.jp/jp/imsj/webmanual/>

やりたいこと別かんたん検索

撮影について



カメラまかせて撮りたい	▶ iオートモード (IAUTO)	24
撮影する画像の縦横比を変えたい	▶ アスペクト比	58
シーンに合わせて簡単に撮りたい	▶ シーンモード(SCN)	26
簡単に一眼らしい写真を撮りたい	▶ ライブガイド	24
白いものを白く／黒いものを黒く撮りたい	▶ 露出補正	45
背景をぼかして撮影したい	▶ ライブガイド／ A (絞り優先)	24/33
	▶ ライブガイド	24
被写体の動きを止めて撮りたい／被写体の動きを表現したい	▶ S (シャッター速度優先)	34
	▶ シーンモード(SCN)	26
正しい色合いで撮影したい	▶ ホワイトバランス	53
	▶ ワンタッチWB	54
撮るものに合った仕上がりにしたい／モノクロ撮影したい	▶ ピクチャーモード	68
	▶ アートフィルター (ART)	28
狙った被写体にピントが合わない／狙った1点にピントを合わせたい	▶ タッチパネルを使う	23
	▶ AFターゲット選択	46
	▶ 拡大枠AF / 拡大AF	48
小さな領域にピントを合わせたい／撮影前にピントをしっかりと確認したい	▶ 拡大枠AF / 拡大AF	48
ピントを合わせてから構図を変えたい	▶ C-AF+TR (追尾AF)	49
フラッシュを使わないで撮影したい	▶ ぶれ軽減 / ISO感度	26/52
	▶ 手ぶれ補正 / 低振動撮影	55/57
手ぶれを防ぎたい	▶ セルフタイマー	56
	▶ リモートケーブル	141
逆光時に被写体が暗くならないようにしたい	▶ フラッシュ撮影	61
	▶ 階調(ピクチャーモード)	70
花火を撮影したい	▶ バルブ撮影 / タイム撮影	35
	▶ ライブコンポジット撮影	36
	▶ シーンモード(SCN)	26
	▶ 階調(ピクチャーモード)	70
白とび／黒つぶれを防ぎたい	▶ ヒストグラム / 露出補正	20/45
	▶ ハイライト&シャドウコントロール	50

できるだけノイズ(ざらつき)を抑えて撮りたい	▶ 長秒時ノイズ低減	102
モニターを見やすくしたい／ モニターの色味を調節したい	▶ モニタ調整／LVブースト	97/100
設定した効果を撮影前に確認したい	▶ プレビュー機能 試し撮り撮影	65 65
水平・垂直を確認しながら撮りたい	▶ 水準器	20
構図を意識して撮影したい	▶ 表示野線選択	100
撮った写真をすぐに拡大してピントを確認したい	▶ Auto☑ (撮影確認)	97
自分も写真に写りたい	▶ セルフタイマー シーンモード(SCN)	56 26
連続して写真を撮りたい	▶ 連写	56
電池を長持ちさせて撮りたい	▶ 低消費電力撮影	108
撮影枚数を増やしたい	▶ 画質モード	59
スマートフォンからリモート撮影したい	▶ スマートフォンからリモート撮影する	118
シャッター音を立てないで撮りたい	▶ 静音撮影	57

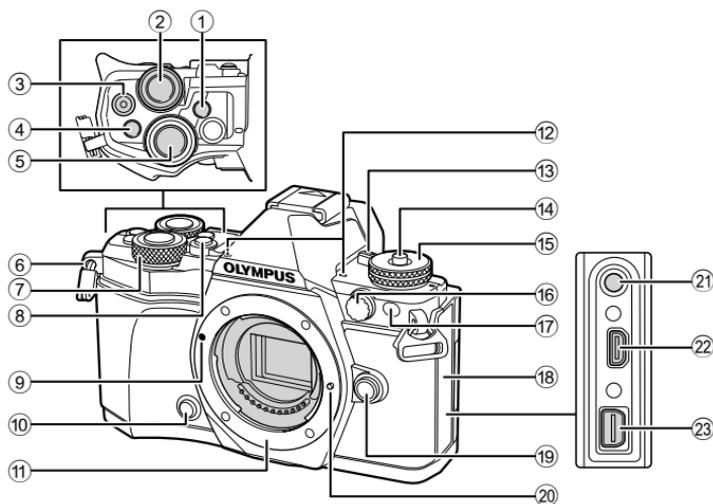
再生／編集について

テレビに映して楽しみたい	▶ HDMI／ビデオ出力 テレビ再生	100 110
BGMつきスライドショーを楽しみたい	▶ スライドショー	78
暗く影になった部分を明るくしたい	▶ 階調オート(JPEG編集)	95
赤目を修正したい	▶ 赤目補正(JPEG編集)	95
簡単に印刷したい	▶ ダイレクトプリント	125
プリントサービス店に依頼したい	▶ プリント予約	127
スマートフォンに画像を転送したい	▶ スマートフォンに画像を転送する	118
画像に位置情報を付与したい	▶ 画像に位置情報をつける	119

設定について

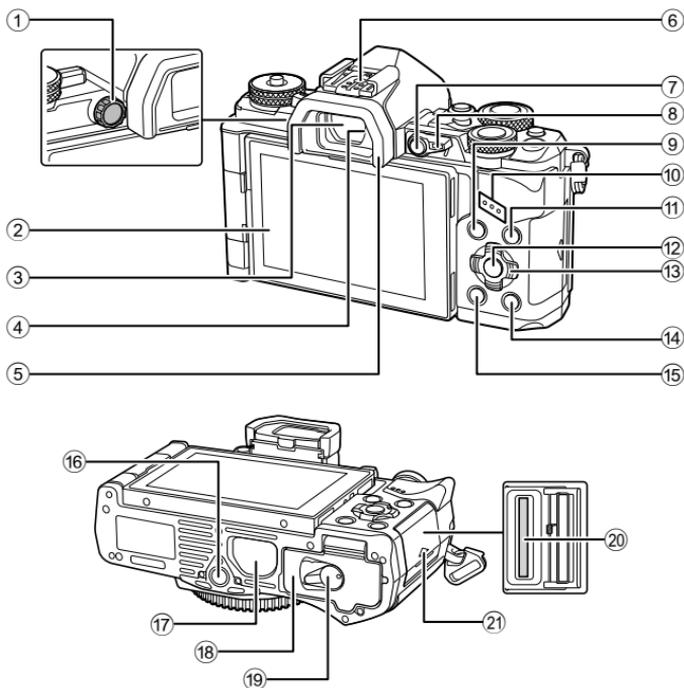
日付や時間を合わせたい	▶ 日時を設定する	16
最初の設定に戻したい	▶ リセット	84
設定した内容を保存したい	▶ マイセット	84
メニューの表示言語を切り換えたい	▶  (言語切り換え)	97
AF合焦音を鳴らないようにしたい	▶ 電子音	101

各部の名称



- | | | | | | |
|---|--------------------------------------|---------------------------|---|---|-----------------|
| ① | □ (LV) ボタン (Fn3) | p.19, 64 | ⑬ | ON/OFF レバー | p.15 |
| ② | リアダイヤル* (☉) | p.32-35, 44-45, 60, 66-67 | ⑭ | モードダイヤルロック | p.21 |
| ③ | ● (ムービー) / ☑ ボタン | p.37, 64, 80 | ⑮ | モードダイヤル | p.21 |
| ④ | Fn2 ボタン | p.50, 66, 109 | ⑯ | 外部フラッシュ端子 | p.140 |
| ⑤ | シャッターボタン | p.22 | ⑰ | セルフタイマーランプ / AFイルミネータ | p.56 / p.98 |
| ⑥ | ストラップ取り付け部 | p.10 | ⑱ | 端子カバー | |
| ⑦ | フロントダイヤル* (☉) | p.32-35, 76 | ⑲ | レンズ取り外しボタン | p.13 |
| ⑧ | HDR ボタン (Fn4) | p.51, 64 | ⑳ | レンズロックピン | |
| ⑨ | レンズ合わせマーク | p.13 | ㉑ | マイク端子 (市販のマイクを接続できます。φ3.5ステレオミニプラグ) | |
| ⑩ | ☉ (プレビュー) ボタン | p.65 | ㉒ | HDMI端子 (タイプD) | p.110 |
| ⑪ | マウント (ボディキャップを外してからレンズを取り付けます) | | ㉓ | マルチコネクタ | p.110, 122, 125 |
| ⑫ | ステレオマイク | p.72, 80, 96 | | | |

* 本書では、フロントダイヤルやリアダイヤルの操作を ☉ や ☉ のアイコンで示しています。



- | | |
|--|--------------------------------|
| ① 視度調整ダイヤル.....p.19 | ⑪ INFO ボタン.....p.20, 75 |
| ② モニター (タッチパネル)
.....p.17, 19, 44, 74, 81 | ⑫ ボタン..... p.44–45, 82 |
| ③ ファインダー.....p.19 | ⑬ 十字ボタン*.....p.76 |
| ④ アイセンサー | ⑭ (再生) ボタン.....p.76 |
| ⑤ アイカップ.....p.141 | ⑮ (消去) ボタン.....p.79 |
| ⑥ ホットシュー.....p.61, 139 | ⑯ 三脚穴 |
| ⑦ Fn1 ボタン.....p.64 | ⑰ PBHカバー.....p.137 |
| ⑧ レバー.....p.32–35, 109 | ⑱ 電池カバーロック.....p.11 |
| ⑨ MENU ボタン.....p.82 | ⑳ カードスロット.....p.12 |
| ⑩ スピーカー | ㉑ カードカバー.....p.12 |

* 本書では十字ボタンの操作を△▽◀▶のアイコンで示しています。

1 準備する

1

準備する

同梱品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。

万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



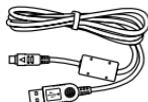
カメラ



ボディキャップ



ストラップ



USBケーブル
CB-USB6

- ・フラッシュケース
- ・PCソフトウェアCD-ROM
- ・取扱説明書
- ・保証書



フラッシュ
FL-LM3



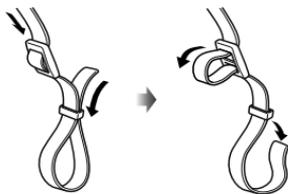
リチウムイオン電池
BLN-1



リチウムイオン充電器
BCN-1

ストラップを取り付ける

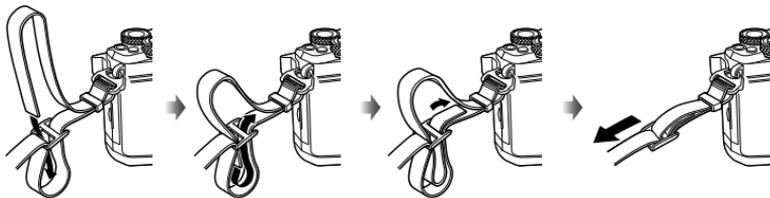
1



2



3



- ・同様に逆側も取り付けます。
- ・最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

電池を充電する／入れる

1

準備する

1 電池を充電します。

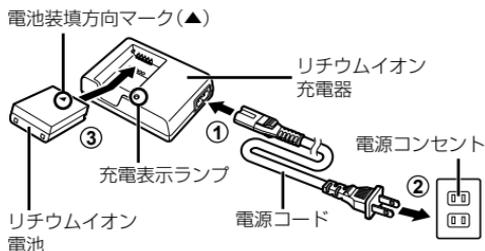
充電表示ランプ

充電中	橙点灯
充電完了	消灯
充電エラー	橙点滅

(充電時間：最長約4時間)

注意

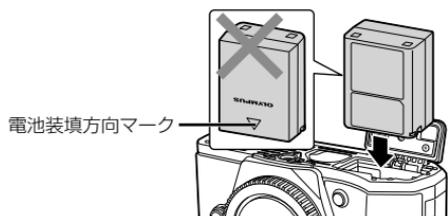
- 充電が完了したら必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。



2 電池カバーを開けます。

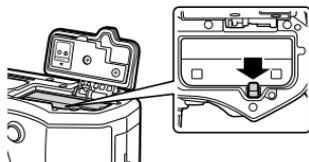


3 電池を入れます。



電池を取り出す

電池カバーを開け閉めする際は、カメラの電源を切ってください。電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押しつけてロックを外してから取り出します。



注意

- カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、当社修理センターまたはサービスステーションまでご相談ください。

メモ

- 長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 「電池／充電器／カード」も併せてお読みください(P.129)。

カードを入れる

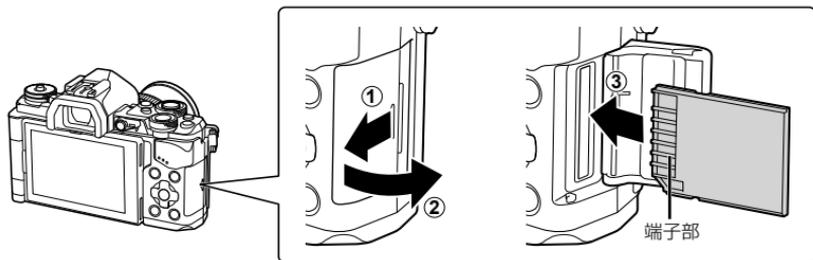
このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード(市販)です。

Eye-Fiカードをお使いのお客様へ

「使用できるカード」(P.130)をよく読んでからお使いください。

1 カードを入れます。

- カードカバーを開けます。
- カードがロックされるまで差し込みます。
🔍 「使用できるカード」(P.130)



注意

- 電池やカードの出し入れは電源を切ってから行ってください。
- 破損、変形したカードを無理に入れしないでください。カードスロットを破損させる場合があります。

2 カードカバーを閉めます。

- カチッと音がするまでしっかりと閉めます。

注意

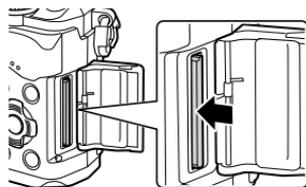
- カメラをご使用の際は、必ずカードカバーを閉じてください。

カードを取り出す

差し込まれているカードを軽く押すと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。

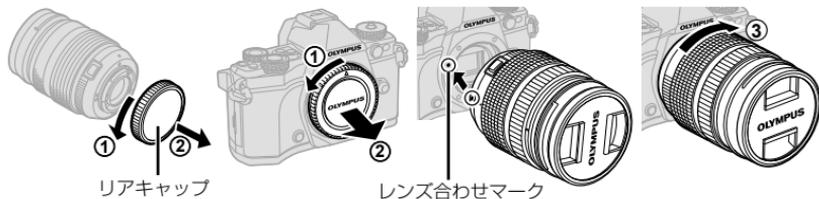
注意

- カード書き込み中のマーク(P.17)が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。



レンズを取り付ける

1 レンズを取り付けます。

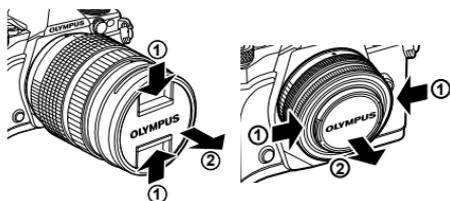


- レンズのリアキャップ、カメラのボディーキャップを外します。
- カメラのレンズ合わせマーク(赤印)にレンズの取り付け指標(赤印)を合わせ、レンズをボディに差し込みます。
- レンズをカチッと音がするまで右に回します(矢印③の方向)。

注意

- レンズ取り付けや取り外し時は電源が切れていることを確認してください。
- レンズ取り外しボタンは押さないでください。
- カメラ内部には触らないでください。

2 レンズキャップを外します。



■ レンズを取り外す

レンズの取り外し時は電源が切れていることを確認してください。

- 1 レンズ取り外しボタンを押しながら、矢印の方向に回します。



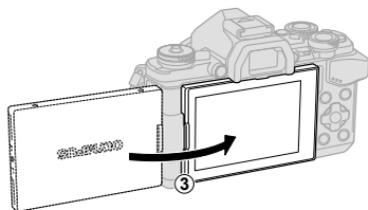
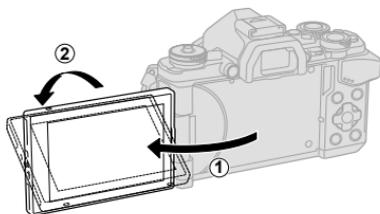
交換レンズについて

「交換レンズについて」(P.132)をお読みください。

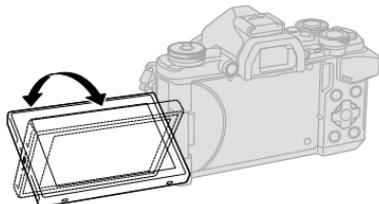
モニターを操作する

モニターの向きと角度を変えることができます。
モニターを表に向けてお使いください。

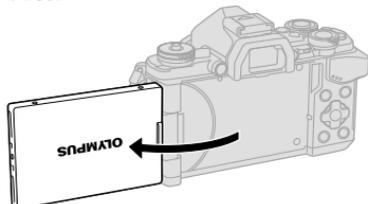
1
準備する



ローアングル/ハイアングル



自分撮り



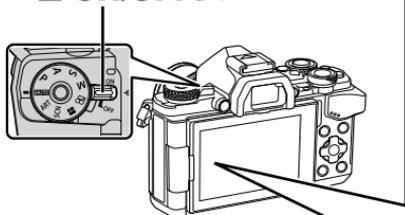
- 電動ズームレンズを使用しているときは、自分撮り位置に向けると自動的にズーム位置が広角側に移動します。
- モニターを自分撮り位置に向けると、自分撮り用の画面に切り換えることができます。
■  「自分撮りアシストメニューを使って自分を撮る」(P.114)

電源を入れる

1 ON/OFFレバーをONの位置に合わせます。

- 電源が入るとモニターが点灯します。
- 電源を切るには、レバーを**OFF**の位置に戻します。

■ ON/OFFレバー



■ モニター

電池残量

-  点灯(緑)：撮影できます。
(電源オン後、約10秒間表示します。)
-  点灯(緑)：電池が少なくなっています。
-  点滅(赤)：充電してください。



カメラのスリープ動作について

1分間何も操作しないとスリープモード(待機状態)になってモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや  ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。スリープモードで4時間放置すると電源が切れます。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。

日時を設定する

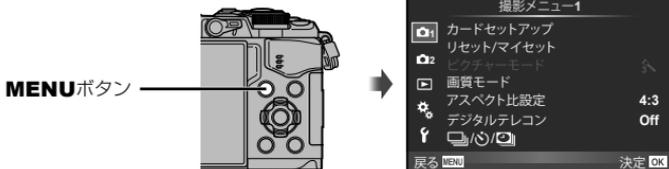
1

準備する

日時の情報は画像とともにカードに記録されます。また、ファイル名も日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

1 メニューを表示します。

- **MENU**ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。



2 [F]タブの[日時設定]を選びます。

- 十字ボタンの△▽で[F]を選択し、▶を押します。
- [日時設定]を選んで▶を押します。



3 日付／時刻／日付表示順序を設定します。

- <>で項目を選びます。
- △▽で内容を選びます。



時刻は24時間表示です。

4 設定を終了します。

- **OK**ボタンを押して日付／時刻を確定しメニューに戻ります。
- **MENU**ボタンを押してメニューを終了します。

注意

- カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時が初期状態にリセットされる場合があります。

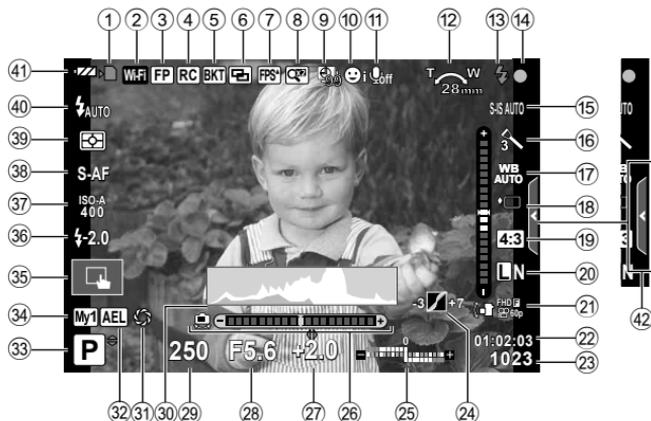
メモ

- [分]を設定中に0秒の時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、正確に時刻を合わせることができます。

2 撮影する

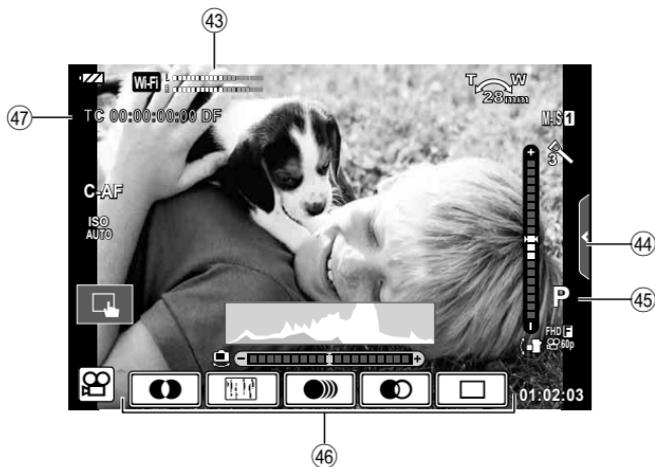
撮影時の情報表示

撮影時のモニター表示



- | | |
|---|----------------------------|
| ① カード書き込み中.....P.12 | ②① 画質モード(静止画).....P.59 |
| ② 無線LAN接続.....P.116-121 | ②② 画質モード(ムービー).....P.60 |
| ③ スーパー FP発光.....P.139 | ②③ 録画可能時間 |
| ④ RCモード.....P.139 | ②④ 撮影可能枚数.....P.131 |
| ⑤ オートブラケット/HDR撮影.....P.88 / 51 | ②⑤ ハイライト&シャドウコントロール...P.50 |
| ⑥ 多重露出.....P.91 | ②⑥ 上:フラッシュ補正 |
| ⑦ 高速フレームレート.....P.100 | ②⑥ 下:露出補正バー.....P.45 |
| ⑧ デジタルテレコン.....P.86 | ②⑦ 水準器 |
| ⑨ インターバル撮影.....P.87 | ②⑧ 露出補正值.....P.45 |
| ⑩ 顔優先/瞳優先.....P.47 | ②⑨ 絞り値.....P.32-35 |
| ⑪ ムービー録音.....P.72 | ②⑩ シャッター速度.....P.32-35 |
| ⑫ ズーム操作方向/焦点距離/
内部温度上昇警告 C/F
.....P.135 / P.147 | ②⑪ ヒストグラム.....P.20 |
| ⑬ フラッシュ.....P.61
(点滅:充電中、点灯:充電完了) | ②⑫ プレビュー.....P.65 |
| ⑭ 合焦マーク.....P.22 | ②⑬ AEロック.....P.108 |
| ⑮ 手ぶれ補正.....P.55 | ②⑭ 撮影モード.....P.21-38 |
| ⑯ アートフィルター.....P.28 | ②⑮ マイセット.....P.84 |
| ⑰ シーンモード.....P.26 | ②⑯ タッチ撮影.....P.23 |
| ⑱ ピクチャーモード.....P.68 | ②⑰ フラッシュ補正.....P.64 |
| ⑲ ホワイトバランス.....P.53 | ②⑱ ISO感度.....P.52 |
| ⑳ 連写/セルフタイマー/低振動撮影/
静音撮影/ハイレゾショット...P.56, P.57 | ③① AF方式.....P.49 |
| ㉑ アスペクト比.....P.58 | ③② 測光方式.....P.52 |
| | ④① フラッシュモード.....P.61 |
| | ④② 電池残量 |
| | ④③ ライフガイド呼び出し.....P.24 |

ムービーモード中の情報表示



- ④③ 録音レベルメーター.....P.72, 105
- ④④ 静音操作タブ.....P.39
- ④⑤ 撮影モード.....P.72
- ④⑥ 動画エフェクト.....P.38
- ④⑦ タイムコード.....P.106

表示の切り換え

ライブビュー撮影／ファインダー撮影を切り換える

このカメラでは、ファインダーを使った撮影、モニターを使ったライブビュー撮影の2つの撮影方法が選べます。撮影方法の切り換えは、**IO**ボタンを押します。

ライブビュー撮影



■モニター



ライブビュー表示



カーソル



撮影機能を設定するときは、**OK**ボタンを押すとLVスーパーコンパネにカーソルが表示されるので、設定したい機能にタッチします。



ファインダー撮影



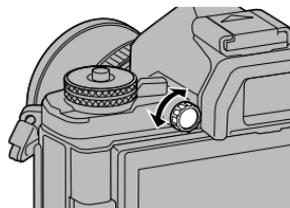
■ファインダー

目を近づけると自動的に点灯します。

ファインダー点灯中は、モニターは消灯します。

ファインダー内の表示がぼやけて見えるときは

ファインダーをのぞきながら、ファインダー内の表示がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回します。



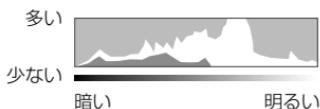
情報表示を切り換える

INFO ボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。



ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。

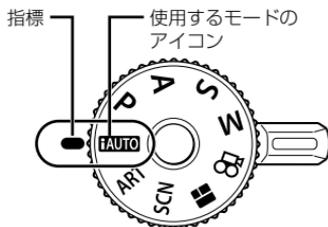


水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。水準器の表示は目安としてお使いください。

静止画を撮る

モードダイヤルを使って撮影モードを選んで撮影します。



2

撮影する

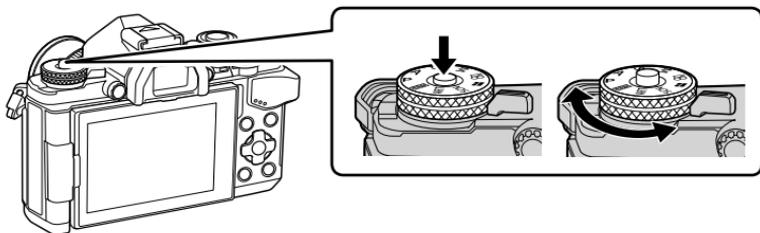
■ 撮影モードの種類

各撮影モードの使い方は以下をご覧ください。

iAUTO	P.24	■	P.30	S	P.34
SCN	P.26	P	P.32	M	P.35
ART	P.28	A	P.33	f/8	P.37

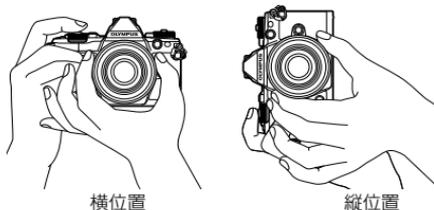
1 モードダイヤルロックを押してロックを解除し、モードダイヤルを回して使用するモードに設定します。

- モードダイヤルロックが押し込まれているとき、モードダイヤルはロックされています。モードダイヤルロックを押すたびにロック／解除が切り換わります。



2 カメラを構えて構図を決めます。

- レンズやAFイルミネータに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



3 ピントを合わせます。

- 被写体がモニター中央にくるようにして、シャッターボタンを1段目まで浅く押し込みます。(半押し)
合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑の枠(AFターゲット)が表示されます。



- カメラが自動的に決定したISO感度、シャッター速度、絞り値が表示されます。
- 合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていません。(P.144)

4 撮影します。

- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。
- シャッター音が生じ、撮影されます。
- 撮影された画像がモニターに表示されます。

シャッターボタンの半押しと全押し

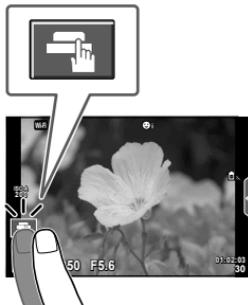
シャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを1段目まで浅く押し、そのままの状態にすることを半押しといい、2段目まで深く押し込むことを全押しといいます。



タッチパネルを使って撮る

 ボタンにタッチするたびに操作方法が切り換わります。

-  タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。 モードでは使えません。
-  タッチ操作を禁止します。
-  タッチした箇所にAFターゲットを表示してピントを合わせます。AFフレームの大きさや位置は指で操作できます。撮影はシャッターボタンを押します。



■ ピントを合わせる被写体を確認する()

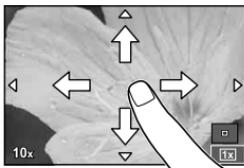
1 ピントを合わせたい被写体にタッチします。

- AFターゲットが表示されます。
- レベルバーを指で上下させると枠の大きさを変えられます。
-  にタッチするとAFターゲット表示を終了します。



2 レベルバーでAFターゲットの大きさを調節してから にタッチすると、枠の位置を拡大表示します。

- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
-  にタッチすると拡大表示を終了します。



注意

- 次の場合はタッチ操作できません。
パノラマ／3D／eポートレート／多重露出中／
バルブ、タイムまたはコンポジット撮影中／ワンタッチWB取得画面／
ボタンまたはダイヤル操作中など
- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

iオートモードを使う

カメラが撮影シーンに最適な撮影モードを自動的に設定するフルオートモードです。カメラまかせで撮影するので、はじめての方には便利です。

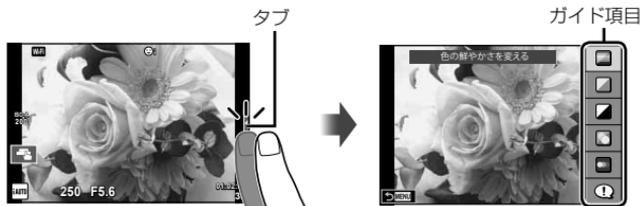
ライブガイドの操作

ライブガイドを使うとより上級の写真表現を使った撮影を簡単にすることができます。

1 モードダイヤルを**HAUTO**に設定します。

2 タブにタッチすると、ライブガイドが表示されます。

- ガイド項目をタッチして選択後に**OK**ボタンを押すと、レベルバーのスライダーが表示されます。



3 レベルバーのスライダーを指で上下させて設定します。

- OK**にタッチして設定を確定します。
- ライブガイドの設定を解除するときは、画面の**MENU**にタッチします。
- 【撮影のヒント】**を選んだときは、項目を選び**OK**にタッチすると説明が表示されます。
- レベルを選択すると画面で効果を確認できます。**【背景をぼかす】**、**【動きを表現する】**では設定を確定すると元の表示に戻りますが、撮影した画像に効果は反映されます。

レベルバー／選択肢



4 複数のライブガイドを設定する場合は、手順2と3を繰り返します。

- 設定済みのライブガイドには、ガイド項目にチェックが表示されます。



5 撮影します。

- MENU**ボタンを押すとライブガイドは終了します。

注意

- **【背景をぼかす】**、**【動きを表現する】**は同時に設定できません。
- 画質モードが**【RAW】**のときは、自動的に**【L/N+RAW】**に設定されます。
- ライブガイド設定はRAW画像には適用されません。
- ライブガイドの設定レベルによっては、画像の粗さが強調される場合があります。
- ライブガイドの設定レベルを変えても、効果をライブビューであまり確認できない場合があります。
- **【動きを流す】**では表示のフレームレートが遅くなります。
- ライブガイドではフラッシュは無効です。
- ライブガイドの設定がカメラの連動範囲外になると、白く飛んだり暗い画像になる場合があります。

シーンモードを使う

被写体に合わせてシーンを選択して撮影します。

1 モードダイヤルを**SCN**に設定します。

- シーンメニューが表示されます。十字ボタン(△▽)でシーンを選択します。
- シーン選択画面で▶を押すとそのシーンの詳細がカメラのモニターに表示されます。
- Ⓞボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると設定が確定され、シーンメニューを終了します。



■ シーンモードの種類

	ポートレート		ハイキー		打ち上げ花火
	eポートレート		ローキー		ビーチ&スノー
	風景		ぶれ軽減		フィッシュアイ
	風景&人物		マクロ		ワイド
	スポーツ		ネイチャーマクロ		マクロ
	手持ち夜景		キャンドル		3D
	夜景		夕日		流し撮り
	夜景&人物		文書		
	チャイルド		パノラマ(P.27)		

2 撮影します。

- 他の設定を選ぶときは、Ⓞボタンを押すとシーンメニューを表示できます。

注意

- シーンの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- [eポートレート]**では、効果適用前と適用後の画像の2枚が同時に記録されます。記録に時間がかかることがあります。また、画質モードが**[RAW]**のときは、RAW+JPEGで記録されます。
- [👁️フィッシュアイ]**、**[👁️ワイド]**、**[👁️マクロ]**は別売のコンバーターレンズを使用したときに使うシーンです。
- [eポートレート]**、**[手持ち夜景]**、**[パノラマ]**、**[3D]**ではムービー撮影はできません。
- [手持ち夜景]**では、1回の撮影で8コマ撮影して合成します。画質モードが**[RAW]**のときは、RAW+JPEGで1枚目のRAW画像と合成されたJPEG画像が記録されます。

- **[3D]**は以下の制限があります。
 - 3D撮影専用レンズ以外では使用できません。
 - 本機のモニターでは3D再生はできません。専用の3D対応機器で再生してください。
 - ピントは固定されます。また、フラッシュ、セルフタイマーも使用できません。
 - 画像サイズは1824×1024に固定されます。
 - RAW撮影はできません。
 - 視野率は100%ではありません。
- **[流し撮り]**は、移動している被写体を追いかけるようにカメラを動かした時に、カメラの動きを検出して、最適なシャッター速度に制御します。移動する被写体に対して、背景が流れるような撮影を行ないたい時に便利です。
 - [流し撮り]**では、流し撮り検出時に、未検出時にが表示されます。
 - [流し撮り]**で手ぶれ補正機能切り替えスイッチがついているレンズを使用する場合、手ぶれ補正機能切り替えスイッチをオフにしてください。
 - 明るいシーンでは、流し撮り効果を十分に得られない場合があります。市販のNDフィルターを使うと、効果を得られやすくなります。

パノラマ写真を撮影する

撮った画像をつなぎ合わせて、パノラマ合成画像を作成できます。パノラマ合成をするには、お使いのパソコンに付属のPCソフトウェアをインストールする必要があります。☞「パソコン・プリンターと接続する」(P.122)

1 SCNで[パノラマ]を選択して、OKボタンを押します。

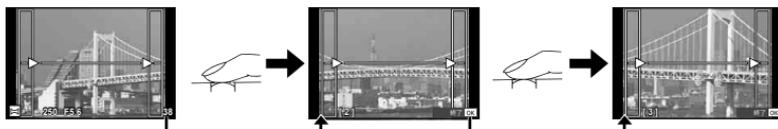
2 Δ▽◀▶で画像をつなぐ方向を選びます。

3 ガイド枠を目安に、1コマ目を撮影します。

- ピントや露出などは、1コマ目の撮影で決定されます。



4 ガイド枠内が、前の画像と重なる構図で次のコマを撮影します。



- 最大10枚までの撮影と合成が可能です。10枚撮り終わると (警告)マークが表示されます。

5 最後のコマを撮影した後にOKボタンを押して、パノラマ撮影を終了します。

注意

- パノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は表示されません。画像に表示される枠や目印となる被写体を目安に、重なり合う画像の端が枠の中に重なるように構図を設定してください。

メモ

- 1コマ目の撮影前にOKボタンを押すと、シーンモードの選択メニューに戻ります。撮影の途中でOKボタンを押すと、一連のパノラマ撮影を終了し、続けて次のパノラマ撮影ができます。

アートフィルターを使う

アートフィルターで芸術的な表現を気軽に楽しめます。

■ アートフィルターの種類

 ポップアート	色の美しさを強調した画像になります。
 ファンタジックフォークス	柔らかいトーンの中で空気感を表し、幻想的な画像になります。
 デイドリーム	全体的に光を散らし、露出をややオーバー気味にして、優しい光に包まれた浮遊感を表現した画像になります。
 ライトトーン	シャドウ一部もハイライト部も柔らかく描写し、上質で落ち着いた画像になります。
 ラフモノクローム	モノクロならではの力強さ、荒々しさを表現した画像になります。
 トイフォト	画面周辺部を暗くして、古いカメラやトイカメラを使って撮ったときのような画像になります。
 ジオラマ	彩度やコントラストを強調し、ピントを合わせた位置以外をぼかし、ミニチュアのような雰囲気画像になります。
 クロスプロセス	不安定で非現実的な雰囲気を表現した画像になります。クロスプロセスⅡは、マゼンタを強調した画像になります。
 ジェントルセピア	全体的に柔らかい描写で、落ち着いた雰囲気の中にもシャドウ部が引き締まった、しっとりとした上品な画像になります。
 ドラマチックトーン	部分的にコントラストを強くし、明暗差を強調した画像になります。
 リーニュクレール	エッジラインを強調し、イラストイストを付加した画像になります。
 ウォーターカラー	暗部を大胆に削除し、白いキャンパスに淡く明るい色彩をなじませ、さらにやわらかい輪郭線を載せて、ほんわりとした明るい雰囲気画像になります。
 ヴィンテージ	フィルムプリントの変色や退色など、日常のひとコマをノスタルジックなヴィンテージ調に表現します。
 パートカラー	強調したい色を抽出し、それ以外はモノトーンに抑えることで、被写体を印象的に表現します。
 ART BKT (アートフィルターブ ラケット)	1回の撮影で選択したすべてのアートフィルター画像を記録します。

1 モードダイヤルを**ART**に設定します。

- アートフィルターメニューが表示されます。十字ボタン(△▽)でフィルターを選択します。
- **OK**ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると設定が確定され、アートフィルターメニューを終了します。



2 撮影します。

- 他の設定を選ぶときは、**OK**ボタンを押すとアートフィルターメニューを表示できます。

アートフィルターブラケット

1回の撮影で選択したすべてのアートフィルター画像を記録します。▶ボタンを押すと、記録するフィルターの選択ができます。

アートエフェクト機能

アートフィルターの雰囲気を変えたり、エフェクト(効果)をつけることができます。アートフィルターメニューで▶ボタンを押すと設定画面が表示されます。

雰囲気変更

I：オリジナルのアートフィルター、II以降：オリジナルに対して変化をつけたもの

エフェクト(効果)の追加*

ソフトフォーカス効果、ピンホール効果、枠(フレーム)効果、ホワイトエッジ効果、スターライト効果、フィルター効果、調色、ぼかし効果、シェード効果

* 設定できる効果は、アートフィルターごとに異なります。

注意

- アートフィルターの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- 画質モードが**[RAW]**のときは、自動的に**[LN+RAW]**に設定されます。アートフィルターの効果はJPEG画像にのみ適用されます。
- 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。
- エフェクトの設定によっては、ライブビューやムービー撮影に反映しないものもあります。
- フィルター、効果、ムービーの画質設定によっては、再生時の動きが異なります。

パートカラーを設定して撮影する

カラーリングで選択した任意の色のみを抽出した画像にできます。

フロントダイヤル(**Fn**)またはリアダイヤル(**Q**)を回して抽出する色を選択します。効果はライブビューで確認できます。

撮影後に抽出する色を変えるときは、フロントダイヤル(**Fn**)またはリアダイヤル(**Q**)を回すとカラーリングが表示されます。



フォトストーリーモードを使う

フォトストーリー（組み写真）の撮影ができます。組み写真のタイプを選択して撮影します。

1 モードダイヤルを \blacksquare に設定します。

- フォトストーリーメニューが表示されます。

- \blacksquare 1: スタンダード
- \blacksquare 2: スピード
- \blacksquare 3: ズームイン/アウト
- \blacksquare 4: レイアウト
- \blacksquare 5: ファンフレーム
- \blacksquare 6: 一時保存リスト



2 \blacktriangle / \blacktriangledown でフォトストーリーのテーマを選択します。

- \blacktriangleright で、バリエーションまたは分割数を選択する詳細画面を表示できます。
- 詳細で各テーマの効果や分割数、アスペクト比の異なるフォトストーリーを選択することができます。さらに、アスペクト比や分割パターン、フレームエフェクトを個別に変更することもできます。

バリエーションを変更する

\blacktriangleright を押してから、 \blacktriangle / \blacktriangledown でバリエーションを変更します。

\blacksquare I	オリジナルのフォトストーリー
\blacksquare II \blacksquare III \blacksquare IV	オリジナルに対して効果、アスペクト比を変えたもの。 テーマごとに分割数、分割領域を変更できます。

- バリエーションごとにフレームの色やフレーム周辺部のエフェクトを変更できます。
- テーマ、バリエーションごとに異なります。

3 設定を終えたら \odot ボタンを押します。

- フォトストーリー用のモニター表示になります。
- 撮影されるフレームに被写体が表示されます。
- 未撮影フレームにタッチすると、撮影されるフレームを切り換えることができます。
- テーマを変更するときは、**MENU**ボタンを押します。

4 1フレーム目を撮影します。

- はじめのフレームに撮影画像が表示されます。



- すべてのフレームを撮り終える前に撮影を終了するには、**MENU**ボタンを押し、画像の保存方法を選択します。

【保存】 画像をSDカードに保存し、撮影を終了します。

【一時保存】 画像をSDカードに保存し、撮影をいったん終了します。保存したデータは、あとで呼び出して撮影を再開できます。(P.31)

【終了】 画像を保存せずに、撮影を終了します。

5 次のフレームを撮影します。

- 次のフレームに表示される被写体を見て撮影します。
-  ボタンを押すと、直前に撮ったフレームの画像をキャンセルして撮りなおしできます。
- 撮影画像をタッチすると、そのフレームの画像をキャンセルして撮りなおしできます。フレームにタッチしてから、 にタッチします。



6 すべてのフレームを撮影した後に、 ボタンを押して画像を保存します。

メモ

- フォトストーリー撮影中でも、以下の操作ができます。
露出補正／プログラムシフト／フラッシュ撮影(テーマが[スピード]の場合を除く)／ライブコントロール機能の設定

注意

- 撮影途中で電源をオフにすると、それまでの撮影データはすべてキャンセルされ、カードには記録されません。
- 画質モードが[RAW]のときは、自動的に[**N+RAW**]に設定されます。フォトストーリーの画像をJPEGで、それぞれのフレームの画像をRAWで保存します。RAW画像は、[4:3]で保存されます。
- 設定できる[AF方式]は[S-AF]、[MF]、[S-AF+MF]です。
また、AFターゲットは中央1点に固定されます。
- 測光方式は、デジタルESP測光に固定されます。
- フォトストーリーモードでは下記の操作はできません。
ムービー撮影／連写(テーマが[スピード]の場合を除く)／セルフタイマー／INFO表示／顔優先AF／デジタルテレコン／ピクチャーモード
- 以下のボタン操作はできません。
Fn1 / **Fn2** / **INFO** など
- フォトストーリー撮影中は、スリープモードには入りません。
撮影途中で一時保存した場合、SDカードに、撮影していないフレーム分の記録領域も確保されます。

一時保存したデータの撮影を再開する

1 モードダイヤルを \blacksquare に設定します。

2 \triangle ∇ で一時保存リスト \blacksquare を選択します。

- 途中保存したデータがインデックス表示されます。
- 途中保存したデータには \blacksquare が表示されます。

3 撮影を再開したいデータを十字ボタンで選択して、 ボタンを押します。

- 前回の撮影途中から再開します。

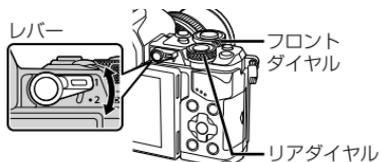


カメラまかせで撮影する(Pプログラム撮影)

Pモードは被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定する撮影モードです。モードダイヤルを**P**にします。



- レバーの位置によって、ダイヤルで設定できる機能が変わります。



ダイヤル	レバーの位置	
	1	2
	露出補正	ISO
	プログラムシフト	ホワイトバランス

- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されます。
- シャッター速度と絞り値が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
	被写体が暗すぎます。	・フラッシュを使用してください。
	被写体が明るすぎます。	・カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター(光量調節用)が必要です。

- 使用されるレンズおよび焦点距離により、点滅時の絞り値は変わります。
- [ISO感度]の設定を固定しているときは、設定を変更してください。[ISO感度] (P.52)

プログラムシフト(Ps)

PモードやARTモードでは、適正露出を維持したまま、絞り値とシャッター速度の組み合わせを変更できます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフトにすると、撮影モードの横に「s」が表示されます。プログラムシフトを解除するには、「s」が消えるまで△▽を押します。

注意

- フラッシュ使用時は、プログラムシフトはできません。



プログラムシフト

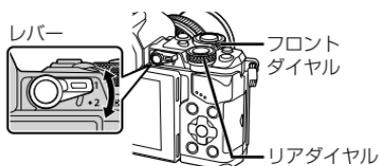
絞りを決めて撮影する(A絞り優先撮影)

Aモードは、絞り値を設定するとカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定する撮影モードです。モードダイヤルを**A**にします。

絞り(F値)を開く(絞り値の数値を小さくする)ほど、ピントの合う範囲(被写界深度)が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞りを絞る(絞り値の数値を大きくする)ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。



絞り値



ダイヤル	レバーの位置	
	1	2
	露出補正	ISO
	絞り値	ホワイトバランス

絞り値の設定例

絞り値を小さくする←

→絞り値を大きくする

F2.8← F4.0← **F5.6** →F8.0 →F11

- シャッター速度が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
	露出アンダーです。	<ul style="list-style-type: none"> 絞り値を小さくしてください。
	露出オーバーです。	<ul style="list-style-type: none"> 絞り値を大きくしてください。 それでも解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター(光量調節用)が必要です。

- 使用されるレンズおよび焦点距離により、点滅時の絞り値は変わります。
- [ISO感度]の設定を固定しているときは、設定を変更してください。☞ [ISO感度](P.52)

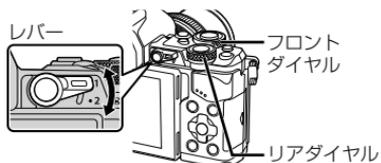
シャッター速度を決めて撮影する(Sシャッター優先撮影)

Sモードは、シャッター速度を設定するとカメラが適正な絞り値を自動的に設定する撮影モードです。モードダイヤルを**S**にします。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されますが、躍動感や動きのある仕上がりになります。



シャッター速度



ダイヤル	レバーの位置	
	1	2
	露出補正	ISO
	シャッター速度	ホワイトバランス

シャッター速度の設定例

シャッター速度を遅くする←

→シャッター速度を速くする

60" ← 15 ← 30 ← **60** → 125 → 250 → 8000

- 絞り値が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
2000 F2.8	露出アンダーです。	<ul style="list-style-type: none"> シャッター速度を遅くします。
125 F22	露出オーバーです。	<ul style="list-style-type: none"> シャッター速度を速くします。 それでも解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のNDフィルター(光量調節用)が必要です。

- 使用されるレンズおよび焦点距離により、点滅時の絞り値は変わります。
- [ISO感度]の設定を固定しているときは、設定を変更してください。[ISO感度] (P.52)

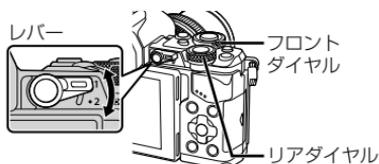
絞りとシャッター速度を自分で決める(Mマニュアル撮影)

Mモードは絞り値とシャッター速度を自分で設定する撮影モードです。シャッターボタンを押している間露光し続けるバルブ/タイム/ライブコンポジット撮影にも設定できます。モードダイヤルをMにします。

- 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。
- シャッター速度は1/8000～60秒、[BULB]、[LIVE TIME]および[LIVECOMP]に設定できます。



適正露出との差



ダイヤル	レバーの位置	
	1	2
	絞り値	ISO
	シャッター速度	ホワイトバランス

注意

- 絞り値とシャッター速度を変更してもモニター（またはファインダー）の表示は変化しません。実際に撮影される画像を表示するには、カスタムメニューの[LIVEブースト] (P.100)で設定します。
- [長秒時ノイズ低減]が設定されていても、温度などの環境条件やカメラの設定条件により、モニターに表示される画像や撮影画像にノイズや輝点が目立つ場合があります。

画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラは長秒時ノイズ低減が働きます。☞ [長秒時ノイズ低減] (P.102)

長秒時(バルブ)撮影

花火や夜景などの撮影に使います。Mモードでシャッター速度を[BULB]または[LIVE TIME]に設定します。

バルブ撮影(BULB)： シャッターボタンを押している間、露光を続けます。シャッターボタンを放すと露光が終了します。

タイム撮影(TIME)： シャッターボタンを全押しすると露光を始めます。露光を終了するとき、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- バルブ/タイム/ライブコンポジット撮影中は、画面の明るさが自動的に変わります。
☞ [BULB/TIME輝度設定] (P.102)

- **[LIVE TIME]**では、撮影中の画面が表示されます。また、モニターにタッチしても表示を更新できます。
- バルブ撮影でも、**[ライブBULB設定] (P.102)**を使って露光中に画像を表示することができます。

注意

- 設定できるISO感度は制限されます。
- カメラのぶれを抑えるために、しっかりした三脚でカメラを固定して、リモートケーブル (P.141) を使ってください。
- 撮影中は、以下の撮影機能の設定に制限があります。
連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/ AEブラケット撮影/手ぶれ補正/
フラッシュブラケット/多重露出* など
* **[ライブBULB設定]**または**[ライブTIME設定] (P.102)**が**[Off]**以外のとき

ライブコンポジット(比較明合成)撮影

背景の明るさを変えずに、花火や星などの明るい光跡の変化を観察しながら、複数枚を合成した1枚の画像に記録することができます。

1 **[コンポジット撮影設定] (P.102)**で基準となる露出時間を設定します。

2 **M**モードでシャッター速度を**[LIVECOMP]**に設定します。

- シャッター速度が**[LIVECOMP]**に設定されているときは、**MENU**ボタンで**[コンポジット撮影設定]**を表示できます。

3 撮影準備のためにシャッターボタンを一度押します。

- モニターに準備完了の表示が出たら撮影できます。

4 シャッターボタンを押します。

- ライブコンポジット撮影が始まります。基準露出時間ごとに合成された画像が表示されるので、光跡の変化を観察できます。
- コンポジット撮影中は、画面の明るさが自動的に変わります。

5 シャッターボタンを押して撮影終了します。

- コンポジット撮影は最長で3時間撮影可能です。撮影環境や充電状態等により撮影可能時間は変わります。

注意

- 設定できるISO感度は制限されます。
- カメラのぶれを抑えるために、しっかりした三脚でカメラを固定して、リモートケーブル (P.141) を使ってください。
- 撮影中は、以下の撮影機能の設定に制限があります。
連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/ AEブラケット撮影/手ぶれ補正/
フラッシュブラケットなど

ムービーを撮る

モードダイヤルが■（フォトストーリー）以外のときはムービーを録画できます。

1 ●ボタンを押して録画をはじめます。

- 録画中に画面にタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。



2 再度●ボタンを押して録画を終了します。

注意

- CMOSのカメラの場合は、ローリングシャッターによる動体歪みという現象が発生します。これは、動きの速い被写体や手振れの時に撮影画像に歪みが発生する物理現象です。特に長焦点で使用すると、この現象が顕著になります。
- 撮影中のムービーのファイルサイズが4GB以上になると、ファイルは自動的に分割されます。
- ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス10以上に対応したカードをご使用ください。
- 4GB以上のムービーを連続で撮影する場合は、画質モードをAll-Intra以外に設定してください。
- 長時間使用すると撮像素子の温度が上昇し、画像にノイズや色むらが発生します。しばらく電源を切ってください。また、ISO感度が高い設定の画像でもノイズや色むらが発生します。さらに温度が上がると、カメラの電源が切れます。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー録画中のAFは動作しません。
- 次の場合、●ボタンを押してもムービー録画はできません。
多重露出中(静止画撮影も終了します。) / シャッターボタン半押し中 /
バルブ、タイムまたはコンボジット撮影中 / 連写中 / パノラマ撮影中 /
SCNモード(eポートレート、手持ち夜景、3D) / インターバル撮影中

ムービーモード(📹)を使う

ムービーモード(📹)にすると、静止画の撮影モードの効果を活かしたムービー撮影が可能です。ライブコントロールで設定を選択します。📷 「ムービーに効果をつける」(P.72)

また、ムービー撮影中に残像を残したり、一部を拡大するなどの効果を使うことができます。

■ ムービーに効果をつける【動画エフェクト】

- 1 モードダイヤルを📹に設定します。
- 2 ●ボタンを押して撮影をはじめます。
 - 撮影を終了するときにはもう一度●ボタンを押します。
- 3 効果を使うときに画面のアイコンにタッチします。



	アートフェード	選択したピクチャーモードの効果で撮影できます。切り換わり時は、フェード効果がつきます。
	オールドフィルム	古い映画のような、傷やほこり状のノイズを無作為につけます。
	マルチエコー	残像効果をつけます。動きのある被写体の残像を残したムービーが撮影できます。
	ワンショットエコー	ボタンを押したときの画像をしばらく残像として残します。残像は時間が経つと自動的に消えます。
	ムービーテレコン	レンズのズームを使わずに、画面の一部を拡大します。カメラを固定したままでも画面の選んだ位置の拡大をすることができます。

アートフェード

アイコンをタッチします。使用するピクチャーモードにタッチして指を離したときに、徐々に効果が反映されます。

オールドフィルム

アイコンをタッチすると効果が反映されます。もう一度タッチすると解除されます。

マルチエコー

アイコンをタッチすると効果が反映されます。もう一度タッチすると解除されます。

ワンショットエコー

アイコンをタッチするたびに効果が加えられます。

ムービーテレコン

1 アイコンにタッチして拡大枠を表示します。

- タッチ操作または、 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ で拡大枠の位置を変更できます。
- \odot ボタンを長押しすると拡大枠は中央に戻ります。

2 \square にタッチするか、Fn2 ボタンを押して拡大表示します。

- \square にタッチするか、Fn2 ボタンを押すと拡大枠の表示に戻ります。

3 \square Off にタッチするか \odot ボタンを押すと、拡大枠が消えてムービーテレコンモードから抜けます。

注意

- 撮影中はフレームレートが少し遅くなります。
- 同時に2つの効果を使うことはできません。
- SDスピードクラス10以上に対応したカードをお使いください。それ以外のカードを使うと、撮影が途中で終了することがあります。
- 動画中静止画撮影(P.106)がmode1に設定されている場合、ムービーテレコン以外の動画エフェクト動作中に静止画撮影はできません。
- [eポートレート]、[ジオラマ]とアートフェードは、併用できません。
- タッチ操作やボタンの操作音が録音されることがあります。
- クリップの撮影ではアートフェードは使えません。
- スロー／クイック撮影では、ムービーテレコン以外の動画エフェクトは使用できません。

ムービー録画中の静止画撮影(動画中静止画撮影)

- ムービーを録画中にシャッターボタンを押すと、ムービー録画している1コマを静止画として記録します。ムービー録画を終了するときは、 \odot ボタンを押します。カードには静止画とムービーのファイルが別々に記録されます。静止画の画質モードは \square N (16:9) になります。
- より高画質な静止画で記録する方法もあります。 \square \square [動画中静止画撮影] (P.106)

注意

- [動画中静止画撮影]が[mode1]の時、クリップ、スロー／クイック撮影では静止画の撮影はできません。フレームレートは30p以下に設定してください。また、静止画の撮影枚数が制限されることがあります。
- 静止画撮影時とムービー録画時でAFや測光の動作が異なる場合があります。

ムービー録画時の静音機能を使う

録画中のカメラの操作による操作音が録音されるのを防ぐことができます。

以下の機能がタッチ操作できます。

- 電動ズーム* / ヘッドホン音量 / 録音レベル / 絞り / シャッター速度 / 露出補正 / ISO感度
- * 電動ズーム機能つきレンズを使用時のみ

静音操作タブにタッチすると機能項目が表示されます。

項目にタッチした後、表示される矢印にタッチして設定します。



マイクリップスを撮る

複数の短いムービー（クリップ）を集めて1つのマイクリップスとしてムービーファイルを作ることができます。マイクリップスには静止画も加えることができます。

■ 撮影する

1 モードダイヤルを  に設定します。

2  ボタンを押してライブコントロールを表示して、リアダイヤルでムービーの画質モードを選択します。



3 フロントダイヤルで **MOV**  **30p** を選択して  ボタンを押します。

- **INFO** ボタンを押すと【フレームレート】、【時間リミッター】を変更できます。

4  ボタンを押して撮影をはじめます。

- 設定した時間で自動的に録画が終了して、録画したムービーの確認画面が表示されます。 ボタンを押すとクリップが保存されて、次の撮影ができます。
- 撮影中に再度  ボタンを押すと、ボタンを押している間撮影を継続できます（最大16秒）。

5  ボタンを押して次の撮影をします。

- 確認画面は消えて次のクリップの撮影が始まります。
- 撮影したクリップを取り消したいときや、別のマイクリップスに保存したいときは確認画面で以下の操作をします。

	マイクリップスを先頭から連続再生します。
	保存するマイクリップスを変更したり、追加する位置を変更します。
	撮影したクリップを保存せずに削除します。

- シャッターを半押しすると、次の撮影に入れます。クリップは前回のクリップと同じマイクリップスに保存されます。
- フレームレートや画素数の異なるクリップは、別のマイクリップスに保存されます。

■ 再生する

マイクリップス内のファイルを連続して再生します。

1  ボタンを押して、 の表示されている画像を選択します。

2  ボタンを押して、  で **[ マイクリップス再生]** を選択し、 ボタンを押します。

- マイクリップス内のファイルが連続して再生されます。
-  ボタンを押すと連続再生を終了します。

マイクリップスの編集

マイクリップスを1つのムービーファイルにします。

撮影されたクリップは、マイクリップスに収録されています。マイクリップスにはクリップや静止画を追加することができます。画面の切り替わりの効果やアートフィルターの効果をつけることができます。

- 1  ボタンを押してから、リアダイヤルでマイクリップス再生を選択します。



- 2 Δ ∇ ボタンまたはタッチ操作でマイクリップスを選びます。

- 3 Δ ∇ ボタンで項目を選択し、 ボタンを押します。

 マイクリップス再生	マイクリップス内のファイルを順番に再生します。
ムービー再生	ムービーファイルを選択したときに、ムービーモードで再生操作できます。
順番変更	マイクリップス内のファイルの移動や追加をします。
次の追加先に設定	次の撮影から、同じ画質モードのムービーはこの  マイクリップスに追加されます。
 マイクリップス消去	マイクリップス内でプロテクトされていないすべてのファイルを消去します。
1コマ消去	マイクリップス内の消去したい画像の再生中に、  ボタンを押します。[実行]を選択し  ボタンを押すと消去されます。

- 4 ムービーを作成するマイクリップスを表示した状態で、 マイクリップス書出]を選んで ボタンを押します。

- 5 Δ ∇ ボタンで項目を選択し、 ボタンを押します。

アート効果	6種類のアート効果を適用できます。
トランジション効果	フェード効果を適用できます。
BGM	[Joy]、または[Off]を設定します。
録音音量	BGMを[Joy]に設定したとき、ムービーに記録されている音声の音量を設定します。
録音音声	[On]にすると、録音音声を画像とともにムービーに書き出します。BGMが[Off]のときだけ設定できます。
プレビュー	編集したマイクリップスのファイルを順にプレビューします。

- 6 マイクリップスの編集を終えたら[書出スタート]を選んで \odot ボタンを押します。
- 一つのムービーとして新規に保存されます。
 - ムービーの書き出しには時間がかかる場合があります。
 - マイクリップスは最長15分、最大ファイルサイズ4GBに制限されます。
 - Full HD、Fineで書き出されます。

注意

- カードの抜き差し、消去、プロテクトなどを行ったあとは、マイクリップス表示まで時間がかかることがあります。
- マイクリップスは最大99個、マイクリップス1つあたりのクリップ数は最大99カットです。上限値はマイクリップスのファイルサイズや時間の制限によって変わります。
- クリップ以外の動画はマイクリップスに追加できません。

スロー／クイック撮影

スローモーションやクイックモーションのムービーをつくることができます。ムービー画質のムービー ∞ cで録画速度を設定します。

- 1 モードダイヤルを ∞ に設定します。
 - 2 \odot ボタンを押してライブコントロールを表示して、リアダイヤルでムービーの画質モードを選択します。
- 
- 3 フロントダイヤルでMOV ∞ FHD \square 30p (カスタムの画質モード) (P.60)を選択して**INFO**ボタンを押します。
 - 4 リアダイヤルで録画速度の設定をして \odot ボタンを押します。
 - 録画速度の倍率を大きくするとクイック撮影、小さくするとスロー撮影になります。
 - 5 \odot ボタンを押して撮影をはじめます。
 - 撮影を終了するときにはもう一度 \odot ボタンを押します。
 - 再生時は決まった速度で再生されるので、スローモーションやクイックモーションに見えるムービーになります。

注意

- 音声は記録されません。
- ピクチャーモードのアートフィルターは解除されます。
- ビットレートが[All-Intra]のときはスロー／クイック撮影は設定できません。
- フレームレートが[60p]、[50p]ではスロー／クイック撮影は設定できません。

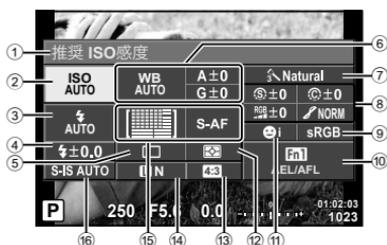
撮影機能を使う

撮影機能呼び出す

撮影機能のうち特によく使う機能はあらかじめ割り当てられたボタンで呼び出して使うことができます。

ボタンに割り当てられていない撮影機能は、撮影の設定状態を一覧表示するLVスーパーコンパネを使って設定します。タッチ操作や十字ボタンで機能を選択して設定を変更します。ライブビュー撮影でないときは、モニターに通常のスーパーコンパネを表示することができます。

LVスーパーコンパネ



スーパーコンパネ



使用可能な設定機能

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| ① 現在選択している機能 | ⑨ カラー設定 P.71 |
| ② ISO感度 P.52 | ⑩ ボタン機能割当て P.64 |
| ③ フラッシュモード P.61 | ⑪ 顔優先 P.47 |
| ④ フラッシュ補正值 P.64 | ⑫ 測光方式 P.52 |
| ⑤ 連写/セルフタイマー P.56 | ⑬ アスペクト比 P.58 |
| ⑥ ホワイトバランス P.53 | ⑭ 画質モード P.59, P.60 |
| ホワイトバランス補正 P.54 | ⑮ AF方式 P.49 |
| ⑦ ピクチャーモード P.68 | AFターゲット P.46 |
| ⑧ シャープネス \odot P.69 | ⑯ 手ぶれ補正 P.55 |
| コントラスト \odot P.69 | |
| 彩度 RGB P.69 | |
| 階調 \curvearrowright P.70 | |
| フィルター効果 \odot P.70 | |
| 調色 \odot P.71 | |

注意

- ムービーモード、フォトストーリーでは表示されません。
- 通常のスーパーコンパネ表示では、3秒間何も操作しないとスリープモードになります。シャッターボタンを操作すると復帰します。🔋 「低消費電力撮影」(P.108)

- 1 P/A/S/MモードでOKボタンを押します。
 - LVスーパーコンパネが表示されます。
- 2 設定する機能にタッチします。
 - タッチした機能にカーソルが表示されます。
- 3 フロントダイヤルを回して設定を変更します。

カーソル



メモ

- ダイヤルを使っても操作できます。リアダイヤルで項目を選択し、フロントダイヤルで設定を変更します。
- あらかじめカスタムメニューで設定しておくとして**AUTO**、**SCN**、**ART**でもスーパーコンパネを表示できます。

ライブコントロール

ムービーモードやフォトストーリーモードでは、画面で効果を確認しながら設定できるライブコントロールを使って撮影機能を設定します。

カメラ表示で操作画面を、**[LVコントロール]**に設定すると、**AUTO/P/A/S/M/ART/SCN**モードでも使えます。(P.100)

ライブコントロール画面



設定できる機能

手ぶれ補正*P.55	モード*P.38
ピクチャーモード*P.68	フラッシュモードP.61
シーンモードP.26	フラッシュ補正P.64
アートフィルターモードP.28	測光方式P.52
ホワイトバランス*P.53	AF方式*P.49
連写/セルフタイマー*P.56	ISO感度*P.52
アスペクト比P.58	顔優先*P.47
画質モード*P.60	ムービー録音*P.72

* ムービーモードで使える機能

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示します。
 - 再度**OK** ボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。

- 2 リアダイヤルでカーソルを設定したい機能に移動し、フロントダイヤルで設定を選択し**OK** ボタンを押します。

- 何も操作せずに約8秒間経過すると、設定が確定します。

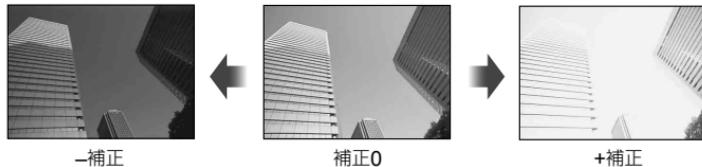


注意

- 撮影モードによっては選択できない機能があります。

画像の明るさを変えて撮影する(露出補正)

フロントダイヤルを回して露出補正を行います。+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。±5.0EVの範囲で補正できます。



注意

- AUTO**、**M**、**SCN**では、露出補正はできません。
- ファインダー、ライブビューの表示は±3.0EVまでしか変化しません。露出バーは±3.0EVを超えると点滅します。
- ムービーで補正できる範囲は±3.0EVまでです。

露出を固定する(AEロック)

Fn1 ボタンを押して、露出だけを固定することができます。ピントと露出を別々に決めたいときや、同じ露出で何枚も撮影するときを使用します。

- 一度ボタンを押すと露出が固定され**AE**が表示されます。**Fn1** [AEL/AFLモード](P.108)
- AEロックを解除するには、もう一度ボタンを押します。

注意

- モードダイヤル、**MENU** ボタンや**OK** ボタンの操作をするとロックは解除されます。

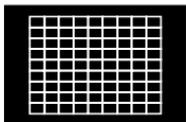
ピントの位置を自分で決める(AFターゲット選択)

81点の中から、ピント合わせに使うAFターゲットを選びます。

- 1 十字ボタンを押して、AFターゲットを表示します。
- 2 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ でシングルターゲット表示にしてAF位置を選択します。

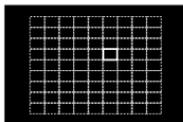
- 端の枠からさらに外側に移動させるとオールターゲットに戻ります。

オールターゲット



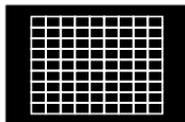
すべてのAFターゲットから、カメラがピントを合わせるAFターゲットを自動的に選びます。

シングルターゲット



ピント合わせをするAFターゲットを手動で選びます。

オールターゲット



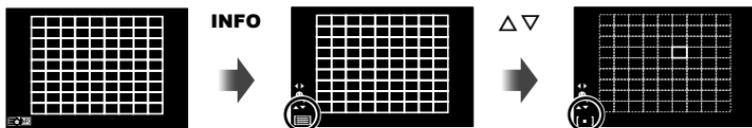
注意

- フォーサースマウント規格レンズ使用時は、シングルターゲットになります。
- [デジタルテレコン]、[アスペクト比設定]、グループターゲットの設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。

スモールターゲットやグループターゲットを使う (AFターゲット設定)

ターゲットの選択方法や、ターゲットのサイズを変更できます。また、顔優先AF (P.47) を選択することができます。

- 1 十字ボタンを押して、AFターゲットを表示します。
- 2 AFターゲット選択中に**INFO**ボタンを押して $\Delta \nabla$ で選択方法を選びます。



(オールターゲット)	すべてのAFターゲットから自動的にカメラが選びます。
(シングルターゲット)	1つのAFターゲットを選びます。
(スモールターゲット)	サイズの小さいAFターゲットに変更できます。
(グループターゲット)	選択したグループの中からカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選びます。

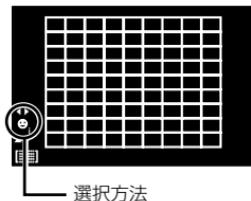
注意

- ムービー撮影時はシングルターゲットになります。
- フォーサースマウント規格レンズ使用時は、シングルターゲットになります。

顔優先AF / 瞳検出AFを使う

カメラが自動的に人物の顔を検出して、ピント合わせやデジタルESP測光の調整を行います。

- 1 十字ボタンを押して、AFターゲットを表示します。
- 2 **INFO**ボタンを押します。
 - AFターゲットの選択方法の変更ができます。
- 3 **<D>**で設定を選択して、**OK**ボタンを押します。



2

撮影する

OFF 顔優先Off	顔優先AFを行いません。
☺ 顔優先On	顔優先AFを行います。
☺ 顔・瞳優先On	近いほうの瞳を検出して顔優先AFを行います。
☺ 顔・瞳(右側)優先On	被写体の右側の瞳を検出して、顔優先AFを行います。
☺ 顔・瞳(左側)優先On	被写体の左側の瞳を検出して、顔優先AFを行います。

- 4 カメラを被写体に向けます。
 - 顔が検出されたら白い枠が表示されます。
- 5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - 枠の顔にピントが合うと、枠が緑に変わります。
 - 被写体の目を検出できるときは、設定されたほうの目にピントが合い緑の枠が表示されます。(瞳検出AF)
- 6 シャッターボタンを全押しします。



注意

- 連写中は最初の1コマのみ顔優先機能が働きます。
- 被写体やアートフィルターの設定によっては、顔が検出できないことがあります。
- **[ESP (デジタルESP測光)]**では顔を優先して測光します。

メモ

- **[MF]**でも顔の検出ができます。顔を検出すると白い枠が表示されます。

拡大枠AF/拡大AFを使う(スーパースポットAF)

画面の一部を拡大してピント合わせをすることができます。拡大倍率を高くして通常のAFターゲット枠より小さい範囲でオートフォーカスすることができます。また、より細かく位置の変更ができます。



- 1 あらかじめ**[ボタン機能]**(P.64)でいずれかのボタンに**Q**(拡大アイコン)を割り当てておきます。
- 2 **Q**ボタンを押して拡大枠を表示します。
 - 直前にオートフォーカスでピント合わせをしたときは、その位置に拡大枠が表示されます。
 - **△▽<▷**で位置を変更できます。
 - **INFO**ボタンを押して、**△▽**で拡大倍率を変更できます。(×3、×5、×7、×10、×14)
- 3 再度**Q**ボタンを押して拡大枠の部分を拡大表示します。
 - **△▽<▷**で位置を変更できます。
 - フロントダイヤル(☉)またはリアダイヤル(☉)を回して拡大倍率を変更できます。
- 4 シャッターボタンを半押ししてAF動作します。
 - 画面中央の枠の中でピントが合わせられます。ピント合わせの位置を変えるときは、タッチ操作で画面を移動します。

メモ

- タッチ操作でも拡大枠の表示や移動をすることができます。

注意

- 拡大表示はモニター上の表示のみです。実際に拡大されて写ることはありません。
- フォーサースマウント規格レンズ使用時は、拡大表示中のAFは動作しません。
- 拡大表示中は、IS(手ぶれ補正)の駆動音がします。

ピントの合わせ方を設定する(AF方式)

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。
静止画撮影モードと AF モードで別々に設定できます。

1 OK ボタンを押して、AF方式を選択します。



2 フロントダイヤルで項目を選択し、 OK ボタンを押します。

- 選択したAF方式が画面に表示されます。

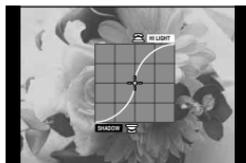
S-AF (シングルAF)	シャッターボタンを半押しすると1回だけピント合わせを行います。ピントが合うと、ピピッと音がして、画面に合焦マークとAFターゲットが点灯します。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。
C-AF (コンティニュアスAF)	シャッターボタンを半押ししている間、ピント合わせを繰り返します。被写体にピントが合うと、画面に合焦マークが点灯します。また、1回目の合焦時には、ピピッと音がします。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。 <ul style="list-style-type: none"> フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、[S-AF]に変わります。
MF (マニュアルフォーカス)	レンズのフォーカスリングを操作することで任意の位置に手でピントを合わせることができます。 
S-AF+MF (S-AFとMFの併用)	[S-AF] でピントを合わせた後、フォーカスリングを回してピントの微調整ができます。
C-AF+TR (追尾AF)	シャッターボタンの半押しでピントの合った被写体を、半押ししている間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none"> 追尾被写体を見失うと、AFターゲットが赤く表示されます。シャッターボタンを離して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押ししてください。 フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、[S-AF]に変わります。

注意

- 明るさが不足している、霧などで被写体はっきり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- レンズのMFフォーカスクラッチがMFになっていると設定できません。(P.134)

ハイライト部／シャドウ部の明るさを変えて撮影する

マルチファンクションボタンに【ハイライト&シャドウコントロール】が設定されているときは、**Fn2**ボタンを押すと設定画面が表示されます。リアダイヤルでシャドウ部、フロントダイヤルでハイライト部の補正をします。
 Ⓞ ボタンを長押しすると、設定をキャンセルできます。



色合いをコントロールする(カラークリエイター)

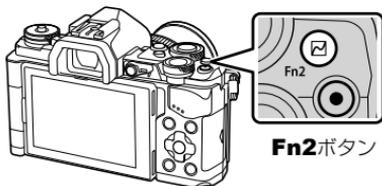
画面で色の変化を見ながら、被写体の色合いを調整することができます。カラークリエイターはマルチファンクションボタンで呼び出せる機能の一つです。初期設定でマルチファンクションボタンは、**Fn2**に割り当てられています。

マルチファンクションボタンにカラークリエイター機能を設定する

- 1 Fn2**ボタンを押したままフロントダイヤルを回します。
 - マルチファンクションメニューが表示されます。
- カラークリエイターを選択してボタンを離します。

カラークリエイターを使う

- 1 Fn2**ボタンを押します。
 - 設定画面が表示されます。



Fn2ボタン



- フロントダイヤルで色相、リアダイヤルで彩度の変更をします。
 - Ⓞ ボタンを長押しすると、設定がキャンセルされます。
 - MENU** ボタンを押すと、カラークリエイターは設定されずに終了します。
- Ⓞ ボタンを押して、設定内容を確定します。
 - 設定はピクチャーモード(P.68)のⓄ (カラークリエイター)に記憶されます。

注意

- ホワイトバランスはAUTOに固定されます。
- 画質モードが【RAW】のときは、RAW+JPEGで記録されます。

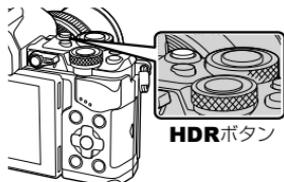
HDR (ハイダイナミックレンジ)撮影をする

複数枚の撮影をして、自動的にHDR合成した画像を撮影します。パソコンでHDR合成処理をするための複数枚の画像だけを撮影することもできます(HDRブラケット撮影)。

[HDR1]または[HDR2]では、**P/A/S**モードで露出補正が可能です。また、**M**モードではお好みの露出でHDR撮影ができます。

1 HDRボタンを押しながら、リアダイヤルを回して設定を選びます。

- 画面にメニューが表示されます。
- HDR**ボタンを押すと、HDR撮影のOnとOffが切り換わります。



ライブビュー撮影時

HDR1	露出を変えて4枚の撮影をして、カメラ内でHDR合成をします。HDR2はHDR1より印象的な画像になります。ISO感度は200に固定されます。また、設定できる最長のシャッター速度は1秒、最長の露出は4秒までになります。
HDR2	
3F 2.0EV	HDRブラケット撮影をします。枚数と露出差の組み合わせを選択します。 HDR合成の処理はしません。
5F 2.0EV	
7F 2.0EV	
3F 3.0EV	
5F 3.0EV	

2 撮影します。

- シャッターボタンを押すと、自動的に設定した枚数の撮影を行います。

注意

- シャッター速度を遅くして撮影すると、画像にノイズが目立つ場合があります。
- 三脚などでカメラを固定して撮影してください。
- 撮影中にモニターやファインダーに表示される画像は、HDR処理された画像とは異なります。
- [HDR1]または[HDR2]の場合、HDR処理された画像はJPEGで記録されます。画質モードが[RAW]のときはRAW+JPEGで記録されます。RAWで記録されるのは適正露出の画像だけです。
- [HDR1]または[HDR2]に設定すると、ピクチャーモードは[Natural]に、カラー設定は[sRGB]に固定されます。また、[フルタイムAF]は動作しません。
- フラッシュ撮影、ブラケット撮影、多重露出、インターバル撮影とHDR撮影は併用できません。

明るさを測る方法を選ぶ(測光)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

- 1 **OK** ボタンを押して、測光を選択します。



- 2 フロントダイヤルで項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

	デジタルESP測光	画面を324分割測光し、撮影シーンや顔([◎ 顔優先]が[OFF]以外のとき)などを考慮し最適な露出値を演算します。通常はこのモードをおすすめします。
	中央重点平均測光	画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。
	スポット測光	測光したいポイントにカメラを向け、狭い範囲(約2%)の明るさを測光するときに使います。測光した箇所が適正な明るさになります。
	スポット測光ハイライト	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。
	スポット測光シャドウ	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。

- 3 シャッターボタンを半押しします。

- 通常は、半押しで測光を開始し、半押ししている間は露出がロックされます。

感度を変更する(ISO感度)

ISO感度の数値を大きくするとノイズ(ざらつき)が大きくなりますが、暗いところでの撮影が可能になります。通常は、ノイズと階調のバランスのとれたISO200を基準とし、撮影状況に応じて感度が変わる[**AUTO**]のご使用をおすすめします。

- 1 **OK** ボタンを押して、ISO感度を選択します。



- 2 フロントダイヤルで項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

AUTO	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。
LOW、200 ~ 25600	ISO感度を選択できます。

画像の色合いを調整する(ホワイトバランス)

ホワイトバランス(WB)は白いものを白く写すための機能です。通常は[AUTO] (オート)で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、[AUTO]以外のホワイトバランスを手動で設定します。

- 1 **☉** ボタンを押して、ホワイトバランスを選択します。



- 2 フロントダイヤルで項目を選択し、**☉** ボタンを押します。

WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
オート ホワイトバランス	AUTO	—	一般的なほとんどの撮影シーン(画面内に白に近い色が存在する撮影シーン)。通常はこのモードをお使いください。
プリセット ホワイトバランス		5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		—	水中で撮るとき
		5500K	フラッシュ撮影のとき
ワンタッチ ホワイトバランス (P.54)		ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白かグレーの測定できる被写体があり、特性のわからないフラッシュや光源のときや、光源が複数あって特定できないとき
カスタム ホワイトバランス	CWB	2000K ~ 14000K	INFO ボタンを押した後、 <D> で色温度を選択し、 ☉ ボタンを押します。

注意

- カラークリエイターが設定されているとき、ホワイトバランスはAUTOに固定されます。

ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた撮影に有効です。

- 1 [W1]、[W2]、[W3]または[W4]（ワンタッチホワイトバランス1、2、3または4）を選択した後、**INFO**ボタンを押します。
- 2 白かグレーのように無彩色の紙を撮影します。
 - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
 - ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。
- 3 [実行]を選択して**OK**ボタンを押します。
 - ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
 - 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。

🔦 こんなときは

- 明るすぎる、暗すぎる、極端な色味の場合は[不適切なデータです 撮り直してください]と表示され登録できません。撮影条件を変えて、手順1からやりなおしてください。

ホワイトバランスを微調整する(ホワイトバランス補正)

オートホワイトバランス、プリセットホワイトバランスそれぞれに、補正値を設定して微調整できます。

- 1 **OK**ボタンを押して、補正したいホワイトバランスを選択します。
- 2 フロントダイヤルで補正する方向を選択し、リアダイヤルで補正値を変更します。

A方向(赤 - 青)で補正する場合

+方向で赤味がかり、-方向で青味がかった画像になります。

G方向(緑 - 赤紫)で補正する場合

+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかった画像になります。



📝 メモ

- 補正したホワイトバランスを確認したいときは**OK**ボタンを押します。設定したホワイトバランスの条件で試し撮りしたサンプル画像が表示されます。
- すべてのホワイトバランスモードを一括して補正したい。🔧 [全WBモード補正] (P.103)

手ぶれを抑えて撮影する(手ぶれ補正)

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。シャッターボタンの半押しから手ぶれ補正が動きます。

1 ㊟ ボタンを押して、手ぶれ補正を選択します。



2 フロントダイヤルで項目を選択して㊟ ボタンを押します。

静止画 (S-IS)	OFF	静止画 手ぶれ補正 Off	手ぶれを補正しません。
	S-IS1	全方向補正	手ぶれを補正します。
	S-IS2	縦ぶれ補正	カメラの縦方向 \updownarrow の手ぶれだけを補正します。
	S-IS3	横ぶれ補正	カメラの横方向 $\leftarrow\rightarrow$ の手ぶれだけを補正します。カメラを縦に構えて流し撮りするときに適しています。
	S-IS AUTO	手ぶれ補正オート	流し撮りの方向を検知して、最適な手ぶれ補正をします。
ムービー (M-IS)	OFF	動画 手ぶれ補正 Off	手ぶれを補正しません。
	M-IS1	全方向補正	センサーシフト式(VCM)と電子式の両方の補正を使用します。
	M-IS2	全方向補正	センサーシフト式(VCM)補正のみ行います。電子式の補正は行いません。

マイクロフォーサーズ/フォーサーズ以外のレンズを使うとき - 焦点距離の設定

マイクロフォーサーズ/フォーサーズレンズ以外のレンズが装着された場合は設定された焦点距離情報を使って手ぶれ補正を行います。

- [手ぶれ補正]を選択中に**INFO**ボタンを押して、 $\langle D \rangle$ で焦点距離を設定し㊟ ボタンを押します。
- 8mm ~ 1000mmまでの焦点距離が設定可能です。
- レンズに記載の数値、またはその数値に一番近い値を選択してください。

注意

- 手ぶれが大きすぎるときやシャッター速度が極端に遅い場合、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
- 三脚使用時は[手ぶれ補正]を[OFF]に設定してください。
- 手ぶれ補正機能切り替えスイッチのあるレンズでは、レンズ側の設定が優先されます。
- レンズの手ぶれ補正機能を優先しているときは、[S-IS AUTO]は[S-IS1]で動作します。
- 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じることがあります。

連写する／セルフタイマーを使う

シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影ができます。また、セルフタイマーによる撮影もできます。

- 1  ボタンを押して、 /  (連写／セルフタイマー)を選択します。



- 2 フロントダイヤルで項目を選択して、 ボタンを押します。

 単写	一度のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます(通常の撮影モード、1コマ撮影)。
 連写H	シャッターボタンを全押ししている間、約10コマ/秒で連続撮影できます。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。
 連写L	シャッターボタンを全押ししている間、約5コマ/秒で連続撮影できます。連写中のピントと露出は【AF方式】(P.49)、【AEL/AFLモード】(P.108)に従って固定されます。
 セルフタイマー 12s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、撮影されます。
 セルフタイマー 2s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。
 カスタムセルフ タイマー	INFO ボタンを押して【セルフタイマー時間】、【コマ数】、【撮影間隔】、【各コマAF】を設定できます。 ◀▶で機能を選択し、フロントダイヤル()で変更します。 【各コマAF】を【ON】に設定すれば各コマごとに撮影直前にAFをします。
 低振動撮影 (表示例)	シャッター動作による微小なぶれを低減して、連続撮影やセルフタイマーによる撮影ができます(P.57)。
 静音撮影 (表示例)	シャッター音を立てずに、連続撮影やセルフタイマーによる撮影ができます(P.57)。
 ハイレゾショット	より解像度の高い静止画を撮影できます(P.58)。

メモ

- セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、 を押します。

注意

- 📷では、撮影中に確認画像を表示しません。撮影終了後に表示を再開します。また、📷では、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- 使用するレンズやズームの位置により、連写速度は変わります。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。
- セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。

シャッター動作時の振動を防いで撮影する(低振動撮影)

シャッター動作による微小なカメラぶれを防ぐために、電子先幕シャッターを使って撮影します。

顕微鏡撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。

シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を📷撮影メニュー2の[低振動[♦]撮影]で変更できます。[Off]にすると設定項目に表示されません。(P.93)。

- 1 📷ボタンを押して、📷 / 🕒 (連写 / セルフタイマー)を選択します。
- 2 フロントダイヤルで♦の付いた項目を選択して、📷ボタンを押します。
- 3 撮影します。
 - ・設定された時間が経過すると、シャッターが切れて撮影されます。

シャッター音を立てずに撮影する(静音撮影)

シャッター音が気になる場所で、音を立てずに撮影できます。先幕、後幕ともに電子シャッターを使って撮影するので、低振動撮影と同様にシャッター動作による微小なぶれを低減することができます。

シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を📷撮影メニュー2の[静音[♥]撮影]で変更できます。[Off]にすると設定項目に表示されません。(P.93)。

- 1 📷ボタンを押して、📷 / 🕒 (連写 / セルフタイマー)を選択します。
- 2 フロントダイヤルで♥の付いた項目を選択して、📷ボタンを押します。
- 3 撮影します。
 - ・シャッターが切れるとモニターの画面は一度暗くなります。シャッター音はしません。

注意

- 動きのある被写体では撮影画像に歪みが発生する場合があります。
- 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出る場合があります。

より解像度の高い静止画を撮影する(ハイレゾショット)

静物を撮影するときに、より高い解像度の静止画を撮影できます。1枚の画像撮影中に撮像素子を移動させて複数回撮影することで、高解像度の画像を記録します。三脚などでカメラを固定して撮影してください。

シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を撮影メニュー2の[ハイレゾショット]で変更できます。[Off]にすると設定項目に表示されません。ハイレゾショットが設定されているときは、画質モードでハイレゾ撮影の画質の選択ができます(P.59)。

- 1  ボタンを押して、 /  (連写/セルフタイマー)を選択します。
- 2 フロントダイヤルでを選択して、 ボタンを押します。
- 3 撮影します。
 - カメラが安定していないときは (ハイレゾのアイコン)が点滅します。点滅が終わるまで待つて撮影してください。

注意

- 画質はSIFに固定されます。
- 画質をRAW+JPEGにしたときは、ハイレゾショットのRAW以外に合成前のRAW画像(拡張子[.ORI])を1枚保存します。合成前のRAW画像は付属のソフトウェアでのみ再生できます。
- 蛍光灯などの光源下では画質が荒くなる場合があります。
- [手ぶれ補正]は[Off]になります。

アスペクト比を設定する

撮影時のアスペクト比(横×縦)を変更します。撮影目的に応じた縦横比を[4:3](基準)/[16:9] / [3:2] / [1:1] / [3:4]から選びます。

- 1  ボタンを押して、アスペクト比設定を選択します。
- 2 フロントダイヤルでアスペクト比を選択して、 ボタンを押します。

注意

- JPEG形式の画像は、アスペクト比に応じてトリミングされて保存されますが、RAW画像はトリミングされずに、撮影時のアスペクト比情報が付加された状態で記録されます。
- RAW画像再生時は、アスペクト比に応じた枠が表示されます。

画質を選択する(静止画画質モード)

静止画の画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。

- 1 **OK** ボタンを押して、静止画の画質モードを選択します。



静止画画質モード

- 2 **<D>** で項目を選択して **OK** ボタンを押します。

選択可能な画質モードはJPEG (**L**/**N**/**MN**/**SN**)とRAWです。JPEG+RAWの場合、JPEGとRAWの2種類の画像を同時に記録します。JPEGは画像サイズ(**L**/**M**/**S**)と圧縮率(**SF**/**F**/**N**/**B**)の組み合わせからできています。

L/**N**/**MN**/**SN**以外の組み合わせを設定したいときは、カスタムメニューの**[画質設定]** (P.103)の設定を変更してください。

ハイレゾショット(P.58)が設定されているときは、**S****L****F**と**S****L****F**+RAWの選択ができません。

RAW画像とは

写真にする前の未加工の状態で、撮影後に絵作りをしたり、念のために保存しておくためのデータ(拡張子「.ORF」)です。他のカメラや一般のソフトウェアでの再生・表示、プリント予約はできません。このカメラでJPEGにすることができます。🔧「画像編集」(P.94)

画質を選択する(ムービー画質モード)

用途に応じてムービーの画質モードを設定します。

- 1 モードダイヤルを  に設定します。
- 2  ボタンを押してライブコントロールを表示して、リアダイヤルでムービーの画質モードを選択します。



ムービー画質モード

- 3 フロントダイヤルで項目を選択します。
 - 各画質モードの設定値を変更するときは、**INFO**ボタンを押してリアダイヤルで設定します。

画質モード	用途	変更できる設定値
MOV  30p (Full HD Fine 30p)*1	クリップの撮影(P.40)	フレームレート 撮影時間
MOV  60p (Full HD Fine 60p)*1	設定1	フレームレート
MOV  60p (Full HD Super Fine 60p)*1	設定2	フレームレート
MOV  30p (Full HD Fine 30p)*1	設定3	フレームレート
MOV  30p (Full HD Normal 30p)*1*3	設定4	フレームレート
MOV  30p (Full HD Fine 30p)*1	カスタム	ムービーの種類、それぞれの詳細設定、スロー/クイック撮影
HD (1280×720, Motion JPEG)*2	パソコンでの再生や編集	—
SD (640×480, Motion JPEG)*2	パソコンでの再生や編集	—

*1 MPEG-4 AVC/H.264形式。1ファイルは4GBに制限されます。1回の撮影は最長29分に制限されます。

*2 1ファイルは2GBに制限されます。

*3 All-Intraはフレーム間の圧縮をしないで記録されるムービーです。編集に向いていますが、圧縮率も低くなりデータの容量が大きくなります。

- Video出力がPAL設定時は、30pは25p、60pは50pになります。
- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。

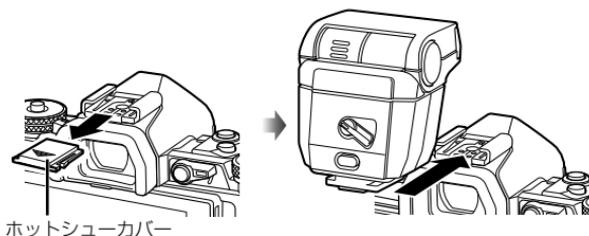
- 4  ボタンを押して設定を確定します。

フラッシュを使って撮影する(フラッシュ撮影)

フラッシュを必要だと判断したときに、手動で設定します。目的に応じていろいろなフラッシュ撮影が行えます。

1 ホットシューカバーを外して、フラッシュをカメラに装着します。

- フラッシュは奥に突き当たるまでしっかりと差し込みます。

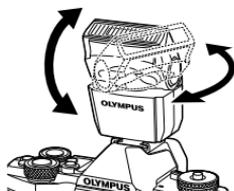


フラッシュの向きを変える

発光部の向きは上方向と左右に変えることができます。バウンス撮影ができます。

注意

- バウンス撮影ではフラッシュの光量が不足しますのでご注意ください。



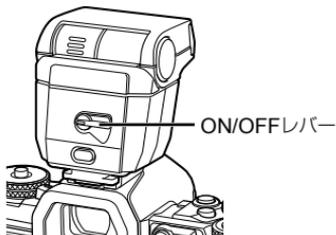
フラッシュを取り外す

フラッシュのUNLOCKスイッチを押しながら、外します。



2 フラッシュのON/OFFレバーをONの位置に合わせて電源を入れます。

- フラッシュを使わないときは、レバーをOFFの位置に戻します。



3 OK ボタンを押して、フラッシュ発光モードを選択します。

フラッシュ
発光モード



4 フロントダイヤルでフラッシュ発光モードを選択して、OK ボタンを押します。

- 撮影モードによってフラッシュ発光モードの種類と並びの順番は異なります。
 「撮影モード別使用可能なフラッシュ発光モード」(P.63)

AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
	強制発光	フラッシュを必ず発光させます。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
	赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。 S.M モードでは強制発光になります。
	スローシンクロ (先幕シンクロ)	背景が明るく撮れるように遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
	スローシンクロ (先幕シンクロ) + 赤目軽減発光	スローシンクロと赤目軽減発光を併用します。
	スローシンクロ (後幕シンクロ)	移動方向の後ろに流れた写真にするために、シャッターを閉じる直前で発光します。
	マニュアル発光	マニュアル操作で撮影をする人向け。 INFO ボタンを押すと、ダイヤルで発光量を選べます。

注意

- 【】(赤目軽減発光)では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。
- 撮影状況によっては、【】(赤目軽減発光)の効果が得られないことがあります。
- フラッシュ発光時、シャッター速度は1/250秒以下に設定されます。背景の明るい被写体では、強制発光すると背景が露出オーバーになることがあります。

撮影モード別使用可能なフラッシュ発光モード

撮影モード	LV スーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光タイミング	発光許可条件	シャッター速度制限条件
P/A	⚡AUTO	オート発光	先幕シンクロ	暗いとき、逆光のとき発光	1/30秒～1/250秒*
	👁️	オート発光 (赤目軽減)		いつでも発光	30秒～1/250秒*
	⚡	強制発光	—	—	—
	🚫	発光禁止	—	—	—
	👁️ SLOW	スローシンクロ (赤目軽減)	先幕シンクロ	暗いとき、逆光のとき発光	60秒～1/250秒*
	⚡ SLOW	スローシンクロ (先幕シンクロ)	後幕シンクロ		
S/M	⚡	強制発光	先幕シンクロ	いつでも発光	60秒～1/250秒*
	⚡👁️	強制発光 (赤目軽減)			
	🚫	発光禁止	—	—	—
	⚡ 2nd-C	強制発光 / スローシンクロ (後幕シンクロ)	後幕シンクロ	いつでも発光	60秒～1/250秒*

• **AUTO**では⚡AUTO、🚫のみ選択できます。

* 別売の専用フラッシュ使用時は、1/250秒

至近限界

被写体が近いとレンズの影になったり、発光量を最小にしても強すぎる場合があります。

レンズ	影になる限界(目安)
17mm f1.8	0.25m
25mm f1.8	0.25m
45mm f1.8	0.5m
12-50mm EZ	0.35m
12-40mm PRO	0.6m
	0.3m (焦点距離16mm以上)
40-150mm	0.5m

• 影を防ぐには専用外部フラッシュをお使いください。また、露出オーバーを防ぐには**A**、**M**モードなどで絞り値を大きく、ISO感度を小さく設定して撮影します。

フラッシュの発光量を調節する(フラッシュ発光量補正)

フラッシュの光で被写体が白く飛んでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

- 1 **OK** ボタンを押して、フラッシュ補正を選択します。

フラッシュ補正



- 2 フロントダイヤルで補正值を設定し、**OK** ボタンを押します。

注意

- 専用外部フラッシュの調光モードがMANUALのときは、この設定は動きません。
- 専用外部フラッシュで発光補正されていると、カメラの発光補正量に加算されて働きます。

ボタン機能を割り当てる(ボタン機能)

ボタンに割り当てる機能を登録します。ボタン機能の登録は、カスタムメニュー **Fn** と同じです。

登録できる機能については、下記の表をご覧ください。ボタンによって選択できる機能は異なります。

- 1 **OK** ボタンを押して、ボタン機能を選択します。

ボタン機能



- 2 フロントダイヤルで項目を選択して**OK** ボタンを押します。

ボタン機能項目

[Fn1 ボタン機能] / [Fn2 ボタン機能] / [Fn3 ボタン機能] / [Fn4 ボタン機能] /
 [OK ボタン機能] *1 / [Fn ボタン機能] / [D ボタン機能] / [▽ ボタン機能] /
 [Fn2 ボタン機能] ([ダイレクト機能] *2 / [Fn] *3) / [Fn] ボタン機能 *4 /
 [Fn2 ボタン機能] *4 / [Fn] ボタン機能 *5

*1 **Fn** モードでは、変更できません。

*2 △▽◀▶のそれぞれに機能を割り当てます。

*3 AFターゲットを選択します。

*4 別売のバッテリーホルダー (HLD-8) に搭載されているボタンの機能を設定します。

*5 一部のレンズに搭載されているボタンの機能を設定します。

	露出補正をします。
 ISO /  WB	フロントダイヤルでISO感度の設定、リアダイヤルでホワイトバランスの設定をします。
 WB /  ISO	フロントダイヤルでホワイトバランス、リアダイヤルでISO感度の設定をします。
AEL/AFL	AELロックやAFロックとして働きます。 [AEL/AFLモード] の設定により機能は変わります。AELのときは、一度ボタンを押すと露出が固定され画面に [AEL] が表示されます。再度押すと解除します。
 REC	ボタンを押すと、ムービーを撮影できます。
 (プレビュー)	ボタンを押している間、設定された絞り値まで絞り込みます。カスタムメニューの [iLOCK] を [On] に設定すると、ボタンを離しても設定された絞り込み状態を保持します。
 (ワンタッチWB)	ボタンを押すと、ホワイトバランスの値を取得します(P.54)。
 (AFターゲット選択)	AFターゲットの設定をします。
 Home	ボタンを押すと、 [iHome登録] (P.98)で登録したAFのホームポジションに切り換わります。再度押すと、AFターゲットモードに戻ります。ホームポジションに切り換えた状態で電源をオフにすると、ホームポジションに切り換える前のAFターゲット位置はリセットされます。
MF切換	ボタンを押すと、AF方式が [MF] に切り換わります。再度押すと、元のAF方式に切り換わります。
RAW 	ボタンを押すと、JPEG撮影時の画質はRAW+JPEGに、RAW+JPEGはJPEGに切り換わります。
 TEST (試し撮り撮影)	ボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、画像を記録せずにモニターに表示します。
マイセット撮影1～ マイセット撮影4	ボタンを押すと、登録されているマイセットの設定に切り換わります。再度ボタンを押すと戻ります。モードダイヤルの位置にかかわらず撮影モードも切り換わります。
	防水プロテクタ装着時に、ボタンで  と  を切り換えられます。ボタンを押し続けると元の撮影モードに戻ります。この機能をボタンに登録すると、電動ズーム機能のあるレンズを使用中は、  、  の切り換えに連動してズームを广角端、望遠端に自動的にセットします。
ライブガイド	ボタンを押すとライブガイドを表示します。
 (デジタルテレコン)	ボタンを押すたびにOnとOffの切り換えができます。
 (デジタルシフト)	ボタンを押すとデジタルシフト撮影の設定ができます。もう一度ボタンを押すと設定画面を終了します。設定されているデジタルシフトをキャンセルするには、ボタンを長押しします。
Q (拡大)	ボタンを押すと拡大枠が表示され、もう一度押すと画像が拡大されます。ボタンを長押しすると拡大枠表示を中止します。

ピーキング	ボタンを押すたびに表示／非表示が切り換わります。ピーキング表示中は、ヒストグラムやハイライト／シャドウ表示はできません。 ピーキング表示中に INFO ボタンを押して色や強度を変更できます。
AF停止	AF動作を停止します。
	連写やセルフタイマーの設定をします。
	フラッシュの発光モードの設定をします。
HDR撮影	記憶されている設定でHDR撮影に設定されます。
BKT切換	記憶されている設定でBKT撮影に設定されます。
マルチFn	ボタンを押して、選択されているマルチファンクション*を呼び出します。呼び出す機能を切り換えるときは、ボタンを押しながらダイヤルを回します。☞「マルチファンクションボタン」(P.66)
 ロック(タッチパネルロック)	ボタンを長押しすると、タッチパネル操作の許可と禁止の切り換えができます。
電動ズーム	電動ズーム機能のあるレンズを使用中は、ボタンを押したあと、十字ボタンでズーム操作します。
LOI (モニター切換)	ボタンを押すと、ライブビューの表示／非表示を切り換えます。アイセンサーが無効な場合は、モニター表示とEVF表示を切り換えます。
 水準器表示	ボタンを押すと、ファインダーに水準器が表示され、再度押すと表示が消えます。【内蔵EVF表示スタイル】で【スタイル1】、【スタイル2】に設定しているときに有効です。

* マルチファンクション：☞ (ハイライト&シャドウコントロール)、☺ (カラークリエーター)、☞ (ISO感度／ホワイトバランス)、☞ (ホワイトバランス／ISO感度)、Q (拡大)、☞ (アスペクト比設定)

■ マルチファンクションボタン(マルチFn)

ファインダーを使って撮影するときには、マルチファンクションボタンで機能をすばやく設定することができます。初期設定では、マルチファンクションはFn2ボタンに割り当てられています。

機能を設定する

1 マルチファンクションを割り当てたボタンを押した状態でダイヤルを回します。

- メニューが表示されます。



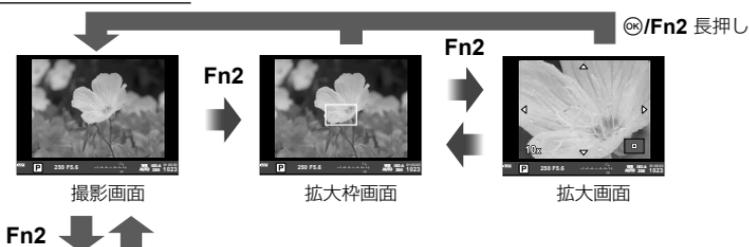
2 そのままダイヤルを回して、登録する機能を選択します。

- 機能を選択したら、ボタンから指を離します。

マルチファンクションを使う

マルチファンクションを割り当てたボタンを押します。機能の設定画面が表示されます。

[Q]機能を登録したとき



その他の機能を登録したとき



機能	フロントダイヤル ()	リアダイヤル ()
 (ハイライト&シャドウコントロール) (P.50)	ハイライト部補正	シャドウ部補正
 (カラークリエーター) (P.50)	色相	彩度
 (ISO感度/ホワイトバランス) * (P.52, 53)	ISO感度変更	WBモード変更
 (ホワイトバランス/ISO感度) * (P.52, 53)	WBモード変更	ISO感度変更
 (スーパースポットAF) (P.48)	拡大枠画面：露出補正 拡大画面：倍率変更	
 (アスペクト比設定) (P.58)	設定の変更	

* [マルチFn表示設定] (P.101) で選択すると表示する事が出来ます。

画像の仕上がりを設定する(ピクチャーモード)

画像の色調を選択することができます。また個別に、コントラストやシャープネスなどの画像パラメータを微調整することもできます(P.69)。調整したパラメータは仕上がりの項目ごとに記憶されます。

- 1 ボタンを押して、ピクチャーモードを選択します。



ピクチャーモード



ピクチャーモード

- 2 フロントダイヤルで項目を選択して ボタンを押します。

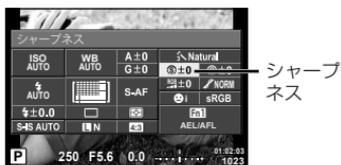
	i-Finish	撮影シーンに合った印象的な仕上がりになります。
	Vivid	色鮮やかに仕上げます。
	Natural	自然な色合いに仕上げます。
	Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
	Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
	モノトーン	モノクロ調に仕上げます。
	カスタム	仕上がりの項目の1つを選んで各パラメータを設定し、登録します。
	eポートレート	肌をなめらかに整えます。ムービー撮影やブラケット撮影では使えません。
	カラークリエイター	カラークリエイター (P.50) で設定した色合いに仕上げます。
	ポップアート	アートフィルターの設定になります。さらにそれぞれのアートエフェクト機能が使えます。 「アートフィルターの種類」 (P.28)
	ファンタジックフォーカス	
	デイドリーム	
	ライトトーン	
	ラフモノクローム	
	トイフォト	
	ジオラマ	
	クロスプロセス	
	ジェントルセピア	
	ドラマチックトーン	
	リーニュクレール	
	ウォーターカラー	
	ヴィンテージ	
	パートカラー*	

* でパートカラーを選択後、**INFO** ボタンを押すと、カラーリングが表示されます。

鮮鋭さを微調整する(シャープネス)

ピクチャーモード(P.68)の設定に、個別にシャープネスの微調整をして記憶させておくことができます。

- 1 **OK** ボタンを押して、シャープネスを選択します。
- 2 フロントダイヤルでシャープネスを調整します。



明暗の差を微調整する(コントラスト)

ピクチャーモード(P.68)の設定に、個別にコントラストの微調整をして記憶させておくことができます。

- 1 **OK** ボタンを押して、コントラストを選択します。
- 2 フロントダイヤルでコントラストを調整します。



色の鮮やかさを微調整する(彩度)

ピクチャーモード(P.68)の設定に、個別に彩度の微調整をして記憶させておくことができます。

- 1 **OK** ボタンを押して、彩度を選択します。
- 2 フロントダイヤルで彩度を調整します。



画像の階調を微調整する(階調)

ピクチャーモード(P.68)の設定に、個別に階調の微調整をして記憶させておくことができます。

- 1 OK ボタンを押して、階調を選択します。
- 2 フロントダイヤルで階調を調整します。



AUTO: オート	画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗さの大きい画像に有効です。
NORM: 標準	通常は【標準】に設定してください。
HIGH: ハイキー	明るい被写体に適した階調にします。
LOW: ローキー	暗い被写体に適した階調にします。

■ モノトーンにフィルター効果をつける(フィルター効果)

ピクチャーモード(P.65)のモノトーンの設定に、フィルター効果をつけて記憶させておくことができます。フィルター色と同じ色を明るく、補色を暗くした白黒画像にします。

- 1 OK ボタンを押して【ピクチャーモード】を選択します。
- 2 【モノトーン】を選択してから【フィルター効果】を選択します。



N: 無し	通常の白黒画像になります。
Ye: 黄	自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。
Or: オレンジ	青空らしさ・夕日の輝きが少し強調されます。
R: 赤	青空らしさ・紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。
G: 緑	赤い唇・緑の葉がよりいっそう強調されます。

■ モノトーンの調色をする(調色)

ピクチャーモード(P.68)のモノトーンの白黒画像に色味を付ける設定を記憶させておくことができます。

- 1 **OK** ボタンを押して[ピクチャーモード]を選択します。
- 2 [モノトーン]を選択してから[調色]を選択します。



N:無し	通常の白黒画像になります。
S:セピア	セピア
B:青	青味
P:紫	紫味
G:緑	緑味

色の再現方式を設定する(カラー設定)

撮影した画像をモニターやプリンタで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。**カスタムメニュー**のカラー設定と同じ機能です。

- 1 **OK** ボタンを押して、カラー設定を選択します。
- 2 フロントダイヤルでカラー設定の方式を選択します。



sRGB	国際電気標準会議 (IEC) が定めたRGB色空間の規格。通常は[sRGB]に設定してください。
AdobeRGB	アドビシステムズ社が提唱した規格。正しく映像として出力するには、対応したソフトウェア、ディスプレイ、プリンターなどのハードウェアが必要です。

ムービー撮影の録音の設定をする(ムービー録音)

ムービー撮影時の音声録音の設定をします。

- 1 モードダイヤルを \odot にしてから \odot ボタンを押して、ムービー録音を選択します。



- 2 フロントダイヤルでON/OFFを切り換えて \odot ボタンを押します。

注意

- ムービー撮影中の録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、**[AF方式]**を**[S-AF]**にして撮影したり、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。
- AF (ジオラマ)では、録音できません。
- ムービー録音が**[OFF]**のときは、 OFF が表示されます。

ムービーに効果をつける

静止画の撮影モードの効果を生かしたムービー撮影が可能です。モードダイヤルを \odot に設定したときに設定できます。

- 1 モードダイヤルを \odot にして \odot ボタンを押し、リアダイヤルで撮影モードを選択します。



撮影モード

- 2 フロントダイヤルで撮影モードを切り換えて \odot ボタンを押します。

P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値を自動的に設定します。
A	絞り値を設定することで、背景の描写に変化がつけられます。リアダイヤル(\odot)で絞り値を設定できます。
S	シャッター速度を設定することで、被写体の写り方に変化がつけられます。リアダイヤル(\odot)でシャッター速度を設定できます。設定可能なシャッター速度は1/30 ~ 1/8000秒です。
M	絞り値とシャッター速度を設定します。フロントダイヤル(\odot)で絞り値を設定し、リアダイヤル(\odot)でシャッター速度を設定します。設定可能なシャッター速度は、1/30 ~ 1/8000秒です。ISO感度は200 ~ 6400のマニュアル設定だけです。

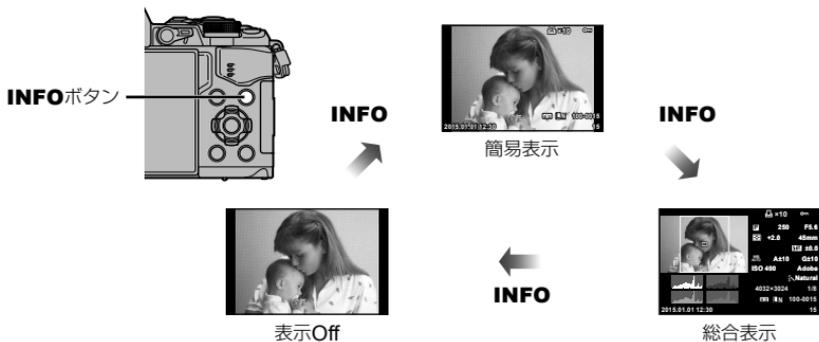
注意

- シャッター速度の低速側は、ムービー画質のフレームレートの設定によって変わります。
- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。
- カメラの内部が高温になると、保護機能が働き自動的に撮影を中止します。
- アートフィルターによっては、**[C-AF]**の動作が制限されます。
- ムービー撮影には**SDスピードクラス10**以上に対応したカードのご使用をおすすめします。

- | | | | |
|--------------------------|-----------|---------------------|---------|
| ① 電池残量 | P.15 | ⑩ アスペクト枠 | P.58 |
| ② 無線LAN接続 | P.116-121 | ⑪ AFターゲット表示 | P.46 |
| ③ GPS位置情報有り | P.119 | ⑫ 撮影モード | P.21-38 |
| ④ Eye-Fi送信完了 | P.107 | ⑬ 露出補正 | P.45 |
| ⑤ プリント予約
プリント枚数 | P.127 | ⑭ シャッター速度 | P.32-35 |
| ⑥ シェア予約 | P.80 | ⑮ 絞り値 | P.32-35 |
| ⑦ 録音 | P.80 | ⑯ 焦点距離 | P.135 |
| ⑧ プロテクト(保護) | P.79 | ⑰ フラッシュ補正 | P.64 |
| ⑨ 画像選択 | P.80 | ⑱ ホワイトバランス補正值 | P.54 |
| ⑩ ファイル番号 | P.104 | ⑲ カラー設定 | P.104 |
| ⑪ コマ番号 | | ⑳ ピクチャーモード | P.68 |
| ⑫ 画質モード | P.85 | ㉑ 圧縮率 | P.114 |
| ⑬ アスペクト比 | P.58 | ㉒ ピクセルサイズ | P.114 |
| ⑭ 3D画像 | P.26 | ㉓ ISO感度 | P.52 |
| フォトストーリーの一時保存画像 | P.31 | ㉔ ホワイトバランス | P.53 |
| ⑮ 日時 | P.16 | ㉕ 測光方式 | P.52 |
| | | ㉖ ヒストグラム | P.20 |

情報表示を切り換える

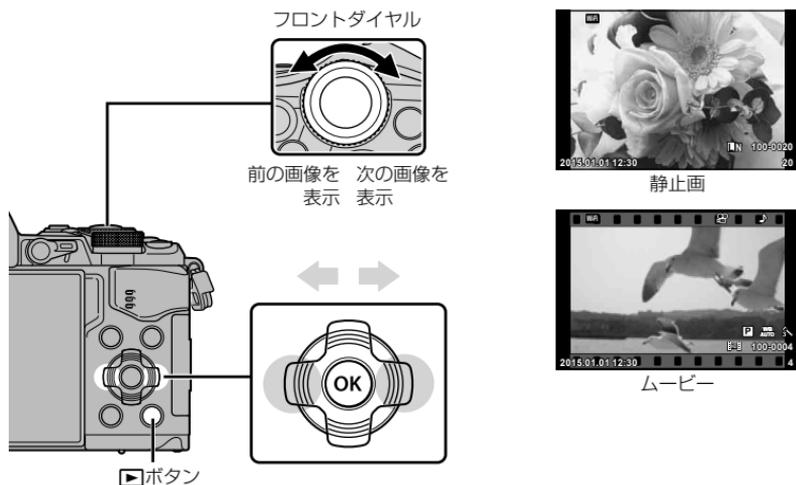
INFO ボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。



撮った画像／ムービーを見る

1 再生ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- フロントダイヤル(⊙)や十字ボタンで画像が切り替わります。
- シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。



リアダイヤル(⊙)	表示の拡大(⊙) / インデックス(⊙)
フロントダイヤル(⊙)	コマ戻し(⊙) / コマ送り(⊙) クローズアップ再生中も操作できます。
十字ボタン (△▽◀▶)	1コマ再生：コマ送り(▶) / コマ戻し(◀) / 再生音量調節(△▽) クローズアップ再生：クローズアップ位置の変更 INFO ボタンを押すとクローズアップしたままコマ送り(▶)戻し(◀)ができます。 インデックス再生/マイクリップス再生/カレンダー再生：画像の選択
Fn1	拡大枠を表示します。タッチ操作で位置を決めてもう一度 Fn1 ボタンを押すと拡大表示します。やめるときは、 Fn1 ボタンを押します。
INFO	画像情報の表示
☑	画像の選択 (P.80)
Fn2	画像のプロテクト (P.79)
🗑️	画像の消去 (P.79)
⊙	メニューの表示 (カレンダー再生中に押すと1コマ再生に戻ります。)

インデックス再生／カレンダー再生

- 1コマ再生でリアダイヤルを \blacksquare に回すとインデックス再生します。さらに何度か回すと、マイクリップス再生、最後にカレンダー再生に変わります。
- リアダイヤルをQに回すと1コマ再生に戻ります。



*1 作成されたマイクリップスがある場合に表示されます (P.40)。

静止画を見る

クローズアップ再生

1コマ再生でリアダイヤルをQに回すと表示を拡大し、 \blacksquare に回すと1コマ再生に戻ります。



回転

撮影した画像を回転させることができます。

- 再生画面で画像を表示し、OKボタンを押します。
- 【回転】を選択して、OKボタンを押します。
- △ (反時計回り)、▽ (時計回り)を押すたびに画像が回転します。
 - OKボタンを押して、設定を終了します。
 - 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
 - ムービーや3D画像、プロテクトされている画像は回転できません。

スライドショー

カードに記録された画像を自動的に連続して再生します。

- 再生画面で \odot ボタンを押し、[スライドショー]を選択します。



- スライドショーの設定をします。

スタート	スライドショーを開始します。表示している画像から、順に再生されます。
BGM	[Joy]、または[Off]を設定します。
スライド	再生する画像の種類を設定します。
1コマ再生時間	次の画像に切り換わる間隔を2～10秒の間で設定します。
ムービー再生	ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する[フル]か、途中までの部分を再生する[ショート]を設定します。

- [スタート]を選択して \odot ボタンを押します。

- スライドショーが始まります。
- \odot ボタンを押すとスライドショーが停止します。

スライドショー音量について

スライドショーの再生中に Δ ∇ を押すと、全体の音量が調節できます(カメラのスピーカーでの再生時のみ)。音量調節表示中に \triangleleft \triangleright を押すと、画像やムービーに録音した音量とBGMのバランスを調節できます。

メモ

- [Joy]を他のBGMに変えることができます。当社ホームページからダウンロードしたデータをカードに記録して、手順2で[BGM]から[Joy]を選んで \triangleright ボタンを押します。ダウンロードについては下記のホームページをご覧ください。
<http://support.olympus-imaging.com/bgmdownload/>

音量の調節

1コマ再生やムービー再生中に Δ ∇ を押すと音量調節ができます。



ムービーを見る

ムービーを選んで \odot ボタンを押すと再生メニューが表示されます。【ムービー再生】を選択して、 \odot ボタンを押すとムービー再生が始まります。◀/▶で早送り、巻き戻しします。

\odot ボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、△で先頭のフレーム、▽で最後のフレームを表示します。◀▶またはフロントダイヤル(\odot)でコマ戻し/コマ送りします。

MENUボタンを押すと再生を終了します。



4GB以上のムービーの場合

ファイルサイズが4GBを超えるムービーでは、 \odot ボタンを押すと以下のメニューが表示されます。

- 【先頭から連続で再生】： 分割されたムービーを通して再生
- 【ムービー再生】： ファイル別に再生
- 【同一ムービー消去】： 分割されたムービーをすべて消去
- 【1コマ消去】： ファイル別に消去

注意

- パソコンでのムービー再生には付属のPC用ソフトウェアをおすすめします。はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

画像のプロテクト(保護)

画像を誤って消さないように保護します。保護したい画像を再生して \odot ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

【プロテクト】を選び \odot ボタンを押したあと、△または▽を押すと画像がプロテクトされます。🔒 (プロテクトマーク)が表示されます。プロテクトを解除するには△または▽を押します。

あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。🔍 「画像の選択(「選択コマシェア予約」・「プロテクト」・「選択コマ消去）」(P.80)

プロテクトマーク



注意

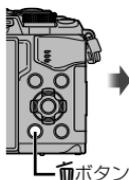
- カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

画像の消去(1コマ消去)

消去したい画像を再生し、🗑️ボタンを押します。

【実行】を選択し \odot ボタンを押すと消去されます。

ボタンの設定を変更して、確認手順なしで消去することもできます。🔍 【ワンタッチ消去】(P.104)



画像に転送予約をつける([シェア予約])

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。また、シェア予約した画像だけを閲覧させることもできます。転送したい画像を再生してⓄボタンを押すと、再生メニューが表示されます。[シェア予約]を選びⓄボタンを押した後、△または▽を押すと画像にシェア予約が付き、☞が表示されます。シェア予約を解除するには△または▽を押します。あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。☞「画像の選択([選択コマシェア予約]・[プロテクト]・[選択コマ消去])」(P.80)、「スマートフォンに画像を転送する」(P.118)

注意

- シェア予約できるコマは200コマです。
- RAW画像、およびMotion JPEG (☞☞または☞☞)のムービーはシェア予約はできません。

画像の選択([選択コマシェア予約]・[プロテクト]・[選択コマ消去])

複数の画像を選択し、一括して[選択コマシェア予約]・[プロテクト]・[選択コマ消去]をすることができます。インデックス再生画面(P.77)で、☑ボタンを押すと画像が選択され、☑が表示されます。もう一度押すと解除されます。Ⓞボタンを押してメニューを表示し、[選択コマシェア予約]・[プロテクト]・[選択コマ消去]から選択します。



音声録音

静止画に音声を録音します(最長30秒)。

1 再生画面で音声を録音する画像を表示し、Ⓞボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。
- 音声録音は再生メニューからも設定できます。

2 [録音]を選択して、Ⓞボタンを押します。

- 録音を中止する場合は、[中止]を選択してください。



3 [録音スタート]を選択してⓄボタンを押すと、録音を開始します。

- 途中で録音を中止するときはⓄボタンを押します。

4 Ⓞボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には♪が表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順3で[消去]を選択してください。



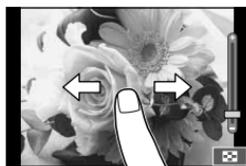
タッチパネルを使う

タッチパネルを使って、画像の操作ができます。

■ 1コマ再生で使う

コマ送り／コマ戻し

- タッチした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻しします。



拡大

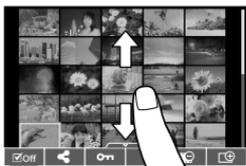
- 画面に軽くタッチすると、スライダーと  が表示されます。
- バーのスライダーを指で上下に動かすと拡大表示します。
- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
-  にタッチするとインデックス再生になります。さらに  にタッチすると、カレンダー再生やマイクリップス再生になります。



■ インデックス再生／マイクリップス再生／カレンダー再生で使う

ページを送る／戻す

- タッチした状態で、指を上動かすとページを送り、下動かすとページを戻します。
-  または  で表示するコマ数を切り換えられます。
-  に何度かタッチすると1コマ再生に戻ります。



画像を見る

- 見たい画像にタッチすると1コマ表示します。

画像を選択する／プロテクトする

1コマ再生画面で、画面に軽くタッチするとタッチメニューが表示されます。タッチメニューのアイコンにタッチするとそれぞれの操作ができます。

	画像を選択します。複数を選択してから一括して削除などができます。
	スマートフォンにシェアしたい画像を予約できます。📄「シェア予約」(P.80)
	画像のプロテクトをします。

注意

- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

4 メニューの機能

メニューの基本操作

メニューでは、ライブコントロールなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定します。

	撮影前の準備と基本的な撮影設定
	一歩進んだ撮影設定
	再生や編集に関する設定
	カメラのカスタマイズの設定(P.98) *
	日付や言語などのカメラ設定

* 初期設定では非表示。

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。



- 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。
- INFO**ボタンを押すと、ガイドの表示/非表示を切り換えることができます。

2 △▽でタブを選択し、**OK**ボタンを押します。

3 △▽で機能を選択し**OK**ボタンを押して、各設定画面に進みます。



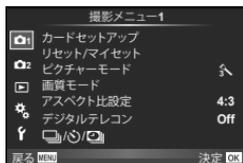
4 △▽で設定値を選択し**OK**ボタンを押して、設定内容を確定します。

- 繰り返し**MENU**ボタンを押し、メニューを終了します。

メモ

- 各機能の初期設定については、「メニュー一覧」(P.150)をご覧ください。

撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2を使う



撮影メニュー 1

- 1 カードセットアップ (P.83)
- 2 リセット/マイセット (P.84)
- 3 ピクチャーモード (P.85)
- 4 画質モード (P.85)
- 5 アスペクト比設定 (P.58)
- 6 デジタルテレコン (P.86)
- 7 []/[] (連写/セルフタイマー/インターバル撮影設定) (P.56, 86, 87)

撮影メニュー 2

- 1 ブラケット撮影 (P.88)
- 2 HDR撮影 (P.51)
- 3 多重露出撮影 (P.91)
- 4 デジタルシフト撮影 (P.92)
- 5 低振動[+] / 静音[♥]撮影 (P.93)
- 6 ハイレゾショット (P.93)
- 7 ⚡RCモード撮影 (P.93)

カードを初期化する(カードセットアップ)

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。

すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。[] 「使用できるカード」 (P.130)

- 1 1 撮影メニュー 1で、[カードセットアップ]を選択します。
- 2 2 [カード初期化]を選択して、[OK] ボタンを押します。
- 3 3 [実行]を選択して、[OK] ボタンを押します。
 - ・ 初期化が実行されます。



全コマを消去する(カードセットアップ)

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。

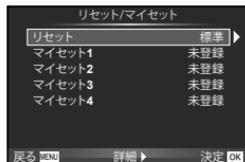
- 1 1 撮影メニュー 1で、[カードセットアップ]を選択します。
- 2 2 [全コマ消去]を選択して、[OK] ボタンを押します。
- 3 3 [実行]を選択して、[OK] ボタンを押します。
 - ・ 全コマ消去が実行されます。



カメラの設定を初期値に戻す(リセット)

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 1 撮影メニュー1で、[リセット/マイセット]を選択します。
- 2 [リセット]を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - [リセット]を選択してから**▷**を押すと、リセットの種類を選べます。日付や言語など一部を除いた設定値をリセットする場合は、[フル]を選び**OK** ボタンを押します。
☞ 「メニュー一覧」(P.150)
- 3 [実行]を選択し、**OK** ボタンを押します。



お気に入りの設定を登録する(マイセット)

マイセットを登録する

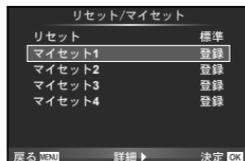
撮影モード以外の現在のカメラの設定を登録しておけます。**P/A/S/M**モードで登録された設定を呼び出すことができます。

- 1 登録したい状態にカメラを設定します。
- 2 撮影メニュー1で、[リセット/マイセット]を選択します。
- 3 登録先([マイセット1] ~ [マイセット4])を選択し、**▷**を押します。
 - すでに登録している場合、[マイセット1] ~ [マイセット4]に[登録]と表示されます。もう一度[登録]を選択すると、登録内容が上書きされます。
 - 登録を解除する場合は[クリア]を選択します。
- 4 [登録]を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - マイセットに登録できる機能 **☞** 「メニュー一覧」(P.150)

マイセット操作

カメラの設定を登録されたマイセットの設定にします。

- 1 撮影メニュー1で、[リセット/マイセット]を選択します。
- 2 [マイセット1] ~ [マイセット4]のいずれかを選択した状態で**OK** ボタンを押します。
- 3 [実行]を選択し、**OK** ボタンを押します。

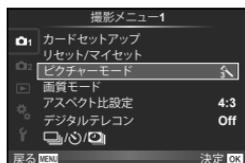


- マイセットをメニューで実行したとき、撮影モードの設定は変更されません。
- マイセットをボタン機能に割り当てておくと、ボタンを押すだけでマイセットの実行ができます。このときは、撮影モードも登録されているモードに変更されます。
- モードダイヤルのARTや**FAUTO**にもマイセットを割り当てることができます。

画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）

【ピクチャーモード】（P.68）の設定に、個別にコントラストやシャープネスなどの微調整をしておくことができます。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

- 1  撮影メニュー 1で、【ピクチャーモード】を選択します。



- 2 Δ / ∇ で項目を選択して \odot ボタンを押します。
- 3 各項目でさらに \triangleright を押すと、各項目のパラメータを調整できます。

					
コントラスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	P.69
シャープネス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	P.69
彩度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	P.69
階調	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	P.70
効果(i-Finishのみ、強弱の設定)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	—
フィルター効果(モノトーンのみ)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	P.70
調色(モノトーンのみ)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	P.71

こんなときは

- メニューに表示されるピクチャーモードの選択肢を少なくすることができます。
 「ピクチャーモード表示」(P.100)

注意

- 【標準】以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。

画質を選択する（画質モード）

画質モードを設定します。静止画とムービーそれぞれの画質モードを設定しておくことができます。ライブコントロールの【画質モード】と同じです。 「画質を選択する(静止画画質モード)」(P.59)、「画質を選択する(ムービー画質モード)」(P.60)

- JPEG画像の画像サイズと圧縮比の組み合わせ、**[M]**、**[S]**のピクセルサイズは変更することができます。**[画質設定]**、**[ピクセルサイズ]**  「JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ」(P.114)
- ムービーの圧縮方式とフレームレートの組み合わせ、クリップの撮影時間、スロー/クイック撮影の効果は変更することができます。 「ムービー画質設定」(P.106)

被写体を拡大して記録する(デジタルテレコン)

被写体をズームの倍率以上の大きさに拡大して記録します。中央部を切り出して記録します。被写体が約2倍の大きさになります。

- 1 撮影メニュー 1で[デジタルテレコン]を[On]にします。
- 2 モニターの表示が2倍に拡大されます。
 - 撮影するとモニターに表示された状態で記録されます。

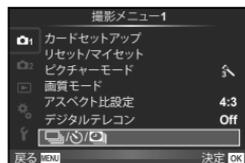
注意

- SCN (3D、、、)、II、多重露出では使用できません。
- 録モードでは、[動画エフェクト]が[On]のときは使用できません。
- RAW画像では表示した部分を示す枠が表示されます。
- AFターゲットが少なくなります。

セルフタイマーを設定する(/)

セルフタイマーのカスタム設定ができます。

- 1 撮影メニュー 1で、//を選択します。



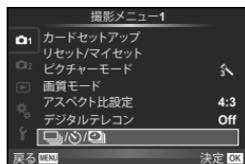
- 2 /を選択して▶ボタンを押します。
- 3  (カスタム)を選択して▶ボタンを押します。
- 4 △▽で項目を選択して▶を押します。
 - △▽で設定を選択してⓀボタンを押します。

コマ数	撮影する枚数を設定します。
セルフタイマー時間	撮影するまでの時間を設定します。
撮影間隔	2コマ目以降を撮影する間隔を設定します。
各コマAF	セルフタイマーで撮影する各コマの、撮影直前にAFを行うかどうかを設定します。

一定時間ごとに自動的に撮影する(📷)インターバル撮影)

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマをひとつのムービーとして記録することもできます。**P/A/S/M**モードでのみ設定できます。

1 📷撮影メニュー1で、[📷/📷/📷]を選択します。



2 [インターバル撮影設定]を選択して▶を押します。

3 [On]を選択してから▶を押して、以下の設定をします。

コマ数	撮影するコマ数を設定します。
撮影開始待ち時間	撮影開始までの待ち時間を設定します。
撮影間隔	撮影開始後の撮影の間隔を設定します。
タイムラプス動画	一連のコマの記録形式を設定します。 [Off]: それぞれのコマを静止画として記録します。 [On]: 静止画で記録すると同時に、一連のコマでひとつのムービーを生成して記録します。

- ムービーの画質は**[Motion JPEG (HD)]**、フレームレートは10fpsです。

4 撮影します。

- AF後、ピントが合わなくても撮影されます。ピント位置を固定したいときはMFで撮影してください。
- **[撮影確認]**は0.5秒で動作します。
- 撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を1分31秒以上にすると、1分でモニターを消灯してカメラの電源が切れます。撮影10秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、シャッターボタンを押しても復帰します。

注意

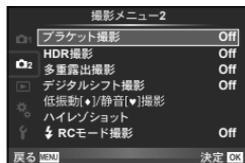
- AF方式が**[C-AF]** **[C-AF+TR]**では、**[S-AF]**に設定されます。
- インターバル撮影中は、タッチ操作は受け付けません。
- HDR撮影では使用できません。
- バルブ、タイムまたはコンポジット撮影、ブラケット撮影、多重露出撮影とは併用できません。
- 撮影間隔より、フラッシュの充電時間が長いときは、フラッシュは発光しません。
- インターバル撮影中は、カメラの電源が自動的に切れても次の撮影前に復帰します。
- 撮影した静止画が正しく記録されていない場合は、タイムラプス動画は生成されません。
- カード残量が不足した場合、タイムラプス動画は記録されません。

- 撮影開始後に次の操作をするとインターバル撮影は、終了します。
モードダイヤル/ **MENU** ボタン/  ボタン/ レンズ取り外しボタン/ USBケーブルを接続
- 電源を切ると、インターバル撮影を終了します。
- 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いください。

条件を少しずつ変化させて撮影する(ブラケット撮影)

1コマごと、または同時に異なる設定の撮影を自動的に行う方法をブラケット撮影といいます。ブラケット撮影の設定を保ったまま、ブラケット撮影をオフにできます。

- 1  撮影メニュー 2で、[ブラケット撮影]を選択して  ボタンを押します。



- 2 [On]を選択してから  を押して、ブラケット撮影の種類を選択します。

- ブラケット撮影を設定すると、画面に **[BKT]** が表示されます。



- 3  を押して撮影枚数などの設定を選択してから、  ボタンを押します。

- 手順1の画面に戻るまで、繰り返し  ボタンを押します。
- 手順2で [Off] に設定すると、ブラケット撮影の設定を保持したまま、通常の撮影をすることができます。

注意

- HDR撮影では使用できません。
- インターバル撮影とは併用できません。
- ブラケット撮影では、カメラのメモリーカードに設定枚数以上の空きがないと撮影できません。

AE BKT (AEブラケット撮影)

1コマごとに露出を変えて撮影するAEブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすること、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正露出、-補正、+補正の順番で撮影します。撮影枚数：2枚／3枚／5枚／7枚

- ブラケット撮影中は**BKT**が緑色で表示されます。
- **P**モードでは、絞り値とシャッター速度、**A**および**M**モードではシャッター速度、**S**モードでは絞り値を制御して補正を行います。
- 露出補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたAEブラケット撮影が行われます。
- **[露出ステップ]**を変更すると、補正量も変化します。
 ④ 「カスタムメニューを使う」(P.98)



WB BKT (WBブラケット撮影)

1回の撮影で、1つの補正方向に対して色合い(ホワイトバランス)を変えた3枚の画像を自動的に作成します。カメラの設定で撮影された画像、その画像から色合いを変更した画像の順番で記録されます。**P**、**A**、**S**、**M**モードでのみ使用できます。

- 補正する方向**A-B**(赤-青)、および**G-M**(緑-赤紫)のそれぞれのステップを2ステップ、4ステップ、6ステップから選択します。
- ホワイトバランスの補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたWBブラケット撮影が行われます。



FL BKT (FLブラケット撮影)

1コマごとにフラッシュの発光量を変えて撮影するフラッシュブラケット撮影の設定を行います。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすること、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正発光量、-発光量、+発光量の順番で3コマを撮影します。

- ブラケット撮影中は**BKT**が緑色で表示されます。
- **[露出ステップ]**を変更すると、補正量も変化します。
 ④ 「カスタムメニューを使う」(P.98)



ISO BKT (ISOブラケット撮影)

撮影時のシャッター速度と絞り値を固定したまま、1コマごとにISO感度を変えて撮影するISOブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。1回の撮影で、ISO感度を設定したISO感度(オート設定時は適正ISO) - 補正、+補正の順番で3コマを撮影します。

- **[ISO感度ステップ]**を変更しても、補正量は変化しません。
☞ 「カスタムメニューを使う」(P.98)
- **[ISOオート設定]**で設定した上限値とは関係なくブラケット撮影が行われます。☞ 「カスタムメニューを使う」(P.98)



ART BKT (アートフィルターブラケット撮影)

1回の撮影でアートフィルターを施した複数の画像を残せます。使用するピクチャーモードごとにOn / Offを設定しておきます。

- 撮影後の画像の記録に時間がかかる場合があります。
- WB BKT、ISO BKTとの併用はできません。



複数の画像を重ね合わせて撮影する(多重露出撮影)

複数の画像を重ねて1つの画像に合成し、設定されている画質モードで保存します。

1  撮影メニュー 2で、[多重露出撮影]を選択します。

2 多重露出撮影の設定を行います。

コマ数	[2コマ]に設定します。
自動ゲイン補正	[On]に設定すると、各コマの明るさを1/2にしてから合成します。[Off]に設定すると、各コマの明るさのままで合成します。
再生画+多重	[On]に設定すると、選んだRAW形式の画像に重ねて多重露出撮影ができます。撮影回数は1回です。撮影した画像は別の画像として保存されます。

- 多重露出を設定するとモニターにが表示されます。

3 撮影します。

- 撮影を始めるとが緑で表示されます。
- ボタンを押すと、直前に撮影した画像が取り消されます。
- 1コマ目を撮影するとモニターに途中の合成画像が半透過で表示されるので、合成位置を確認しながら撮影できます。

こんなときは

- 3コマ以上撮影画像を合成したい：[画質モード]をRAWの設定で撮影し、[再生画+多重]を使って繰り返し撮影します。
- RAW画像を合成したい： [画像合成] (P.96)

注意

- 多重露出を設定すると、スリープモードには入りません。
- 他のカメラで撮影された画像を使った合成はできません。
- [再生画+多重]を[On]に設定し、RAW形式の画像を選択するときに表示される画像は、撮影時の設定で現象されたものです。
- 撮影に関する設定は、多重露出撮影を解除してから行ってください。一部設定できない機能があります。
- 次の場合は1枚目以降の多重露出が自動的に解除されます。
電源を切る /  ボタンを押す / MENU ボタンを押す / P/A/S/M以外の撮影モードにする / 電池残量がなくなる / 各コネクタへのケーブルの挿入
- [再生画+多重]でRAW形式の画像を選択するとき、RAW+JPEGで記録した画像はJPEG画像が表示されます。
- 多重露出撮影とブラケット撮影を併用する場合は、多重露出撮影の動作が優先されます。合成した画像を保存中、ブラケット撮影は初期状態にリセットされます。



台形補正をする／遠近感を強調する(デジタルシフト撮影)

建物のあおり撮影をするときに台形補正をしたり、意図的に遠近感を強調した画像を撮影できます。**P/A/S/M**モードでのみ設定できます。

- 1  撮影メニュー 2で[デジタルシフト撮影]を[On]にします。



- 2 画面を見ながら補正をして構図を決めます。

- フロントダイヤルまたはリアダイヤルで台形補正をします。
- $\Delta \nabla < \triangleright$ で記録する範囲を決めます。
-  ボタンを長押しすると、設定がキャンセルされます。
- デジタルシフト撮影時に露出補正などの撮影機能を設定する場合は、**INFO** ボタンを押して表示をデジタルシフト設定画面以外に切り換えます。デジタルシフト撮影に戻るには、デジタルシフト設定画面が表示されるまで**INFO** ボタンを押します。

- 3 撮影します。

- デジタルシフト撮影を終了するには、 撮影メニュー 2で[デジタルシフト撮影]を[Off]にします。

メモ

- [ボタン機能]でいずれかのボタンに[罫(デジタルシフト)](P.65)を割り当てているときは、ボタンを長押しするとデジタルシフトを終了します。

注意

- 画質モードが[RAW]のときは、RAW+JPEGで記録されます。
- コンバーターレンズをお使いの場合は、意図通りに補正できない場合があります。
- 補正の度合いによっては、一部のAFターゲットが表示範囲内がない場合があります。表示範囲の外にあるAFターゲットでピントがあったときはアイコン(, , , )が表示されます。
- デジタルシフト撮影時は、以下の機能は使用できません。
ライブバルブ、ライブタイムまたはコンポジット撮影／連写／ブラケット撮影／HDR撮影／多重露出／デジタルテレコン／動画撮影／AF方式の[C-AF]または[C-AF+TR]／フルタイムAF／ピクチャーモードの[e-ポートレート]またはART／カスタムセルフタイマー／ピーキング／ハイレゾショット
- [手ぶれ補正]で焦点距離設定をしているときは、設定値に従って補正されます。マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、[手ぶれ補正]で焦点距離設定をしてください(P.55)。

低振動撮影／静音撮影を設定する（低振動[♦]／静音[♥]撮影）

低振動撮影と静音撮影を設定すると、連写／セルフタイマー（P.56）で低振動撮影または静音撮影の項目を選択して撮影できます。

- 1 撮影メニュー 2 で、[低振動[♦]／静音[♥]撮影]を選択します。
- 2 設定する撮影項目を選択します。

低振動[♦]撮影	低振動撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。時間を設定すると、連写／セルフタイマーで[♦]の付いた項目が表示されます。低振動撮影を使わないときはOffにします。シャッター動作による微少なぶれを低減したいときに設定してください。低振動モードは連写（P.56）やセルフタイマー撮影（P.56）にも有効です。
静音[♥]撮影	静音撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。時間を設定すると、連写／セルフタイマーで♥の付いた項目が表示されます。静音撮影を使わないときはOffにします。
静音[♥]長秒時ノイズ低減	[AUTO]に設定すると、静音撮影で長秒時ノイズ低減を使用します。ノイズ低減処理時に、シャッターの動作音がします。

ハイレゾショットを設定する（ハイレゾショット）

ハイレゾショットを設定すると、連写／セルフタイマー（P.56）でを選択して撮影できます。

- 1 撮影メニュー 2 で、[ハイレゾショット]を選択します。
- 2 設定する撮影項目を選択します。

ハイレゾショット	ハイレゾショット撮影時の、シャッターボタンを全押しした後、シャッターが切れるまでの時間までの時間を設定します。時間を設定すると、連写／セルフタイマーで  が表示されます。ハイレゾショットを使わないときはOffにします。
充電待ち時間	付属の専用フラッシュ以外のフラッシュを使用する場合に、フラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。

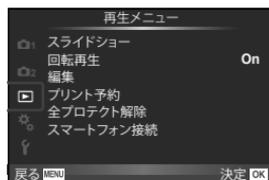
ワイヤレスRCフラッシュ撮影

付属のフラッシュとRCモード機能付き専用フラッシュを使ってワイヤレスフラッシュ撮影ができます。「ワイヤレスRCフラッシュ撮影」（P.139）

再生メニューを使う

再生メニュー

- スライドショー (P.78)
- 回転再生 (P.94)
- 編集 (P.94)
- プリント予約 (P.127)
- 全プロテクト解除 (P.96)
- スマートフォン接続 (P.117)



4

メニューの機能(再生メニュー)

画像を回転して再生する(回転再生)

設定が[On]のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。

画像編集

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。

- 再生メニューで[編集]を選び \odot ボタンを押します。
- $\Delta \nabla$ で[画像選択]を選び \odot ボタンを押します。
- $\triangleleft \triangleright$ で編集する画像を選択し、 \odot ボタンを押します。
 - RAW画像の場合は[RAW編集]、JPEG画像の場合は[JPEG編集]が表示されます。RAW+JPEGで記録した画像は、メニューに両方が表示されますので、編集したい方のメニューを選びます。
- [RAW編集]または[JPEG編集]を選択して \odot ボタンを押します。

RAW編集	設定に合わせて編集したJPEG画像を作ります。	
	【現設定】	現在のカメラの設定に応じた処理がされます。あらかじめカメラの設定をしておきます。
	【詳細設定1】	画面上で設定を変更しながら編集します。使用した設定を記録しておけます。
	【詳細設定2】	ART BKT

<p>JPEG編集</p>	<p>次の編集が可能です。</p> <p>[階調オート]：逆光時に暗く写った被写体を明るくします。</p> <p>[赤目補正]：フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。</p> <p>[トリミング]：フロントダイヤル(📷)またはリアダイヤル(📷)でトリミングサイズ、$\Delta \nabla < \triangleright$でトリミング位置を指定します。</p>  <p>[アスペクト]：アスペクト比が4:3 (基準)の画像のアスペクト比を[3:2] / [16:9] / [1:1] / [3:4]に変更します。アスペクト比変更後、$\Delta \nabla < \triangleright$でトリミング位置を指定します。</p> <p>[モノクロ作成]：白黒に変換します。</p> <p>[セピア作成]：セピア色に変換します。</p> <p>[鮮やかさ調整]：画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。</p> <p>[リサイズ]：画像サイズを1280 × 960、640 × 480、または320 × 240に変換します。アスペクト比が4:3 (基準)以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。</p> <p>[eポートレート]：なめらかな肌に補正します。 顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。</p>
----------------------	---

5 設定を完了したら \odot ボタンを押します。

- 画像に設定が反映されます。

6 [実行]を選択して \odot ボタンを押します。

- 編集された画像がカードに記録されます。

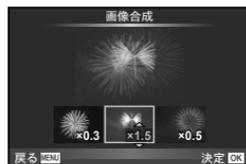
注意

- 3D画像やムービー、またはフォトストーリーの一時保存ファイルの編集はできません。
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。
パソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像
- [リサイズ]では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- [トリミング] / [アスペクト]は、アスペクト比が4 : 3 (基準)の画像のみ編集できます。
- [ピクチャーモード]を[ART]に設定すると[カラー設定]は、[sRGB]に固定されます。

画像合成

撮影したRAW画像を最大3コマまで重ねて合成し、別の画像として保存します。保存時の画質モードで保存されます。(【RAW】の場合は【N+RAW】で保存されます。)

- 1 再生メニューで【編集】を選びOKボタンを押します。
- 2 Δ ∇ で【画像合成】を選びOKボタンを押します。
- 3 合成するコマ数を選択してOKボタンを押します。
- 4 Δ ∇ \triangleleft \triangleright で合成するRAW画像を選択します。
 - 手順3で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。
- 5 合成する各画像のゲインを選択します。
 - \triangleleft \triangleright で画像を選択し、 Δ ∇ で数値を変更します。
 - ゲインは0.1～2.0まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。
- 6 OKボタンを押すと、確認画面が表示されます。【実行】を選択し、OKボタンを押します。



💡 こんなときは

- 画像をRAW形式で保存し、繰り返し【画像合成】を行うと、4コマ以上の画像合成が可能です。

音声録音

静止画に音声を録音します(最長30秒)。

画像再生時の【録音】と同じ機能です。(P.80)

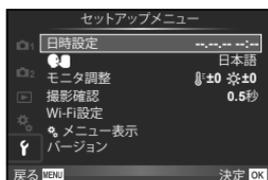
全プロテクト解除

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

- 1 再生メニューで【全プロテクト解除】を選択します。
- 2 【実行】を選択し、OKボタンを押します。

セットアップメニューを使う

↑セットアップメニューでは、カメラの基本的な機能を設定します。



メニュー項目	説明	16
日時設定	日時を設定します。	16
🗨️ (言語切り換え)	モニターメニュー表示やエラーメッセージを、日本語以外の言語に設定できます。	—
モニタ調整	<p>モニターの明るさと色温度を調整します。色温度の調整は再生時のモニター表示に適用されます。◀▶で🌞 (色温度) と☀️ (明るさ) を切り換え、△▽で設定値を選びます。</p> <p>INFO ボタンを押すたびにモニター表示の彩度が [Natural] と [Vivid] で切り換わります。</p>	—
撮影確認	<p>撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。</p> <p>[0.3秒] ~ [20秒] : 画像を表示する時間を指定します。 [Off] : 記録中の画像は表示されません。 [Auto▶] : 記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。</p>	—
Wi-Fi設定	本機の無線機能を使って、無線LAN接続が可能なスマートフォンと接続するための設定をします。	117
⚙️メニュー表示	カスタムメニューを表示するかどうかを設定します。	—
バージョン	カメラや接続しているアクセサリートのファームウェアバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやソフトウェアをダウンロードする場合に確認できます。	—

カスタムメニューを使う

カスタムメニューを使って、機能の拡張やカメラのカスタマイズができます。

カスタムメニュー

-  AF/MF (P.98)
-  ボタン/ダイヤル/レバー (P.99)
-  レリーズ/連写 (P.99)
-  表示/音/接続 (P.100)
-  露出/測光/ISO (P.102)
-  フラッシュ (P.103)
-  画質/色/WB (P.103)
-  記録/消去 (P.104)
-  動画 (P.105)
-  内蔵EVF (P.107)
-  その他 (P.107)



AF/MF

MENU →  → 

メニュー項目	説明	
AF方式	AFの方式を選択できます。ライブコントロールの設定と同じです。静止画撮影モードと g モードで別々に設定できます。	49
フルタイムAF	[On]にするとシャッターボタンを半押ししないときも常時ピント合わせの動作をします。フォーサーズマウント規格レンズ使用時は無効です。	—
AEL/AFLモード	AFやAEロックの機能を設定します。	108
レンズリセット	[Off]にすると、電源をオフにしてもフォーカス位置をリセットしません。[On]のとき、電動ズームレンズはズームの位置もリセットします。	—
BULB/TIME中MF	マニュアルフォーカス(MF)で露出中もピントの位置を変えられます。[Off]にすると、フォーカスリングの回転を無効にします。	—
フォーカスリング	フォーカスリングの回転方向とピントの移動方向を切り換えることができます。	—
MFアシスト	[On]に設定すると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、自動的に拡大表示したり、ピーキング表示することができます。	109
[H] Home登録	ホームポジションとして使うAFターゲットの位置を登録します。ホームポジションが登録中の場合、AFターゲット選択の画面で(H)が表示されます。	—
AFイルミネータ	[Off]にするとAF補助光を発光しません。	—
◎顔優先	顔優先AFや瞳優先AFの方式を選択できます。ライブコントロールの設定と同じです。	47
AFターゲット表示	[Off]にすると、合焦時にターゲット枠を表示しません。	—

メニュー項目	説明	📖
ボタン機能	各ボタンに機能の登録ができます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> [Fn] ボタン機能]、[Fn2 ボタン機能]、 [Fn3 ボタン機能]、[Fn4 ボタン機能]、[⊙ ボタン機能]、 [⊙ ボタン機能]、[▷ ボタン機能]、[▽ ボタン機能]、 [⊞ ⊞ ボタン機能]、[B/Fn] ボタン機能]、 [B/Fn2 ボタン機能]、[L-Fn] ボタン機能] </div>	64
ダイヤル機能	リアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます。	—
ダイヤル方向	シャッター速度や絞り値の増減方向を切り換えます。プログラムシフトの方向を切り換えます。	—
モードダイヤル機能	モードダイヤルの任意のポジションに、登録済みのマイセットを割り当てることができます。[マイセット1]～[マイセット4] (P.84) で登録されていないと選択できません。	—
レバー機能	レバーの位置によって、ダイヤルやボタンの機能を切り換えることができます。	109
外付グリップダイヤル機能	外付グリップ(HLD-8)のダイヤルに割り当てる機能を、ヘッドホン音量変更またはフロントダイヤル機能に設定できます。撮影時に使用できます。	—

📖 レリーズ/連写

メニュー項目	説明	📖
レリーズ優先S	[On] に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができるようになります。S-AF (P.49)、C-AF (P.49) それぞれのAF方式で個別に設定できます。	—
レリーズ優先C		
📖 L設定	連写の速度を [📖L]、[📖H] [♥📖L]、[♥📖H]、それぞれに設定できます。数値は最大値の目安です。	56、57
📖 H設定		
♥📖 L設定		
♥📖 H設定		
手ぶれ補正	静止画撮影と動画撮影のそれぞれについて手ぶれ補正を設定します。	55
連写中手ぶれ補正	連写中に手ぶれ補正を動作させるかどうかを設定します。	—
半押し中手ぶれ補正	[Off] にすると、シャッターボタンの半押し中の手ぶれ補正機能が働きます。	—
レンズ手ぶれ補正優先	[On] にすると手ぶれ補正機能付きレンズを使用するときレンズ側の機能を優先して働かせます。	—
レリーズタイムラグ	[ショート] に設定すると、シャッターボタン全押しから撮影されるまでのタイムラグを短くできます。*	—

* 電池寿命が短くなります。また、カメラ使用中に強い衝撃を与えないでください。モニターに被写体が表示されなくなります。そのときは電源を入れなおしてください。

メニュー項目	説明	📺																																		
HDMI	<p>[HDMI出力]：HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。</p> <p>[HDMIコントロール]：[On]にするとHDMIコントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。</p>	110																																		
ビデオ出力	各国のテレビ映像信号に合わせて、[NTSC]または[PAL]を選択します。日本は[NTSC]です。	110																																		
📷Control表示	<p>操作画面の表示/非表示を、撮影モードごとに設定できます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">操作画面</th> <th colspan="4">撮影モード</th> </tr> <tr> <th>IAUTO</th> <th>P/A/S/M</th> <th>ART</th> <th>SCN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LVコントロール(P.44)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>LVスーパーコンパネ(P.43)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ライブガイド(P.24)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ARTメニュー</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>SCNメニュー</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>操作画面は、INFOボタンを押すと切り換えることができます。</p>	操作画面	撮影モード				IAUTO	P/A/S/M	ART	SCN	LVコントロール(P.44)	○	○	○	○	LVスーパーコンパネ(P.43)	○	○	○	○	ライブガイド(P.24)	○	×	×	×	ARTメニュー	×	×	○	×	SCNメニュー	×	×	×	○	111
操作画面	撮影モード																																			
	IAUTO	P/A/S/M	ART	SCN																																
LVコントロール(P.44)	○	○	○	○																																
LVスーパーコンパネ(P.43)	○	○	○	○																																
ライブガイド(P.24)	○	×	×	×																																
ARTメニュー	×	×	○	×																																
SCNメニュー	×	×	×	○																																
📷Info表示設定	<p>INFOボタンを押したときに表示する情報画面の表示/非表示を設定します。</p> <p>[📺Info]：再生情報画面の設定</p> <p>[LV-Info]：撮影情報画面の設定</p> <p>[📷表示]：インデックス表示/カレンダー表示の設定</p>	112、113																																		
表示罫線選択	[方眼]、[黄金分割]、[目盛]、[対角線]、[動画罫線]から選択し、撮影画面に罫線を表示できます。	—																																		
ピクチャーモード表示	ピクチャーモードの設定をするとき、選択したピクチャーモードだけを表示します。	—																																		
ヒストグラム警告設定	<p>[ハイライト表示]：ハイライト表示の下限値を設定します。</p> <p>[シャドウ表示]：シャドウ表示の上限値を設定します。</p>	112																																		
モードガイド表示	[Off]にすると、モードダイヤルを切り換えたときに表示されるモードについてのガイドを表示しません。	21																																		
LVブースト	<p>低照度下の撮影でも被写体を確認しながら撮影できます。</p> <p>Mモードのときは、BULB/TIME撮影やライブコンポジット撮影のそれぞれに設定できます。</p> <p>[ON1]：滑らかに表示することを優先して表示します。</p> <p>[ON2]：暗くても画像が見えることを優先して表示します。カメラのボタン操作の反応が遅くなります。</p>	—																																		
フレームレート	[高速]にすると表示遅れが軽減されます。ただし画像が粗く見える場合があります。	—																																		

メニュー項目	説明	
アートLVモード	[mode1] : 常にフィルター効果を反映して表示します。 [mode2] : シャッターボタンを半押し中、フィルター効果の反映をしないでモニター表示を行います。スムーズな表示をします。	—
LVダイナミックレンジ拡大	[LVダイナミックレンジ拡大] は、 [OVFシミュレーション] に変更されました。	172
フリッカー低減	ライブビュー表示の蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減します。 [オート] で低減されないときは、地域の商用電源周波数に合わせて [50Hz] [60Hz] に設定します。	—
LV拡大モード	[mode1] : シャッターボタンを半押しすると拡大表示を中止します。 [mode2] : シャッターボタンを半押ししても拡大表示を続けます。	48
ロック	[On] に設定すると、プレビューを登録したボタンを押すたびに、プレビューのロックと解除が切り換わります。	—
ピーキング表示	輪郭強調の色や強度を変更できます。	—
バックライト時間	設定した時間、カメラを操作しないと、バックライトを減光して電池の消費を抑えます。 [Hold] にすると減光しません。	—
スリープ時間	設定した時間、カメラを操作しないと、省電力モード(スリープモード)になります。シャッターボタンの半押しで解除されます。	—
自動電源Off	スリープ中に、設定した時間が経過すると、自動的に電源をOffにします。	—
電子音	[Off] に設定すると、シャッターボタンを押してピントが合ったときのピピッという音を鳴らさないようにできます。	—
USB接続モード	カメラをパソコンやプリンタに接続するときの方式を選択します。 [オート] では機器に接続するたびにメニューが表示されます。 [カメラコントロール] に設定すると、専用ソフトウェアを使ってパソコンからカメラを操作したり、カメラからパソコンに画像を転送することができます。専用ソフトウェアは下記のURLからダウンロードし、インストールしてください。 [カメラコントロール] を使うには、モードダイヤルを P/A/S/M モードのいずれかに設定してください。 http://support.olympus-imaging.com/oc1download/index/	—
マルチFn表示設定	マルチファンクションとして使用する項目を選択します。	—
メニューカーソル保持	[記憶する] に設定すると、メニューを表示したときに、前回操作したときのカーソル位置から表示します。カーソル位置の記憶は、電源を切っても保持しています。	—

メニュー項目	説明	📷
露出ステップ	シャッター速度、絞り値、露出補正值などの露出パラメータ設定の変更ステップを切り換えます。	—
長秒時ノイズ低減	長時間露光時に発生するノイズを低減します。 [オート] ：長秒時、カメラ内部温度上昇時に、ノイズ低減処理を行います。 [On] ：常にノイズ低減処理を行います。 [Off] ：ノイズ低減処理を行いません。 <ul style="list-style-type: none"> 撮影後、撮影時間と同じくらいの処理時間がかかります。 連写設定時は自動的に[Off]になります。 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。 	35
高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。	—
ISO感度	ISO感度を設定します。	52
ISO感度ステップ	ISO感度の設定ステップを設定します。	—
ISOオート設定	ISO感度を [オート] に設定したときの上限値と基準値を設定します。 [上限値] ：ISO感度の上限を設定します。 [基準値] ：通常使用するISO感度を設定します。	—
ISOオート有効	ISO感度の [オート] の動作を設定します。 [P/A/S] ：Mモード以外の撮影モードで有効になります。 M モードでは、ISO200に固定されます。 [All] ：すべての撮影モードで有効になります。	—
測光	撮影シーンに応じて測光方式を変更できます。	52
AEL測光モード	AEロック(P.108)するときの測光方式を設定します。 [オート] ：通常の測光モードの設定にしがいます。	—
BULB/TIME リミッター	バルブ撮影、タイム撮影の最長時間を設定します。	—
BULB/TIME輝度 設定	[BULB] 、 [TIME] 、 [COMP] 設定時のモニターの明るさを設定します。	—
ライブBULB設定	撮影中の画面表示の間隔を設定します。表示回数には制限があります。また、ISO感度が高いほど表示回数が少なくなります。 [Off] にすると表示しません。モニターにタッチするかシャッターボタンを半押しすると表示を更新できます。	—
ライブTIME設定		—
コンポジット撮影 設定	コンポジット撮影(P.36)時に基準となる露出時間を設定します。	—

メニュー項目	説明	ページ
同調速度	フラッシュ発光時のシャッター速度を設定できます。	113
低速制限	フラッシュ発光時の低速側のシャッター速度の制限値を設定できます。	113
連動	[On]にすると、フラッシュ補正值に露出補正值が加算されます。	45, 64

メニュー項目	説明	ページ
画質設定	<p>JPEGの画質モードを変更できます。3種類の画像サイズと4種類の圧縮率の組み合わせから選択します。</p> <p>1) 左方向キーで[1] ~ [4]の画像サイズと圧縮率を選択し、△▽で値を変更します。</p> <p>2) 決定ボタンを押すと確定されます。</p> 	59
ピクセルサイズ	<p>画像サイズ[M]、[S]のピクセルサイズを設定できます。</p> <p>1) [Middle]または[Small]を選択して、▶を押します。</p> <p>2) ピクセルサイズを変更して、決定ボタンを押すと設定が確定します。</p> 	59
シェーディング補正	<p>[On]に設定すると、レンズの特性による画面周辺の暗さを補正し、明るくします。</p> <ul style="list-style-type: none"> テレコンバーターやエクステンションチューブを装着しているときは補正されません。 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。 	—
WBモード	ホワイトバランスの設定をします。ライブコントロールの設定と同じです。それぞれの設定を微調整しておくこともできます。	53
全WBモード補正	<p>[All Set] : [CWB]以外のすべてのWBモードで同じ補正值を適用します。</p> <p>[All Clear] : [CWB]以外のすべてのホワイトバランス補正值を0にします。</p>	—

メニュー項目	説明	📷
WBオート 電球色残し	[Off]にすると電球色の色味を残しません。	—
🔁+WB運動	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。	—
カラー設定	撮影した画像をモニターやプリンタで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。	—

📷 記録/消去

メニュー項目	説明	📷
ワンブッシュ消去	[On]に設定すると、再生画面で🔍ボタンを押したとき、すぐに画像が消去されます。	—
RAW+JPEG消去	[1コマ消去] (P.79)を行う場合に、RAW+JPEGで記録した画像の消去方法を設定します。 [JPEG]：JPEGのみ消去します。 [RAW]：RAWのみ消去します。 [RAW+JPEG]：RAWとJPEGの両方を消去します。 ・ [全コマ消去] (P.83)や選択コマ消去の場合は、常にRAWとJPEGの両方が消去されます。	59
ファイルネーム	[オート]：カードを入れ換えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。 [リセット]：新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。	—
ファイルネーム編集	画像につくファイル名を変更できます。以下の部分が編集できます。 sRGB：Pmdd0000.jpg _____ Pmdd AdobeRGB：_mdd0000.jpg _____ mdd	—
実行優先設定	カーソルの初期位置を[実行]または[中止]にするかを選択できます。	—
dpi設定	プリントするときの解像度を設定します。	—

メニュー項目	説明	
著作権情報*	<p>最大63文字の撮影者／著作権者の名称を画像に付加します。 [著作権情報記録]：[On]を選択すると撮影者／著作権者の名称をExif情報に付加します。 [撮影者入力]：撮影者の名称を入力します。 [著作権者入力]：著作権者の名称を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①の中から文字を選択し、☒ボタンを押します。選択した文字は②に表示されます。 手順①を繰り返し、すべてを入力したら[END]を選択し☒ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> 文字を消去するには、INFOボタンを押し、カーソルを②に移動してから、消去したい文字を選んで☒ボタンを押します。 	—

* [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。

動画

メニュー項目	説明	
モード	ムービー撮影時の撮影モードを設定しておくことができます。ライブコントロールで行う設定と同じです。	38
ムービー録音	[Off]にすると、ムービー撮影中に音声を録音しないように設定できます。ライブコントロールで行う設定と同じです。	72
録音レベル調整	カメラのマイクごとに感度を設定します。マイクが拾っている音量の過去数秒間のピーク値を音量レベルバーで確認しながら、△▽で感度を調整します。	—
入力リミッター	[On]にすると、マイクで拾う音量が一定より大きい場合は、自動的に音量を制限します。	—
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。	—
プラグインパワー	[Off]にするとマイク端子への通電を切ります。プロ用マイクを使用する場合などに使います。	—
PCMレコーダー接続	ICレコーダーを外部マイク端子に接続してマイクとして使用するときには[On]にします。接続には、抵抗無しタイプのケーブルをご使用ください。	—
ヘッドホン音量	ヘッドホンを別売のHLD-8に接続して使用するとき、音量を調節できます。	138

メニュー項目	説明	📺
タイムコード設定	ムービー撮影時に記録するタイムコードを設定します。 [タイムコードモード]：記録時間との誤差を補正して記録するときには[DF]（ドロップフレーム）、誤差を補正しないときは[NDF]（ノンドロップフレーム）に設定します。 [カウントアップ方式]：タイムコードを録画中のみカウントするときには[RR]（レックラン）、電源OFF時を含む録画停止中もカウントするときには[FR]（フリーラン）に設定します。 [タイムコード値設定]：タイムコードの開始時間を設定します。[現在時刻]に設定すると、現在の時刻でフレームが00になります。00:00:00:00に設定するときには[リセット]を選択します。[手動入力]でも設定できます。 Motion JPEGの[HD]、[SD]では記録されません。	—
動画Info表示設定	ムービー撮影画面での情報表示の内容を選択できます。表示しないときは項目を選択して、🔍ボタンを押してチェックをはずします。	—
ムービー画質設定	ムービーの画像サイズと圧縮方式/ビットレートの組み合わせをSET1～SET4に設定できます。設定後、ムービーの画質モード(P.60)で選択できます。 [画像サイズ]：[FHD]（Full HD）と[HD]を設定できます。 [圧縮方式/ビットレート]：[A-I]（All-Intra）/ [SF]（Super Fine）/ [F]（Fine）/ [N]（Normal）を設定できます。	—
動画エフェクト	[On]にすると、📺モードでムービー効果を使用できます。	38
動画中静止画撮影	ムービー録画中の静止画撮影のしかたを設定します。 [mode1]：ムービー録画を停止することなく、録画中に静止画を撮影します。 [mode2]：ムービー録画を停止して、静止画を撮影します。静止画撮影後、ムービー録画を再開します。 • mode2設定時や一部の撮影モードでは、録画中の静止画撮影は1コマ撮影に制限され、他の撮影機能にも一部制限があります。 • ムービーの画質モードがMotion JPEGの📺または📺の場合は、mode2に設定されます。	39
📺シャッターボタン機能	ムービーモード時のシャッターボタンの機能を選択できます。 [mode1]：シャッターボタンで、静止画の撮影を行います。 [mode2]：シャッターボタン全押しで、動画撮影の開始と停止を行います。mode2のときは、🔍ボタンで録画の操作はできません。	—

メニュー項目	説明	
内蔵EVF表示スタイル	ファインダー内の表示スタイルを変更できます。	115
Info表示設定	ファインダーに、モニターと同じようにヒストグラム表示やハイライト&シャドウ表示を設定できます。【内蔵EVF表示スタイル】で【スタイル1】、【スタイル2】に設定しているときに有効です。	—
表示罫線選択	ファインダーに罫線を表示できます。【方眼】、【黄金分割】、【目盛】、【対角線】、【動画罫線】から選択できます。【内蔵EVF表示スタイル】で【スタイル1】、【スタイル2】に設定しているときに有効です。	—
内蔵EVF自動切換設定	【Off】にすると、ファインダーをのぞいても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには [O] ボタンを押します。	—
EVF調整	ファインダー表示の明るさや色合いを調整します。【EVF自動調光】が【On】のときは自動で明るさを調整します。	—
半押し中水準器表示	【Off】にすると、シャッターボタンの半押し中にファインダー内に水準器を表示しません。【内蔵EVF表示スタイル】で【スタイル1】、【スタイル2】に設定しているときに有効です。	—

その他

メニュー項目	説明	
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。	149
露出基準調整	適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。 <ul style="list-style-type: none"> 調整した方向の露出補正範囲が狭くなります。 調整量は撮影画面では確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正(P.45)を行ってください。 	—
警告レベル	警告を表示する電池残量レベルを調整できます。	15
使用順序設定	パワーバッテリーホルダーを使うときに、優先して使用する電池を設定します。	137
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 【リセット】：出荷時の調整値に戻ります。 【キャリブレーション】：現在のカメラの状態位置を0点とします。	—
タッチパネル設定	モニターに触れてカメラを操作することができます。【Off】にするとタッチパネルの操作を禁止します。	—
Eye-Fi 設定*	Eye-Fiカードを使用するときに通信を行うかどうかを設定します。Eye-Fiカードを装填しているときに表示されます。	—

* Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、【Eye-Fi 設定】を【Off】にしてください。Eye-Fiカードのエンドレスモードには対応しておりません。

メニュー項目	説明	134
電動ズーム速度	電動ズームレンズをズームリングで操作するときのズーム速度を変更できます。	134
自分撮りアシスト	[On]にするとモニターを自分撮り位置にセットしたときに、モニターに自分撮りメニューが表示されます。	114
低消費電力撮影	[On]にすると、ライブビューを使わずに撮影しているとき、すぐに省電力状態になり、カメラの電力消費を抑えて撮影できます。 シャッターボタンを操作すると、省電力状態から復帰します。 [リリースタイムラグ]が[ショート]のときは設定できません。	—

AEL/AFLモード

MENU → ⚙ → 📷 → [AEL/AFLモード]

AEL/AFL機能を割り当てたボタンを押してオートフォーカスや測光を行うことができます。それぞれのフォーカスモードごとにmodeを選択します。



AEL/AFL機能分担一覧

モード		シャッターボタンの役割				AEL/AFLボタンの役割	
		半押しするとき		全押しするとき		押ししている間	
		ピント	露出	ピント	露出	ピント	露出
S-AF	mode1	S-AF動作	固定	—	—	—	固定
	mode2	S-AF動作	—	—	固定	—	固定
	mode3	—	固定	—	—	S-AF動作	—
C-AF	mode1	C-AF開始	固定	固定	—	—	固定
	mode2	C-AF開始	—	固定	固定	—	固定
	mode3	—	固定	固定	—	C-AF開始	—
	mode4	—	—	固定	固定	C-AF開始	—
MF	mode1	—	固定	—	—	—	固定
	mode2	—	—	—	固定	—	固定
	mode3	—	固定	—	—	S-AF動作	—

MFアシスト

MENU → → → [MFアシスト]

MFでのピント合わせを補助する機能です。フォーカスリングを回すと、被写体の輪郭を強調したり画面の一部を拡大したりして表示します。フォーカスリングの操作をやめると、もとの表示に戻ります。

拡大	画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめAFターゲットで決めることができます。🔍 [AFターゲット選択] (P.46)
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。🔍 [ピーキング表示] (P.101)

メモ

- [ピーキング]は、ボタン操作で表示することもできます。ボタンを押すたびに表示を切り換えることができます。あらかじめ[ボタン機能] (P.64)でいずれかのボタンに機能を割り当てておきます。
- ピーキング表示中は、**INFO**ボタンを押して、色や強度を変更することができます。

注意

- ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。

🔍レバー機能

MENU → → → [🔍レバー機能]

レバーの位置によってダイヤルやボタンの機能を切り換えることができます。

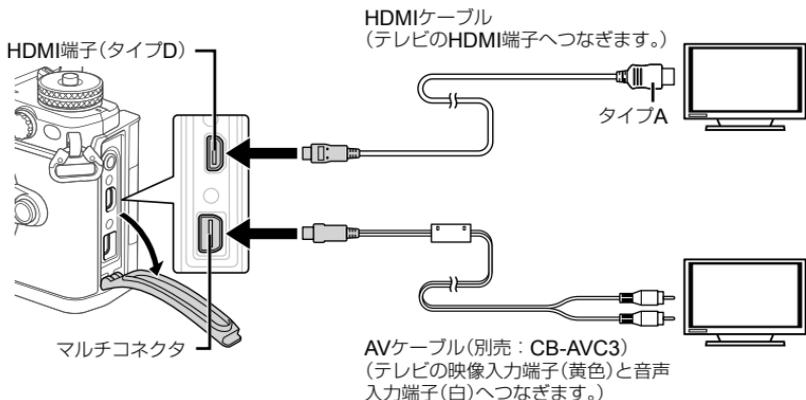
レバー位置とダイヤル/ボタン機能分担一覧

モード	レバー位置が1のとき	レバー位置が2のとき
Off	レバー機能を使用しません。	レバー機能を使用しません。
mode1	ダイヤルの機能は[ダイヤル機能]設定に従います。	フロントダイヤル：ISO リアダイヤル：ホワイトバランス
mode2	ダイヤルの機能は[ダイヤル機能]設定に従います。	フロントダイヤル：ホワイトバランス リアダイヤル：ISO
mode3	🔍ボタン、Fn2ボタンの機能は[🔍ボタン機能]、[Fn2ボタン機能]に従います。	🔍ボタン：ISO Fn2ボタン：ホワイトバランス
mode4	🔍ボタン、Fn2ボタンの機能は[🔍ボタン機能]、[Fn2ボタン機能]に従います。	🔍ボタン：ホワイトバランス Fn2ボタン：ISO
mode5	それぞれのレバー位置で設定したAF方式で動作します。レバー位置が2のときの初期設定は[MF]です。	
mode6	撮影モードは[ダイヤル機能]設定に従います。	撮影モードをムービーモード(📹)に切り替えます。

カメラの画像をテレビで見る

MENU → → → [HDMI]、[ビデオ出力]

別売のケーブルを使ってテレビに接続して画像を再生します。また、撮影でも使用できます。HDMIケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで観ることができます。AVケーブルで接続する場合は、あらかじめカメラの【ビデオ出力】(P.100)を設定してください。



1 テレビとカメラを接続してテレビの入力を切り換えます。

- HDMIケーブルを接続すると、テレビとカメラのモニターの両方に画像が表示されます。テレビの画面にだけ情報表示され、撮影画面では、**INFO**ボタンを長押しすると非表示にできます。
- AVケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。
- AVケーブルで接続した場合、ボタンを押してください。

注意

- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- AVケーブルとHDMIケーブルの両方がカメラとテレビに接続されている場合は、HDMIが優先されます。
- HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

1080p優先	1080pを優先してHDMI出力します。
720p優先	720pを優先してHDMI出力します。
480p/576p	480p/576p形式でHDMI出力します。【ビデオ出力】(P.100)が【PAL】設定時は576pで再生します。

- 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- パソコンやプリンタとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。
- モードで情報表示が非表示のときは、テレビ側が対応していないフレームレートではテレビに画面を表示できません。

テレビのリモコンを使う

HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続したとき、テレビのリモコンで操作することができます。📺 [HDMI] (P.100)
カメラのモニター表示は消灯します。

メモ

- テレビに表示された操作ガイドにしたがって操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては使用できない機能があります。

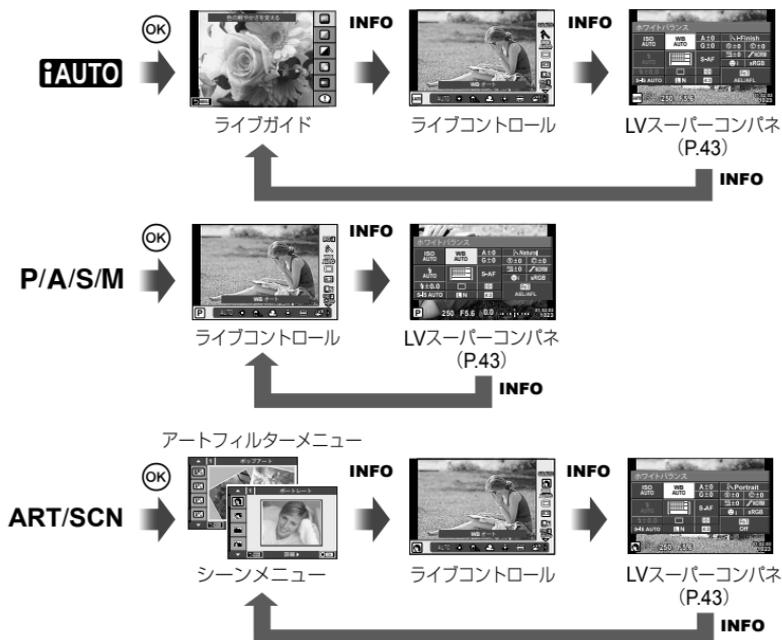
操作画面の表示を選ぶ(📷Control表示)

MENU → ⚙️ → 📷 → [📷Control表示]

撮影モードで機能を設定する各操作画面の表示、非表示を設定します。
各撮影モードで、表示したい操作画面にⓄボタンを押してチェックを入れます。

操作画面の表示のしかた

- Ⓞボタンを押して操作画面を表示した状態で、**INFO**ボタンを押すと表示が切り換わります。



情報表示の画面を追加する

MENU → → → /Info表示設定]

LV-Info (撮影情報表示)

[LV-Info]で以下の撮影情報表示画面を追加できます。追加した画面は、撮影時に**INFO**ボタンを繰り返し押すと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。



ハイライト&シャドウ表示

ハイライト&シャドウ表示

画像の明るさの上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青で表示します。 [ヒストグラム警告設定] (P.100)

Info (再生情報表示)

[Info]で以下の再生情報表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時に**INFO**ボタンを繰り返し押すと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。



ヒストグラム表示



ハイライト&シャドウ表示



ライトボックス表示

ライトボックス表示

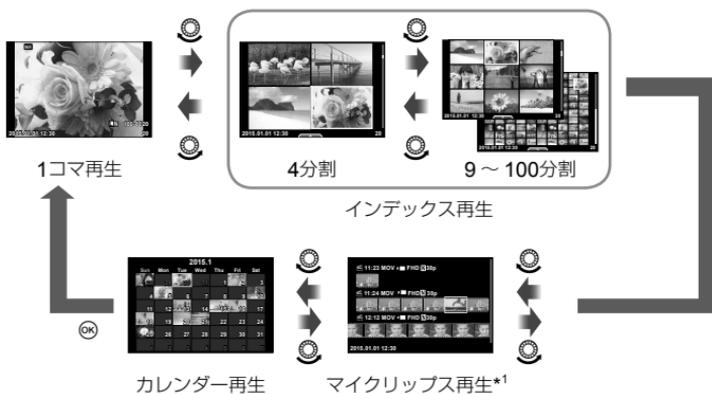
2枚の画像を並べて表示して比較できます。 ボタンを押すと、左右の画像を切り換えることができます。

- 右の画面で基準にする画像を選びます。 で画像を選んで ボタンを押すと、その画像が左の画面に移動します。左の画面の画像と比較する画像を右の画面で選びます。基準とする画像を変えるときは、右の画面で選んで ボタンを押します。
- Fn1** ボタンを押すとそれぞれの画面を拡大して表示できます。リアダイヤルを回すと拡大倍率を変更できます。拡大中は、 で拡大範囲をスクロール、フロントダイヤルで画像の選択ができます。



表示(インデックス/カレンダー表示)

【表示】で、異なった分割数のインデックス表示画面と、カレンダー表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時にリアダイヤルを回すと表示されます。



*1 作成されたマイクリップスがある場合に表示されます(P.40)。

フラッシュ自動発光時のシャッター速度

MENU → → → [⚡同調速度] [⚡低速制限]

フラッシュが発光するときのシャッター速度の条件を設定できます。

撮影モード	フラッシュ発光秒時(同調秒時)	上限	下限
P	1/ (レンズの焦点距離×2)または	[⚡同調速度] 設定*	[⚡低速制限] 設定
A	[⚡同調速度]設定のいずれか低い秒時		制限無し
S	シャッター速度設定による		
M			

* 別売の専用フラッシュは1/250秒

JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ

MENU → → → [画質設定]

画像サイズと圧縮率を組み合わせ、JPEGの画質モードを設定できます。

画像サイズ		圧縮率				用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	B (Basic)	
 (Large)	4608×3456*	 SF	 F*	 N*	 B	プリントサイズに合わせて選択
 (Middle)	3200×2400*	 SF	 F	 N*	 B	
	2560×1920					
	1920×1440					
 (Small)	1600×1200	 SF	 F	 N*	 B	小さいプリントやホームページ用
	1280×960*					
	1024×768					
	640×480					

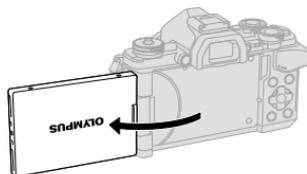
* 初期設定

自分撮りアシストメニューを使って自分を撮る

MENU → → → [自分撮りアシスト]

モニターを自分撮りの位置にしたときに便利なタッチ操作メニューをモニターに表示できます。

- 1  カスタムメニュー  [自分撮りアシスト] を [On] にします。
- 2 モニターを反転させます。



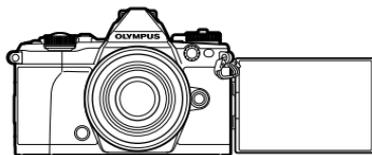
自分撮りメニュー

- ・ モニターに自分撮りメニューが表示されます。

 Off	ワンタッチ ePORTRAIT	ONにすると、なめらかな肌に補正します。 iオートモード (iAUTO) 時のみ有効です。
	タッチシャッター	アイコンをタッチすると、約1秒後にシャッターが切れます。
 Off	ワンタッチカスタム セルフ	セルフタイマーで3コマ撮影します。シャッターが切れる枚数や間隔などはカスタムセルフタイマーで設定できます。(P.56)

3 カメラを構えて構図を決めます。

- レンズに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



4 をタッチして撮影します。

- 撮影された画像がモニターに表示されます。
- モニターに映った被写体をタッチしても、シャッターボタンを押しても撮影できます。

ファインダー内表示のスタイルを選ぶ

MENU →  →  → [内蔵EVF表示スタイル]

スタイル1/2：シャッター速度や絞り値など主要な表示のみ

スタイル3：モニター表示と同じ表示



スタイル1 / スタイル2



スタイル3

5 スマートフォンと接続する

本機の無線LAN機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使用することで、撮影や撮影後の楽しみが一層広がります。

専用アプリOLYMPUS Image Share (OI.Share)を使ってできること

- カメラの写真をスマートフォンへ転送
カメラ内の画像をスマートフォンに取り込むことができます。
- スマートフォンからリモート撮影
スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。
- 写真をステキに加工
スマートフォンに取り込んだ画像にアートフィルターを適用したり、スタンプを追加できます。
- カメラの画像にGPSタグを追加
スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送するだけで、撮影した画像にGPSタグを追加することができます。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://oishare.olympus-imaging.com/>

注意

- 無線LAN機能を使用する前に「無線LAN機能について」(P.162)をよくお読みください。
- 本機を購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。
- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本機の無線LAN機能を使って、自宅や公衆のアクセスポイントに接続することはできません。
- 送信用アンテナは、カメラグリップ部にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中에서도通信が途切れる場合があります。
- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。

スマートフォンに接続する

スマートフォンと接続します。スマートフォンにインストールした専用アプリ“Ol.Share”を起動しておきます。

1 再生メニューで[スマートフォン接続]を選択して \odot ボタンを押します。

- ・モニター画面の**Wi-Fi**にタッチしても接続できます。

2 モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi接続準備を進めます。

- ・モニターにSSIDとパスワードとQRコードが表示されます。



3 モニターに表示されたQRコードをOl.Shareを起動したスマートフォンで読み取ります。

- ・自動的に接続されます。
- ・QRコードを読み取れない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定で、SSIDとパスワードを設定して接続します。スマートフォンのWi-Fi設定については、スマートフォンの取扱説明書をお読みください。

4 接続を終了するには、カメラの**MENU**ボタンを押すか、モニター画面の[Wi-Fi切断]にタッチします。

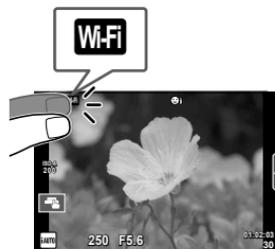
- ・Ol.Shareで接続を終了、カメラの電源オフをすることもできます。
- ・接続を終了します。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。📷 「画像に転送予約をつける([シェア予約])」(P.80)

1 カメラとスマートフォンを接続します。 (P.117)

- ・ モニター画面の **Wi-Fi** にタッチしても接続できます。



2 OI.Shareを起動して、写真転送ボタンをタップします。

- ・ カメラ内の画像が一覧で表示されます。

3 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップします。

- ・ 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。

スマートフォンからリモート撮影する

カメラをスマートフォンから操作してリモート撮影ができます。

[プライベート接続]でのみ使用できます。

1 カメラの[スマートフォン接続]を開始します。

- ・ モニター画面の **Wi-Fi** にタッチしても接続できます。

2 OI.Shareを起動して、リモコンボタンをタップします。

3 シャッターボタンをタップして撮影します。

- ・ 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

注意

- ・ 使用できる撮影機能に一部制限があります。

画像に位置情報をつける

スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送することで、GPSログを記録していた間に撮影した写真にGPSタグを追加できます。

[プライベート接続]でのみ使用できます。

1 撮影を始める前にOI.Shareを起動して位置情報付与ボタン上のスイッチをオンにして、GPSログの記録を開始します。

- GPSログ記録開始前に、時刻を同期するためにカメラを一度OI.Shareに接続しておく必要があります。
- GPSログ記録中は、電話や他のアプリの使用はできませんが、OI.Shareは終了させないでください。

2 撮影が終わったら、位置情報付与ボタン上のスイッチをオフにしてください。GPSログの記録が終了します。

3 カメラの[スマートフォン接続]を開始します。

- モニター画面のWiFiにタッチしても接続できます。

4 OI.Shareで記録したGPSログをカメラに転送します。

- 転送したGPSログを元にカード内の画像にGPSタグをつけます。
- 位置情報が付与された画像には、📍が表示されます。

注意

- 位置情報付与機能はGPS機能をもったスマートフォンでのみ使用できます。
- ムービーには位置情報は付与されません。

接続方法を変更する

スマートフォンと接続する方法には、いつも同じ設定で接続する【プライベート接続】と接続のたびに異なる設定で接続する【ワнтаイム接続】があります。ご自分のスマートフォンと接続する時には【プライベート接続】、ご友人などのスマートフォンに画像を転送するときには【ワнтаイム接続】での接続が便利です。

初期設定では【プライベート接続】になっています。

- 1 1 セットアップメニューで【Wi-Fi設定】を選択してⓄボタンを押します。
- 2 【Wi-Fi接続設定】を選択して▷ボタンを押します。
- 3 無線LAN接続の方法を選択してⓄボタンを押します。

- 【プライベート接続】：1台のスマートフォンと接続する(初回の接続設定以降は自動的に接続します)。Ol.Shareのすべての機能が使えます。
- 【ワнтаイム接続】：複数台のスマートフォンと接続する(毎回異なった接続設定で接続します)。Ol.Shareの写真転送機能のみ使えます。カメラでシェア予約された画像のみ閲覧できます。
- 【毎回確認】：毎回どちらの方法で接続するかを選択します。
- 【Off】：Wi-Fi機能を使用しません。

パスワードを変更する

【プライベート接続】で使うパスワードを変更します。

- 1 1 セットアップメニューで【Wi-Fi設定】を選択してⓄボタンを押します。
- 2 【プライベート接続パスワード設定】を選択して▷ボタンを押します。
- 3 操作ガイドに従ってⓄボタンを押します。
 - 新しいパスワードに設定されます。

シェア予約を解除する

画像に設定されているシェア予約を解除します。

- 1 設定アップメニューで**[Wi-Fi設定]**を選択して $\text{\textcircled{OK}}$ ボタンを押します。
- 2 **[全シェア予約解除]**を選択して▷ボタンを押します。
- 3 **[実行]**を選択して $\text{\textcircled{OK}}$ ボタンを押します。

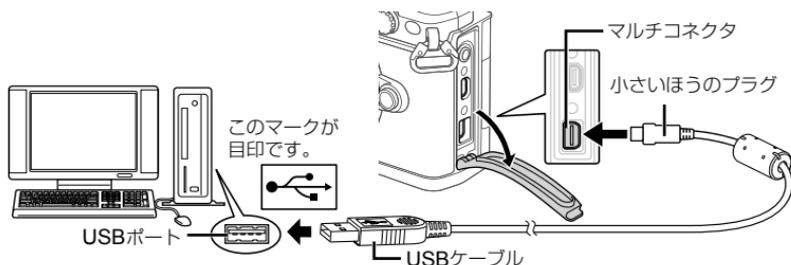
無線LAN設定を初期化する

[Wi-Fi接続設定]の設定内容を初期化します。

- 1 設定アップメニューで**[Wi-Fi設定]**を選択して $\text{\textcircled{OK}}$ ボタンを押します。
- 2 **[Wi-Fi設定リセット]**を選択して▷ボタンを押します。
- 3 **[実行]**を選択して $\text{\textcircled{OK}}$ ボタンを押します。

6 パソコン・プリンターと接続する

カメラをパソコンに接続する



注意

- カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。
- カメラの電源を入れたら、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.101)を【オート】に設定してください。

パソコンに画像を取り込んで保存する

接続できるパソコンの環境は以下の通りです。

Windows : Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1/
Windows 8/Windows 8.1

Macintosh : Mac OS X v10.5 - v10.9

- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを接続します。
 - USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 2 カメラの電源を入れます。
 - モニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 3 Δ ∇ を押して【ストレージ】を選択します。
Ⓚ ボタンを押します。
- 4 カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。



注意

- Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1 をお使いの場合は、手順3で [MTP] を選択することでWindows フォト ギャラリーが使用できます。
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン/工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン/自作パソコン
- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- パソコンとカメラを接続したときに、手順2の画面が表示されない場合は、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.101)を【オート】に設定してください。

ソフトウェアのインストール

OLYMPUS Viewer 3は、カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集、管理を行うためのアプリケーションソフトウェアです。

- OLYMPUS Viewer 3は、<http://support.olympus-imaging.com/ov3download/>からもダウンロードできます。OLYMPUS Viewer 3のダウンロードには、ご利用製品のシリアルナンバーを入力する必要があります。

■ Windows

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れます。

Windows XPの場合

- 「セットアップ」画面が表示されます。
- Windows XPは、Microsoft社のサポートが終了しております。セキュリティ上問題がある場合がありますので、ご使用にあたっては、自己責任にてご対応ください。



Windows Vista/Windows 7/Windows 8/

Windows 8.1の場合

- 自動起動の画面が表示されますので、「OLYMPUS Setup」をクリックしてください。「セットアップ」画面が表示されます。

注意

- 「セットアップ」画面が表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROM (OLYMPUS Setup) を開いて「LAUNCHER.EXE」をダブルクリックしてください。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

2 カメラをパソコンに接続します。

注意

- カメラと他の機器をUSB接続すると、その機器との接続方法を選ぶ設定画面が表示されます。【ストレージ】に設定してください。

3 ユーザー登録を行います。

- 「ユーザー登録」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがって操作を行ってください。

4 OLYMPUS Viewer 3のインストールを行います。

- ・インストールを行う前に動作環境を確認してください。

動作環境

OS	Windows XP SP3/Windows Vista SP2/ Windows 7 SP1/Windows 8/Windows 8.1
CPU	Pentium4 1.3GHz 以上 (ムービーを扱う場合：Core2Duo 2.13GHz以上)
RAM	1GB 以上(2GB 以上推奨)
HDDの空き容量	3GB 以上
モニター	1024×768 ドット以上、65,536色以上(1,677万色以上推奨)

- ・「OLYMPUS Viewer 3」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがってインストールを行ってください。
- ・ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

Macintosh

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れます。

- ・CD-ROMをMacに挿入すると自動的にFinderでドライブ内が表示されます。自動的に開かなかった場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- ・「Setup」アイコンをダブルクリックすると、「セットアップ」画面が表示されます。



2 OLYMPUS Viewer 3のインストールを行います。

- ・インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- ・「OLYMPUS Viewer 3」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがってインストールを行ってください。



動作環境

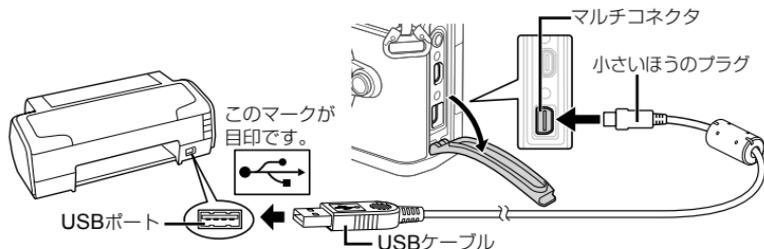
OS	Mac OS X v10.5-v10.9
CPU	Intel Core Solo / Duo 1.5GHz以上 (ムービーを扱う場合：Core2Duo 2GHz以上)
RAM	1GB 以上(2GB 以上推奨)
HDDの空き容量	3GB 以上
モニター	1024×768 ドット以上、32,000色以上(1,677万色以上推奨)

- ・言語を変更したい場合は、言語コンボボックスからご使用の言語を選択してください。ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

ダイレクトプリント(PictBridge)

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。

1 カメラとプリンタを付属のUSBケーブルで接続し電源を入れます。



- プリントを始める際は、充電した電池をご使用ください。
- カメラの電源を入れると、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.101)を【オート】に設定してください。

2 ▲▼で【プリント】を選択します。

- 【しばらくお待ちください】と表示された後、プリントモード選択画面が表示されます。
- 数分待ってもプリントモード選択画面が表示されないときは、USBケーブルを抜き、手順1からやりなおしてください。



「カスタムプリントでプリントする」(P.126)へ進む

注意

- 3D画像、RAWデータ、およびムービーはプリントできません。

かんたんプリントでプリントする

この方法でプリントするときは、プリントしたい画像をカメラに表示してから、USBケーブルでプリンタを接続します。

1 <D>を押して、プリントする画像をカメラに表示します。

2 >D>を押します。

- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは<D>を押して画像を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。



カスタムプリントでプリントする

1 カメラとプリンタを付属のUSBケーブルで接続し電源を入れます。

- カメラの電源を入れると、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】(P.101)を【オート】に設定してください。

2 操作ガイドにしたがってプリントの各設定をします。

プリントモードを選択する

プリントの種類(プリントモード)を選びます。選択できるプリントモードは、以下の通りです。

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	カードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	カード内の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約された画像がないときは、選択できません。

用紙を設定する

この設定内容は、プリンタの対応によって選択肢が異なります。プリンタの標準設定しか使えない場合は、設定を変更することができません。

サイズ	プリンタで用意されている用紙に合わせます。
フチ	用紙いっぱいにプリントするか、フチをつけてプリントするかを選択します。
分割数	同じ画像を1枚の用紙に何枚プリントするかを選択します。プリントモードで【マルチプリント】を選択すると、この設定項目が表示されます。

プリントする画像を選ぶ

プリントする画像を選びます。選んだ画像を後でまとめてプリント(1枚予約)したり、表示している画像をプリントすることができます。



プリント(OK)	表示している画像をプリントします。【1枚予約】をした画像が1枚でもあると、予約されている画像のみプリントされます。
1枚予約(□)	表示している画像をプリントする予約をします。【1枚予約】をしたら、◀▶で次に予約したい画像を選んでください。
詳細予約(☑)	表示している画像のプリント枚数や情報、プリントするかどうかを設定します。操作については「プリントする情報を設定する」をご覧ください。

プリントする情報を設定する

画像をプリントする際に、日付やファイル名の情報を同時にプリントするかどうかを設定します。【全コマプリント】モードの場合、【オプション設定】を選択すると右の画面が表示されます。

プリント枚数	プリントする枚数を設定します。
日付	画像に記録されている日付情報を同時にプリントします。
ファイル名	画像に記録されているファイル名を同時にプリントします。
トリミング	画像をトリミングしてプリントします。フロントダイヤル(⊙)でトリミングサイズを、△▽◀▶でトリミング位置を指定します。

3 プリントする画像や内容が決まったら、【プリント】を選択し、Ⓚボタンを押します。

- プリントを始めてから途中で停止したいときは、Ⓚボタンを押します。プリントを続行するには、【続行】を選択します。

■ プリントを中止するには

【中止】を選択して、Ⓚボタンを押します。その場合、設定した予約などはすべて失われます。予約した内容を残して、続けて予約や設定をしたいときは、**MENU**ボタンを押します。1つ前の設定に戻ります。

プリント予約(DPOF)

プリントしたい画像や枚数などをあらかじめ指定しておく、その情報がカードに保存されます。プリント予約した画像は、DPOF対応のプリントショップでプリントしたり、DPOF対応プリンタに直接接続してプリントできます。プリント予約にはカードが必要です。

プリント予約する

- 1 画像を再生中に、Ⓚボタンを押して【プリント予約】を選択します。
- 2 【1コマ予約】または【全コマ予約】を選択し、Ⓚボタンを押します。

1コマ予約の場合

◀▶を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽を押してプリントする枚数を設定します。

- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったらⓀボタンを押します。



全コマ予約の場合

【全コマ予約】を選択し、Ⓚボタンを押します。

3 日時の種類を選択し、**OK**ボタンを押します。

無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。



- 複数の画像をプリントする場合、1コマごとに設定を変えることはできません。

4 [予約する]を選択し、**OK**ボタンを押します。

注意

- 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- 3D画像、RAWデータ、およびムービーはプリント予約できません。

6

プリント予約を選択して解除する／すべて解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

1 画像を再生中に、**OK**ボタンを押して[プリント予約]を選択します。

2 [1コマ予約]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- すべてのプリント予約を解除する場合は、**[解除する]**を選択して、**OK**ボタンを押します。そうでない場合は**[解除しない]**を選択して**OK**ボタンを押します。

3 **<D>**を押してプリント予約を解除したいコマを選択します。

- **▽**でプリント枚数を0に設定します。すべて解除したら**OK**ボタンを押します。

4 日時の種類を選択し、**OK**ボタンを押します。

- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。

5 [予約する]を選択し、**OK**ボタンを押します。

7 電池／充電器／カード

電池／充電器についてのご注意

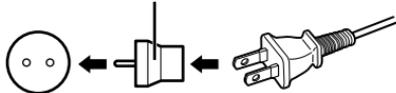
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。当社純正の充電電池以外は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - 【リリースタイムラグ】(P.99)を【ショート】に設定時。
 - パソコンやプリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に付属の充電器で充電を行ってください。
- 付属の充電器による充電電池の充電時間は、通常約4時間(目安)です。
- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。

注意

- 指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「使用上のご注意」(P.163)にしたがって廃棄してください。

海外での使用について

- 充電器は、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V(50/60Hz)でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター(市販)が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター(市販) 変換プラグアダプター(市販) は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。



- 市販の海外旅行用電子式変圧器(トラベルコンバーター)は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

使用できるカード

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード(市販)です。最新情報は当社ホームページをご確認ください。



SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、カードの初期化ができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



注意

- 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、カードの機能を停止してください。🔧【Eye-Fi設定】(P.107)
- Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用すると電池の消耗が早くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなる場合があります。
- クリップ撮影では障害が出る場合があります。このような場合はカードの機能を停止してください。
- SDカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、クリップの撮影や再生など、一部の機能で制限があります。

画質モード／ファイル容量／撮影可能枚数

表内のファイルサイズは、アスペクト比4:3のときのおおよその目安です。

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル 形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能 枚数*
RAW+SIF	7296×5472	非圧縮、1/4	ORF、 JPEG	約117.3	7
SIF			JPEG	約17.8	48
RAW	4608×3456	ロスレス圧縮	ORF	約17.3	41
SIF		1/2.7	JPEG	約10.8	79
LIF		1/4		約7.5	114
LIN		1/8		約3.5	248
LFB		1/12		約2.4	369
M/SF		1/2.7		約5.6	155
MF	3200×2400	1/4	約3.4	257	
MN		1/8	約1.7	508	
MB		1/12	約1.2	753	
M/SF		1/2.7	約3.2	271	
MF	2560×1920	1/4	約2.2	398	
MN		1/8	約1.1	782	
MB		1/12	約0.8	1151	
M/SF		1/2.7	約1.8	476	
MF	1920×1440	1/4	約1.3	701	
MN		1/8	約0.7	1356	
MB		1/12	約0.5	1968	
M/SF		1/2.7	約1.3	678	
MF	1600×1200	1/4	約0.9	984	
MN		1/8	約0.5	1907	
MB		1/12	約0.4	2653	
S/SF		1/2.7	約0.9	1034	
SF	1280×960	1/4	約0.6	1488	
SN		1/8	約0.4	2774	
SB		1/12	約0.3	3814	
S/SF		1/2.7	約0.6	1564	
SF	1024×768	1/4	約0.4	2260	
SN		1/8	約0.3	4068	
SB		1/12	約0.2	5548	
S/SF		1/2.7	約0.3	3589	
SF	640×480	1/4	約0.2	5085	
SN		1/8	約0.2	7628	
SB		1/12	約0.1	10171	

* SDカード1GBの場合

注意

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は9999までです。
- ムービーの録画可能時間については、当社ホームページをご確認ください。

8 交換レンズについて

撮影シーン、目的に合わせてレンズを交換します。M.ZUIKO DIGITAL という商品名、または右のマークのついている「マイクロフォーサーズシステム専用」の交換レンズが使えます。

また、フォーサーズシステムのレンズやOMシステムのレンズを使用することもできます。その場合は別売のアダプターが必要です。



注意

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- ほこりの多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けしないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

8

■ レンズとカメラの組み合わせ

レンズ	カメラ	装着	AF	測光
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	マイクロフォーサーズマウント規格カメラ	可	可	可
フォーサーズマウント規格レンズ		マウントアダプター装着で可	可*1	可
OMシステムレンズ		不可	不可	可*2
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	フォーサーズマウント規格カメラ	不可	不可	不可

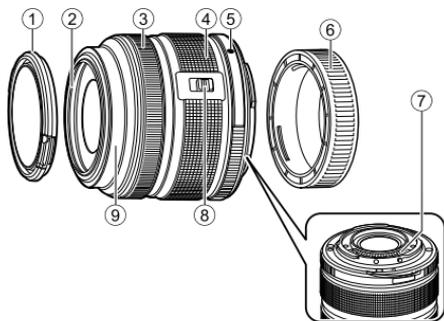
*1 ムービー撮影中のAFは動作しません。

*2 正確な測光はできません。

主なM.ZUIKO DIGITALレンズの仕様

■ 各部の名称

- ① フロントキャップ
- ② フィルター取り付けネジ
- ③ フォーカスリング
- ④ ズームリング(ズームレンズのみ)
- ⑤ 取り付け指標
- ⑥ リアキャップ
- ⑦ 電気回路接点
- ⑧ UNLOCK (アンロック)スイッチ
(沈胴式レンズのみ)
- ⑨ デコレーションリング(一部レンズのみ、
レンズフード取り付け時は外します)



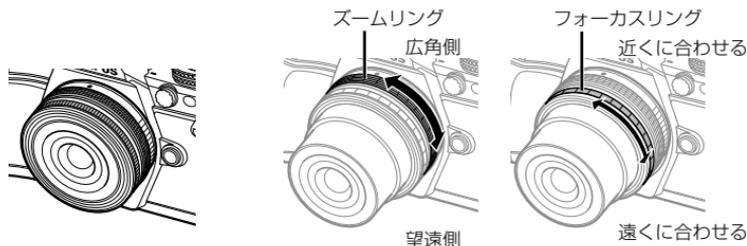
- 収納時には**UNLOCK**スイッチ(⑧)を押しながらズームリングを回します。

■ 電動ズームレンズの操作 (ED14-42mm f3.5-5.6EZ)

カメラの電源を入れると自動的に繰り出されます。

カメラの電源がオフのとき

カメラの電源がオンのとき



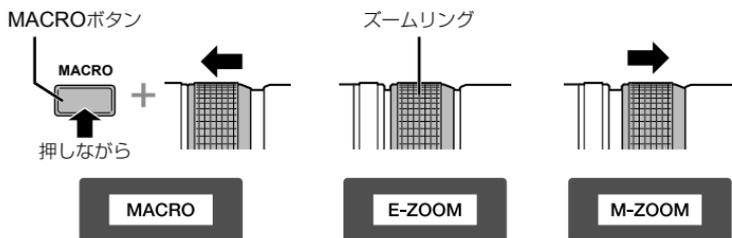
- ズームリングのズームスピードは、カメラのカスタムメニューで高速側または低速側に変更できます。☞【電動ズーム速度】(P.108)
- 別売の自動開閉キャップ(LC-37C)を装着できます。
レンズに取り付けておくと、カメラの電源のオン/オフでキャップが自動的に開閉し、撮影のたびに取り外す必要がありません。フィルターと併用することはできません。

注意

- レンズの取り付け、取り外しはカメラの電源を切ってから行ってください。
- レンズ繰り出し中など、動作しているときにレンズ本体に無理な力をかけないでください。

■ マクロ機能付き電動ズームレンズの操作 (ED12-50mm f3.5-6.3EZ)

ズームリングの位置で以下の動作を変更します。

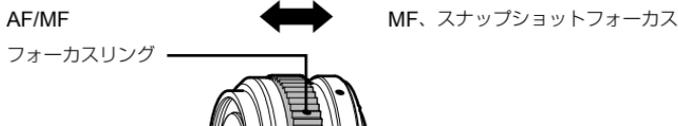


E-ZOOM (電動ズーム)	ズームリングを回すと電動でズーミングします。ズームリングを回す角度でズーミングの速さが変わります。
M-ZOOM (手動ズーム)	ズームリングを回してズーミングします。
MACRO (マクロ撮影)	MACROボタンを押しながらズームリングを前にスライドすると、0.2～0.5mまでのマクロ撮影ができます。ズームは使えません。

- ボタンは、カメラのカスタムメニューで割り当てる機能を決めることができます。

■ MF (マニュアルフォーカス)の操作 (17mmf1.8、ED12mmf2.0 (スナップショットフォーカス)、 ED12-40mmf2.8PRO (MFクラッチフォーカス))

フォーカスリングを矢印の方向にスライドさせて、フォーカス方法を切り替えます。



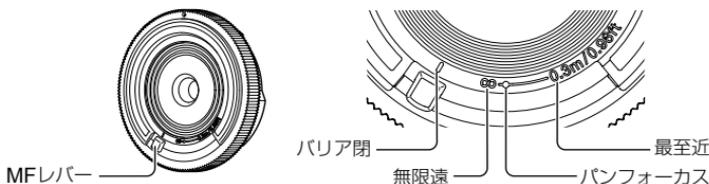
スナップショットフォーカスでは、撮影距離を目安にフォーカスリングで距離を設定します。カメラで設定した絞り値に応じた被写界深度目盛の距離にピントが合います。

- 17mm f1.8、ED12mm f2.0では、F5.6以上に絞り込んだの使用をおすすめします。
- カメラのAF方式にかかわらず、設定した距離で撮影できます。
- レンズ側をMFに設定していると、カメラ側の設定に関わらずマニュアルフォーカスになります。
- 距離目盛は、目安としてお使いください。

■ キャップレンズの操作(BCL-0980 Fisheye、BCL-1580)

MFレバーを操作して、バリアの開閉と無限遠から最至近までの調節をします。

- カメラとレンズの間でデータ通信はしません。
- カメラ側で一部使用できない機能があります。
- カメラの手ぶれ補正(P.26)に必要な焦点距離は、BCL-0980 Fisheyeの場合は9mm、BCL-1580の場合は15mmに設定してください。



■ 主なレンズの仕様

項目	ED14-42mm f3.5-5.6 EZ	ED12-40mm f2.8PRO	ED14-150mm f4.0-5.6 II
マウント	マイクロフォーサーズマウント		
焦点距離	14 ~ 42 mm	12 ~ 40 mm	14 ~ 150 mm
最大口径比	f3.5 ~ 5.6	f2.8	f4.0 ~ 5.6
画角	75° ~ 29°	84.1° ~ 30.3°	75° ~ 8.2°
レンズ構成	7群8枚	9群14枚	11群15枚
絞り制御	f3.5 ~ 22	f2.8 ~ 22	f4.0 ~ 22
撮影距離(焦点距離)	0.2 m ~ ∞ (14 mm) 0.25 m ~ ∞ (42 mm)	0.2 m ~ ∞	0.5 m ~ ∞
ピント調整方式	AF/MF切り換え	AF/MF、 スナップショット フォーカス	AF/MF切り換え
質量(フード、キャップを除く)	93 g	382 g	260 g
大きさ(最大径×長さ)	φ60.8×22.5 mm	φ69.9×84 mm	φ63.5×83 mm
フィルター取り付けネジ径	37 mm	62 mm	58 mm
レンズフード	—	付属*	LH-61C

* ED12-40mmのレンズフードを取り外す際は、レンズフード両側のボタンを押しながら回してください。

項目	25mm f1.8	ED12-50mm f3.5-6.3EZ	BCL-0980 Fisheye
マウント	マイクロフォーサーズマウント		
焦点距離	25 mm	12 ~ 50 mm	9 mm
最大口径比	f1.8	f3.5 ~ 6.3	f8
画角	49.5°	84° ~ 24°	140°
レンズ構成	7群9枚	9群10枚	4群5枚
絞り制御	f1.8 ~ 22	f3.5 ~ 22	f8固定
撮影距離(焦点距離)	0.25 m ~ ∞	0.35 m ~ ∞ 0.2 ~ 0.5 m (マクロ時)	0.2 m ~ ∞
ピント調整方式	AF/MF切り換え		MF
質量(フード、キャップを除く)	137 g	212 g	28 g
大きさ(最大径×長さ)	φ57.8×42 mm	φ57×83 mm	φ56×12.8 mm
フィルター取り付けネジ径	46 mm	52 mm	—
レンズフード	LH-49B	LH-55B	—

注意

- フィルターを2枚以上重ねたり、厚みがある種類を使用したときは、画面にけられが生じることがあります。

9 別売品を使う

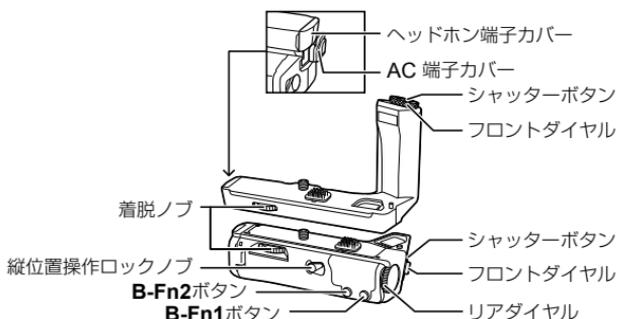
パワーバッテリーホルダー (HLD-8)

カメラ本体の電池と併用してカメラの使用時間を延ばすことができます。ダイヤルやFnボタンは、カメラのカスタムメニューで機能を割り当てて使用できます。HLD-8を経由して別売のACアダプターを使用することができます。

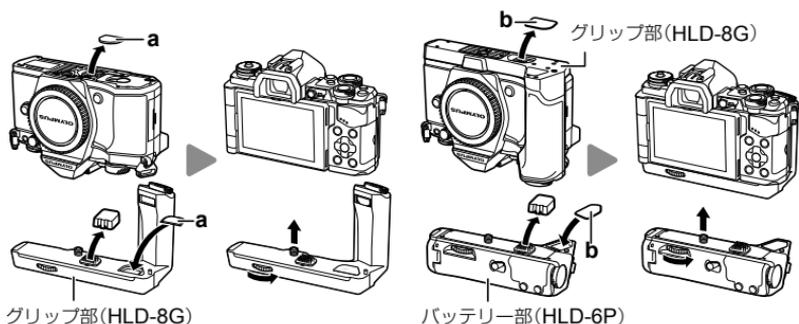
HLD-8のバッテリー部分を分離して、グリップ部分だけを本体に取り付けて使うこともできます。

取り付け、取り外しは、必ずカメラの電源を切ってから行ってください。

■ 各部名称



■ 取り付け

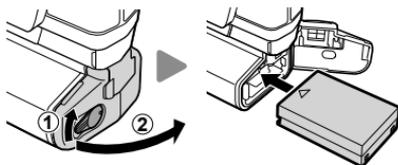


カメラ底面のPBHカバー (a) を外してグリップ部を取り付けます。装着したらグリップ部の着脱ノブをしっかりと閉めてください。グリップ部を取りつけていないときは、必ずPBHカバーをカメラに取り付けてください。

次にグリップ部底面のPBHカバー (b) を外してバッテリー部を取り付けます。取り付け方はグリップ部と同様です。

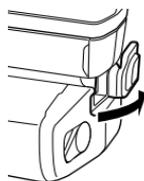
■ 電池を入れる

電池は、BLN-1を使います。電池を入れたら必ず電池カバーをロックしてください。



■ ACアダプターを使う

ACアダプターを使うときは、AC端子カバーを開けてAC端子を差し込みます。

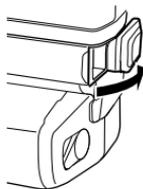


■ ダイヤル、ボタンを使う

HLD-8のダイヤル、B-Fnボタンの機能はカメラ本体の☞カスタムメニューの【ボタン機能】(P.64)、【ダイヤル機能】【外付グリップダイヤル機能】(P.99)で設定します。

■ ヘッドホンを使う

ヘッドホン端子カバーを開けてヘッドホン端子を差し込みます。



9

別売品を使う

■ 主な仕様 (HLD-8)

電源	電池：リチウムイオン電池 BLN-1 1個 AC電源：ACアダプター AC-3
大きさ (幅×高さ×奥行き)	HLD-8G：約126.3 × 73.6 × 59.5 mm HLD-6P：約117.8 × 31.3 × 56.4 mm
質量(電池、端子キャップをのぞく)	HLD-8G：約108 g HLD-6P：約126.2 g
防滴機能 (カメラ装着時)	種類 保護等級1級(IPX1)：JISC0920/IEC60529相当 (当社試験方法による)

注意

- 指定の電池、ACアダプター以外は使用しないでください。けがや機器の故障、爆発の原因になります。
- 着脱ノブは、爪を使って回さないでください。けがをすることがあります。
- ご使用になるカメラの動作保証温度範囲内でご使用ください。
- 本機をほこりや湿気の多い場所で使用、保管しないでください。
- 本機の接点には触らないようにしてください。
- 本体、端子等の汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。ぬれた雑巾やシンナー、ベンジン等の有機溶剤で洗浄しないでください。

専用フラッシュ

別売の専用フラッシュを使用して目的に応じたいろいろなフラッシュ撮影が行えます。カメラとの通信機能があり、TTL-AUTO、スーパー FP発光など多彩な調光モードで、このカメラのフラッシュモードを使うことができます。当社専用フラッシュは、カメラのホットシューに取り付けて使用します。また、ブラケットケーブル(別売)を使用して専用のフラッシュブラケットに取り付けることもできます。専用フラッシュの取扱説明書も合わせてご覧ください。

専用フラッシュの機能比較

専用フラッシュ	調光モード	GN (ガイドナンバー) (ISO100時)	RCモード
FL-600R	TTL-AUTO, AUTO, MANUAL, FP TTL AUTO, FP MANUAL	GN36 (85mm*1時) GN20 (24mm*1時)	○
FL-300R	TTL-AUTO, MANUAL	GN20 (28mm*1時)	○
FL-14	TTL-AUTO, AUTO, MANUAL	GN14 (28mm*1時)	×
RF-11	TTL-AUTO,	GN11	×
TF-22	MANUAL	GN22	×

*1 カバーできるレンズ焦点距離 (35 mmフィルムカメラ換算)

ワイヤレスRCフラッシュ撮影

RCモード機能付き専用フラッシュではワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つのグループのフラッシュと付属のフラッシュを別々に発光制御できます。詳しくは専用フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定して、配置します。

- 専用外部フラッシュの電源を入れMODEボタンを押して、RCモードにします。
- 専用外部フラッシュのチャンネルとグループを設定します。

2 撮影メニュー 2 (P.83)の[RCモード]を[On]にします。

- LVスーパーコンパネがRCモードに切り換わります。
- INFO** ボタンを繰り返し押すと、LVスーパーコンパネの表示を切り換えることができます。
- フラッシュモードを選択します。(RCモードでは赤目軽減発光はできません。)

3 LVスーパーコンパネでグループごとに調光モードなどの設定をします。

グループ

- グループごとに調光モードを選択し、発光量補正します。MANUALでは発光量を選択します。

カメラ側のフラッシュの動作を設定します。



通常発光/スーパーFP発光
• 通常発光とスーパーFP発光を切り換えます。

通信光量レベル
• 通信光量レベルを[HI]、[MID]、[LO]から選択します。

チャンネル
• 通信のためのチャンネルをフラッシュと合わせます。

4 付属のフラッシュをカメラに取り付けて、電源を入れます。

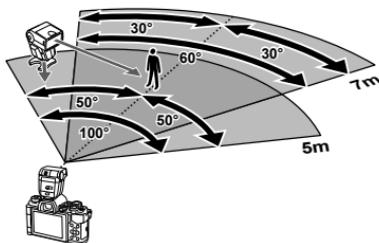
- カメラとフラッシュの充電完了を確認してから確認撮影します。

■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。

注意

- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台を推奨します。
- 4秒を超える後幕シンクロ撮影や低振動モードの場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。(カメラ側フラッシュをディフューザー等で減光すると症状が緩和されます。)



市販のフラッシュについて

ホットシューが外部フラッシュ端子に、シンクロコードを接続して使います。外部フラッシュ端子を使用しないときは必ずキャップを取り付けてください。

市販のフラッシュをカメラのホットシューや外部フラッシュ端子に接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。



- X端子に約250V以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 弊社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。

- 撮影モードを**M**にして、シャッター速度をフラッシュの同調速度以下にして、ISO感度を**[AUTO]**以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラのISO感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は35mmフィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

主なアクセサリーについて

フォーサーズレンズアダプター (MMF-2/MMF-3)

フォーサーズマウント規格レンズを使用するときに使います。レンズによってはAFなどの一部の機能が使えないものもあります。

リモートケーブル (RM-UC1)

マクロ撮影やバルブ撮影時などでシャッターボタン押下げによるカメラの振動を避けたいときに使います。カメラのマルチコネクタ(P.8)に接続して使用します。

コンバーターレンズ

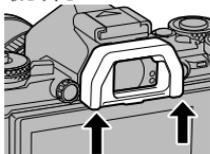
レンズに取り付けることで、手軽に魚眼撮影やマクロ撮影ができます。組み合わせ可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

- **SCN**のコンバーターレンズ用のモード(☑、☑、☑)を併用してください。

アイカップ(EP-16)

大型のアイカップに交換することができます。

取り外し



システムチャート

電源



BLN-1
リチウムイオン電池



BCN-1
リチウムイオン充電器



HLD-8
パワーバッテリー
ホルダー



AC-3
ACアダプター

リモコン/リリース

RM-UC1
リモートケーブル



接続ケーブル

USBケーブル/
AVケーブル/
HDMIケーブル

ケース/ストラップ

ショルダーストラップ
カメラケース

水中システム

防水プロテクタ

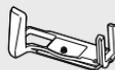
メモリーカード³

SD/SDHC/
SDXC/Eye-Fi

ソフトウェア

OLYMPUS Viewer 3
画像管理・編集ソフトウェア

グリップ



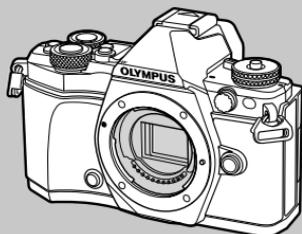
ECG-2
グリップ

ファインダー



EP-16
アイカップ

E-M5 Mark II



フラッシュ



FL-14
エレクトロニック
フラッシュ



FL-600R
エレクトロニック
フラッシュ



FL-300R
エレクトロニックフラッシュ

※1 アダプターと組み合わせて使用できるレンズには制限があります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。なお、OMシステムレンズの製造は終了となっております。

※2 取り付け可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

□ : E-M5 II対応製品

■ : 市販製品

最新情報は当社ホームページをご確認ください。

レンズ



M.ZUIKO DIGITAL ED 12mm f2.0
M.ZUIKO DIGITAL 17mm f1.8
M.ZUIKO DIGITAL 17mm f2.8
M.ZUIKO DIGITAL 25mm f1.8
M.ZUIKO DIGITAL 45mm f1.8
M.ZUIKO DIGITAL ED 60mm f2.8 Macro
M.ZUIKO DIGITAL ED 75mm f1.8
M.ZUIKO DIGITAL ED 9-18mm f4.0-5.6
M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm f2.8 PRO
M.ZUIKO DIGITAL ED 12-50mm f3.5-6.3 EZ
M.ZUIKO DIGITAL ED14-42mm f3.5-5.6 EZ
M.ZUIKO DIGITAL 14-42mm f3.5-5.6 II R
M.ZUIKO DIGITAL ED14-150mmf4.0-5.6 II
M.ZUIKO DIGITAL ED 40-150mm f4.0-5.6 R
M.ZUIKO DIGITAL ED40-150mmf2.8 PRO
M.ZUIKO DIGITAL 75-300mm f4.8-6.7 II
テレコンバーター MC-14^{※4}

コンバーター レンズ^{※2}

FCON-P01
フィッシュアイ

WCON-P01
ワイド

MCON-P01
マクロ

MCON-P02
マクロ



MMF-2/MMF-3^{※1}
フォーサーズアダプター


フォーサーズシステム
レンズ群



MF-2^{※1}
OMアダプター 2

OMシステムレンズ群

SRF-11 リングフラッシュセット



RF-11^{※2}
リングフラッシュ

STF-22 ツインフラッシュセット



TF-22^{※2}
ツインフラッシュ

FC-1 マクロフラッシュコントローラー

9

別売品を使う

※3 Eye-Fiカードは、使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。

※4 ED40-150mmf2.8 PRO専用

こんなときは？

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

- 充電器で電池を充電してください。

低温下であり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラが自動的に電源オフになっていた

- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。🔋【スリープ時間】(P.101)
さらに一定時間(4時間)が経過するとカメラの電源が切れます。

フラッシュが充電中である

- モニターの⚡マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待つからシャッターボタンを押してください。

ピント合わせができなかった

- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません。(モニターの合焦マークが点滅します。)被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

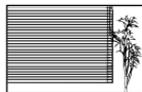
合焦マーク点滅
このようなものにはピントが合いません。



コントラストがはっきりしない被写体



画面中央に極端に明るいものがある場合



縦線のない被写体

合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。



遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの



被写体がAFターゲット内にない

長秒時ノイズ低減が作動している

- 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。【長秒時ノイズ低減】は【Off】に設定することもできます。
☞ 【長秒時ノイズ低減】(P.102)

AFターゲットの数が少なくなった

【デジタルテレコン】、【アスペクト比設定】、グループターゲットの設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。☞ 「日時を設定する」(P.16)

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります(当社試験条件による)。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

設定した機能が元に戻ってしまう

P/A/S/M以外の撮影モードでは、モードダイヤルを回したり電源を切ると設定した機能が初期設定に戻ります。

撮影した画像が全体的に白っぽい

逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。レンズフードを使って光源から直接レンズに光があたらないようにします。レンズフードでも効果がない場合は手などをかざして光を遮ってみましょう。☞ 「交換レンズについて」(P.132)

被写体がない明るい点が写り込む

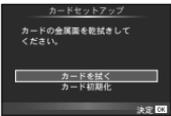
撮像素子のドット抜けの可能性がありますが、【ピクセルマッピング】を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。☞ 「画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング」(P.149)

メニューで選べない機能がある

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合
- 設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合
☞ 【Fn】と【長秒時ノイズ低減】の組み合わせなど

エラーコード

モニター表示	原因	対処方法
 カードを認識できません	カードが入っていません。または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 このカードは使用できません	カードに問題があります。	もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。(P.130)
 撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。
 カード残量がありません	カードに十分な空き容量がありません。	大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
	カードが読み込んでいません。またはカードが初期化されていません。	<ul style="list-style-type: none"> • 【カードを拭く】を選択し、 ボタンを押してカメラの電源を切ります。カードを抜いて乾いた柔らかい布で金属面を乾拭きしてください。 • 【カード初期化】 ▶ 【実行】の順に選択し、 ボタンを押して初期化します。初期化すると、カード内のデータはすべて消去されます。
 画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。
 この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。

モニター表示	原因	対処方法
 °C/°F		カメラの電源を切り、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がる までお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。	しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。
 電池残量がありません	電池残量がありません。	充電してください。
 接続されていません	カメラがパソコンやプリンタ、HDMI機器に正しく接続されていません。	正しく接続しなおしてください。
 用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
 インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
 紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。	プリントの設定中にはプリンタの操作はしないでください。
 プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから電源を入れなおしてください。
 この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。
ズームリングを回し繰り返してください。	沈胴式レンズの、レンズが沈胴したままになっています。	レンズを繰り返して出してください。(P.13)
レンズの状態を確認してください。	レンズとの間でエラーが発生しています。	カメラの電源を切り、レンズとの接続状態を確認してから電源を入れなおしてください。

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源を切り、電池を取り外します。

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- 市販のレンズブローアードでほこりを吹き払います。レンズはレンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カメラの保管

- 長期間、カメラを使用しないときは、電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- ボディキャップ、リアキャップはゴミやほこりを落としてから装着してください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。また、必ず前後のレンズキャップを取り付けて保管してください。
- 使用後は清掃して保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。

撮像素子のクリーニングとチェック

このカメラは撮像素子にゴミが付着しない構造にするとともに、撮像素子前面に付着したゴミやほこりを超音波振動により、払い落とす機能を備えています(ダストリダクション機能)。ダストリダクション機能は、カメラの電源を入れたときに働きます。また撮像素子と画像処理回路のチェックを行うピクセルマッピングを働かせる際にも同時に作動します。カメラの電源を入れるときはダストリダクションが働きますので、カメラをできるだけ正位置にしてください。

注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確認してください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

- 1 ❶カスタムメニュー(P.107)の❷タブで[ピクセルマッピング]を選択します。
- 2 ▷を押して、Ⓚボタンを押します。
 - ピクセルマッピング実行中の[処理中]バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。

注意

- 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り7年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、または当社サービスステーションにお問い合わせください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

メニュー一覧

*1: [マイセット]が登録可能な機能

*3: [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

*2: [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能

📷 撮影メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
📷	カードセットアップ	—				83	
	リセット/マイセット	—		✓		84	
	ピクチャーモード	👁️ Natural	✓	✓	✓	68	
	画質モード	静止画	📷 N	✓	✓	✓	59
		ムービー	MOV 📷 FHD 📷 60p	✓	✓	✓	60
	アスペクト比設定	4:3	✓	✓	✓	58	
	デジタルテレコン	Off	✓	✓	✓	86	
	📷/📷/📷		—	✓	✓	✓	86
		📷/📷	☐	✓	✓	✓	
		インターバル撮影設定	Off				
		コマ数	99				
		撮影開始待ち時間	00:00:01		✓	✓	
	撮影間隔	00:00:01				87	
	タイムラプス動画	Off					
📷 ₂	ブラケット撮影	Off				88	
	AE BKT	3f 1.0EV				89	
	WB BKT	A-B	—	✓	✓		✓
		G-M	—				
	FL BKT	—					
	ISO BKT	—					
	ART BKT	—				90	
	HDR撮影	Off	✓	✓	✓	51	
	多重露出撮影	コマ数	Off				91
		自動ゲイン補正	Off		✓	✓	
再生画+多重		Off					
デジタルシフト撮影	Off	✓	✓	✓	92		
低振動[📷]/静音[📷]撮影	低振動[📷]撮影	On (0秒)				57	
	静音[📷]撮影	On (0秒)	✓	✓			
	静音[📷]長秒時ノイズ低減	Off					
ハイレゾショット	ハイレゾショット	On (0秒)				58	
	📷充電待ち時間	0秒	✓	✓			
📷RCモード撮影	Off		✓	✓	✓	139	

▶ 再生メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
▶	スライドショー	スタート	—				78	
		BGM	Joy		✓	✓		
		スライド	すべて		✓	✓		
		1コマ再生時間	3秒		✓			
		ムービー再生	ショート		✓			
	回転再生			On		✓	✓	94
	編集	画像選択	RAW編集	—				94
			JPEG編集	—				95
			録音	—				96
		画像合成	—				96	
プリント予約			—				127	
全プロテクト解除			—				96	
スマートフォン接続			—				117	

⌘ セットアップメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
⌘	日時設定		—				16	
	🗨️		日本語				97	
	モニタ調整		📏 ±0、🌞 ±0、Natural		✓		97	
	撮影確認		0.5秒		✓	✓	97	
	Wi-Fi設定	Wi-Fi接続設定	プライベート接続			✓		120
		プライベート接続パスワード設定	—					
		全シェア予約解除	—					
		Wi-Fi設定リセット	—					
	🌐メニュー表示		Off			✓		97
	バージョン		—					97

🌟 カスタムメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
🌟	📷	AF/MF						
		AF方式	静止画	S-AF		✓	✓	✓
			ムービー	C-AF				
		フルタイムAF		Off		✓	✓	✓
		AEL/AFLモード	S-AF	mode1				
			C-AF	mode2		✓	✓	✓
			MF	mode1				
		レンズリセット		On			✓	✓
		BULB/TIME中MF		On			✓	✓
		フォーカスリング		👉		✓	✓	✓

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
AF/MF	MFアシスト	拡大	Off	✓	✓		98
		ピーキング	Off	✓	✓		
	[••] Home登録				✓	✓	
	AFイルミネータ		On	✓	✓	✓	
	◎顔優先			✓	✓		
	AFターゲット表示		On		✓	✓	
	ボタン/ダイヤルレバー						
ボタン機能	Fn1 ボタン機能	AEL/AFL					64
	Fn2 ボタン機能	マルチFn					
	Fn3 ボタン機能	O					
	Fn4 ボタン機能	HDR撮影					
	◎ボタン機能	◎REC					
	◎ボタン機能			✓	✓		
	▷ボタン機能	⚡*					
	▽ボタン機能	/◎*					
	ボタン機能	[••]					
	Bfn1 ボタン機能	AEL/AFL					
Bfn2 ボタン機能	[••]						
Lfn ボタン機能	AF停止						
ダイヤル機能	P	プログラムシフト/露出補正					99
	A	絞り/露出補正					
	S	シャッター速度/露出補正					
	M	シャッター速度/絞り		✓	✓		
	Menu	△▽ / ◀▶					
		インデックス、拡大/コマ送り、戻し					
ダイヤル方向	露出設定	ダイヤル1		✓	✓		
	Ps設定	ダイヤル1					
モードダイヤル機能	Off			✓			
◎レバー機能	mode1			✓			
外付グリップダイヤル機能	VOL			✓			

* [ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定した場合

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
		レリーズ/連写					99	
		レリーズ優先S	Off	✓	✓	✓		
		レリーズ優先C	On	✓	✓	✓		
		L設定	5fps	✓	✓	✓		
		H設定	10fps	✓	✓	✓		
		L設定	5 fps	✓	✓	✓		
		H設定	11 fps	✓	✓	✓		
		手ぶれ補正	静止画 ムービー	S-I.S. オート M-IS1	✓	✓		✓
		連写中手ぶれ補正	Off			✓		
		半押し中手ぶれ補正	On			✓		
		レンズ手ぶれ補正優先	Off		✓	✓		✓
		レリーズタイムラグ	標準			✓		
		表示/音/接続					100	
		HDMI	HDMI出力	1080p優先		✓		
			HDMIコントロール	Off				✓
		ビデオ出力		NTSC				
		Control 表示	iAUTO	ライブガイド	✓	✓		
			P/A/S/M	LVスーパーコンパネ	✓	✓		
			ART	ARTメニュー	✓	✓		
			SCN	SCNメニュー	✓	✓		
		/Info表示 設定	INFO	表示Off、総合表示	✓	✓		✓
			LV-Info	表示Off、カスタム1（ヒストグラム表示）、カスタム2（水準器表示）	✓	✓		
			表示	25コマ、カレンダー、クリップスビュー	✓	✓		
		表示罫線選択		Off	✓	✓		
		ピクチャーモード表示		すべてOn	✓	✓		
		ヒストグラム 警告設定	ハイライト表示	255				
			シャドウ表示	0		✓		
		モードガイド表示		On		✓		
		LVブースト	M	On1				
			BULB/TIME	On2				
			COMP	Off	✓	✓		✓
			その他	Off				
		フレームレート		標準	✓	✓		✓
		アートLVモード		mode1		✓		
LVダイナミックレンジ拡大		On		✓				
フリッカー低減		オート		✓				
LV拡大モード		mode2		✓				
ロック		Off	✓	✓				
						101		

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
	表示/音/接続						
	ピーキング表示	ピーキング色	白				101
		ピーキングレベル	標準	✓	✓		
		ピーキング背景の輝度調整	On				
	バックライト時間		Hold	✓	✓	✓	
	スリープ時間		1分	✓	✓	✓	
	自動電源Off		4時間		✓	✓	
	電子音		On	✓	✓	✓	
	USB接続モード		オート		✓	✓	
	マルチFn表示設定		カラークリエーター、拡大、アスペクト	✓	✓		
メニューカーソル保持		mode1		✓			
	露出/測光/ISO						
	露出ステップ		1/3EV	✓	✓	✓	102
	長秒時ノイズ低減		オート	✓	✓	✓	
	高感度ノイズ低減		標準	✓	✓	✓	
	ISO感度		オート	✓	✓	✓	
	ISO感度ステップ		1/3EV	✓	✓	✓	
	ISOオート設定		上限値：1600 基準値：200	✓	✓	✓	
	ISOオート有効		P/A/S	✓	✓		
	測光			✓	✓	✓	
	AEL測光モード		オート	✓	✓	✓	
	BULB/TIMEリミッター		8分	✓	✓	✓	
	BULB/TIME輝度設定		-7	✓	✓		
	ライブBULB設定		Off	✓	✓		
ライブTIME設定		0.5秒	✓	✓			
コンポジット撮影設定		1秒	✓	✓			
	フラッシュ						
	同調速度		1/250	✓	✓	✓	103
	低速制限		1/60	✓	✓	✓	
+連動		Off	✓	✓	✓		
	画質/色/WB						
	画質設定		-1 F、-2 N、-3 N、-4 N	✓	✓	✓	103
	ピクセルサイズ	middle	3200 × 2400	✓	✓	✓	
		small	1280 × 960				
	シェーディング補正		Off	✓	✓	✓	
	WBモード		オート A : 0、G : 0	✓	✓	✓	
	全WBモード補正	All Set	—	✓	✓		
		All Clear	—		✓		
	WBオート 電球色残し		On	✓	✓	✓	
	+WB連動		WB AUTO	✓	✓		
カラー設定		sRGB	✓	✓	✓		
						104	

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	
* 🔍	📄 記録/消去						104
	ワンタッチ消去		Off	✓	✓	✓	
	RAW+JPEG消去		RAW+JPEG	✓	✓	✓	
	ファイルネーム		リセット		✓		
	ファイルネーム編集		Off		✓		
	実行優先設定		中止優先		✓	✓	
	dpi設定		350dpi		✓		105
	著作権情報	著作権情報記録	Off		✓		
		撮影者入力	—				
		著作権者入力	—				
📺 動画							
📺	📺モード		P		✓		105
	ムービー録音		On	✓	✓	✓	
	録音レベル調整	内蔵📺	±0		✓		
		MIC📺	±0				
	📺入力リミッター		On		✓		
	風切り音低減		Off		✓		
	📺プラグインパワー		On		✓		
	PCMレコーダー📺接続		Off		✓		
	ヘッドホン音量		8		✓		
	タイムコード設定	タイムコードモード	DF		✓		
		カウントアップ方式	RR (レックラン)		✓		
		タイムコード値設定	—				
	動画Info表示設定		すべてOn		✓		106
	ムービー画質設定		📺1 FHD📺、📺2 FHD📺、📺3 FHD📺、📺4 FHD📺		✓		
動画エフェクト		On		✓			
動画中静止画撮影		mode1		✓			
📺シャッターボタン機能		mode1		✓			
📺 内蔵EVF							
📺	内蔵EVF表示スタイル		スタイル3		✓		107
	📺Info表示設定		基本情報表示、カスタム表示1 (ヒストグラム表示)、カスタム表示2 (水準器表示)	✓	✓		
	📺表示罫線選択		Off	✓	✓	✓	
	内蔵EVF自動切換設定		On		✓		
	EVF調整	EVF自動調光	On		✓		
	📺半押し中水準器表示		On		✓		

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
設定	その他						
	ピクセルマッピング	—					
	露出基準調整		±0	✓	✓		107
							
							
	 警告レベル	±0		✓			
	 使用順序設定	PBH側電池優先	✓	✓			
	水準器調整	—		✓			
	タッチパネル設定	On		✓			
	Eye-Fi 設定	On		✓			
	電動ズーム速度	静止画	標準		✓		
		ムービー	標準		✓		
	自分撮りアシスト	On		✓			
	低消費電力撮影		On		✓		
		バックライト時間	3秒	✓	✓		
スリープ時間		3秒					
						108	

仕様

■ カメラ

型式	
型式	マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ
使用レンズ	M.ZUIKO DIGITAL・マイクロフォーサーズシステムレンズ
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント
35 mmフィルムカメラ 換算焦点距離	レンズ焦点距離の約2倍
撮像素子	
型式	4/3型Live MOSセンサー
総画素数	約1720万画素
カメラ部有効画素数	約1605万画素
画面サイズ	17.3 mm (H) × 13.0 mm (V)
アスペクト比	1.33 (4:3)
ファインダー	
形式	電子ビューファインダー、アイセンサー有り
画素数	約236万ドット
視野率	100%
アイポイント	約21 mm (-1m ⁻¹ 時)
ライブビュー	
センサー	Live MOSセンサー使用
視野率	100%
モニター	
型式	3.0 型TFTカラー液晶、可動式、タッチパネル
総画素数	約104万ドット(アスペクト比 3:2)
シャッター	
型式	電子制御式・フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/8000 ~ 60秒、バルブ撮影、タイム撮影
オートフォーカス	
型式	ハイスピードイメージャ AF
測距点	81点
測距点選択	自動選択・任意選択
露出制御	
測光方式	TTL測光方式(イメージャ測光) デジタルESP測光/中央重点平均測光/スポット測光
測光範囲	EV -2 ~ 20 (M.ZUIKO DIGITAL 17mm f2.8. ISO100相当)
撮影モード	AUTO : iオート / P : プログラムAE (プログラムシフト可能) / A : 絞り優先AE / S : シャッター優先AE / M : マニュアル / II : フォトストーリー / ART : アートフィルター / SCN : シーン / ☺ : ムービー
ISO感度	LOW、200 ~ 25600 (1/3、1ステップ)
露出補正	±5EV (1/3、1/2、1ステップ)
ホワイトバランス	
型式	撮像素子
設定方式	オート/プリセット(7種) / カスタムWB / ワンタッチWB

記録	
記録媒体	SD / SDHC / SDXC / Eye-Fi UHS-II対応
記録方式	デジタル記録、JPEG (DCF準拠)、RAWデータ、MPフォーマット
対応規格	Exif 2.3、DPOF、PRINT Image Matching III、PictBridge
静止画音声	Waveフォーマットに準拠
ムービー	MPEG-4 AVC/H.264 / Motion JPEGに準拠
音声	ステレオPCM 48kHz
再生	
表示形式	1コマ表示 / 拡大表示 / インデックス表示 / カレンダー表示
ドライブ関係	
ドライブモード	1コマ撮影 / 連写 / セルフタイマー
連写性能	最高10コマ/秒 (連写 10時)
セルフタイマー	12秒後撮影 / 2秒後撮影 / カスタム
省電力機能	スリープモード移行: 1分、電源OFF: 4時間 (カスタマイズ可)
外部フラッシュ	
調光方式	TTL-AUTO (TTLプリ発光式) / MANUAL
同調速度	1/250秒以下
無線LAN	
対応規格	IEEE 802.11b / g / n
外部コネクタ	
マルチコネクタ (USB端子 / AV端子) / HDMIマイクロコネクタ (タイプD)	
電源	
電池	リチウムイオン電池 1個
大きさ・質量	
大きさ	123.7 mm (幅) × 85 mm (高さ) × 44.5 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約469 g (電池 / カードを含む)
動作環境	
温度	-10℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)
湿度	30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)
防滴機能	
種類	保護等級1級 (IPX1) : JISC0920/IEC60529相当 (当社試験方法による)

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

■ フラッシュ FL-LM3

ガイドナンバー	9.1 (ISO100・m) 12.9 (ISO200・m)
照射角	12mmレンズ(35mmフィルム換算24mm相当)の画角をカバー
大きさ	約43.6 mm (幅)×49.4 mm (高さ)×39 mm (奥行き)
質量	約51 g
防滴機能	種類 保護等級1級(IPX1) : JISC0920/IEC60529相当(当社試験方法による)

■ リチウムイオン電池

MODEL NO.	BLN-1
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.6 V
公称容量	1220 mAh
充放電回数	約500回(使用する条件により異なります。)
使用周囲温度	0°C～40°C (充電)
大きさ	約36.0 mm (幅)×15.4 mm (高さ)×50.2 mm (奥行き)
質量	約52 g

■ リチウムイオン充電器

MODEL NO.	BCN-1
定格入力	AC100 V～240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC8.7 V、600 mA
充電時間	約4時間(常温)
使用周囲温度	0°C～40°C (動作時) / -20°C～60°C (保存時)
大きさ	約67 mm (幅)×26 mm (高さ)×95.5 mm (奥行き)
質量(電源コード含まず)	約77 g

- 付属のACケーブルは、本機専用のケーブルですので、他の機器に使用しないでください。
また、他の機器のケーブルを本機に使用しないでください。

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⚠ 危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高压容器で加熱しない
- 電磁器の上や傍らに置かない
- 端子を金属類で接続しない
- 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 高温になる場所で使用・放置しない
直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

充電器が、熱い、異臭や異常音がる、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- 充電器を布などで覆った状態で使用しない
- 充電器を分解・改造しない
- 充電器は指定の電源電圧で使用する

⚠ 警告

製品の取扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- フラッシュやLED (AFイルミネータ含む) を人(特に乳幼児)に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。

- 幼児や子供の手の届く場所に放置しない
以下のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器以外は使用しない
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。
- 通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- 水や海水などの液体で濡らさない
- 濡れた手で触ったり持ったりしない
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 膨れた電池を無理に機器に取り付けない
発熱、破裂、発火の原因となります。
- 落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 充電器や機器に接続時、無理に接続しない
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高压容器などに入れない
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない
発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
- 液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

充電器の取扱いについて

- コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持つ
電源プラグを持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線LAN機能について

- 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 航空機内では電源を切る
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。

⚠ 注意

製品の取扱いについて

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け屋外で行ってください。)
- 濡れた手でカメラを操作しない
故障・感電の原因となることがあります。
- カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- 長期間保管する場合は、涼しいところに保管してください。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 当社製リチウムイオン充電電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

充電器の取扱いについて

- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。

電源コードの取扱いについて

- 付属の電源コードは、本製品専用のコードですので、他の機器に使用しないでください。また、他の機器のコードを本製品に使用しないでください。

交換レンズの取り扱いについて

- レンズまたは光学ビューファインダー(外付け)で直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害を起こすことがあります。
- 使用しないときはレンズキャップを付けて保管する
太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。
以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつかけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- ファインダーを直射日光や強い光源に向けて放置しないでください。焼きつきを起こすことがあります。
- カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。
ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。
使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなる場合があります。
- SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れない
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- 水につけたり水をかけたりしないでください。
- 落下したり強い力を加えないでください。
- レンズの可動部で保持しないでください。
- レンズ面に直接触れないでください。
- 電気回路接点部に直接触れないでください。
- 急激な温度変化をかけないでください。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - プリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。
充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。

- 海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
- 詳しくは一般社団法人JBRC ホームページ(<http://www.jbrc.com>)をご覧ください。



Li-ion

- モニターは強く押さないでください。
画面上ににじみが残ったり、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。

- モニターの画面上下に光が帯状に見えることがあります。故障ではありません。
- 被写体が斜めるとき、モニターにギザギザが見えることがあります。故障ではありません。
記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。
- 本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられています。一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。
また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、又は改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定省電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS/OFMD変調方式を採用しており、干渉距離は、40 m以下です。

2.4DS/OF4

本製品を購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任は負えません。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

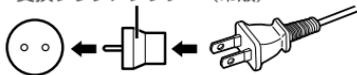
接続ケーブル、ACアダプタ(ACアダプタ対応機種のみ)は、必ず、当製品指定のものをお使いください。

指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

海外での使用について

- 充電器とUSB-ACアダプタは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V(50/60Hz)でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプタ(市販)が必要になる場合があります。

変換プラグアダプター (市販)



Eye-Fiカードについて

- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、カードの機能を停止してください。
- Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用すると電池の消耗が早くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなる場合があります。

11

安全にお使いいただくために

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

MacintoshおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

Eye-FiはEye-Fi,Incの登録商標です。

階調自動調整機能は、Apical Limitedの特許技術を使用しています。



Micro Four Thirds / Four ThirdsおよびMicro Four Thirds / Four Thirdsロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。

Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。



その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、カメラに同梱されたCD-ROMまたは以下のURLのウェブサイトに必要な応じて準備されたsoftware notice PDFファイル内に見出すことができます。

<http://www.olympus.co.jp/en/support/imgsdigicamera/download/notice/notice.cfm>

12 ファームウェアによる追加・変更

カメラのファームウェアのアップデートにより、以下の機能が追加・変更されます。

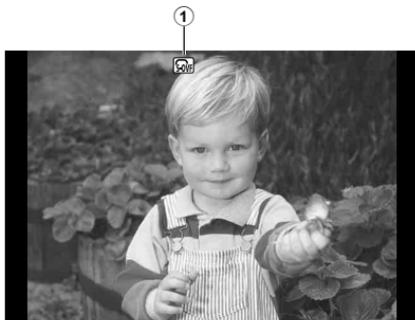
ファームウェア Ver2.0の追加・変更機能	
ファインダー撮影時のファインダー内表示	168
ピクチャーモード([水]水中)追加	168
ブラケット撮影([Focus BKT]追加)	169
インターバル撮影([タイムラプス動画設定]追加)	169
ICレコーダーによるムービー音声録音	170
 AF/MF [MFクラッチ]追加	170
 表示/音/接続 [LVダイナミックレンジ拡大]、[マルチFn表示設定]変更	171
 動画 [PCMレコーダー 接続]変更 [高感度ノイズ低減]、[ピクチャーモード]追加	171
 内蔵EVF [OVFシミュレーション]追加	172
ボタン機能	172
OI.Share (Ver2.6対応)	172
OLYMPUS Capture (Ver1.1対応)	172
初期設定	173
ファームウェア Ver3.0の追加・変更機能	
ハイライト部/シャドウ部の明るさを変えて撮影する(中間部の調整に対応)	174
 露出/測光/ISO [連動スポット測光]追加	174
ファームウェア Ver4.0の追加・変更機能	
ブラケット撮影([深度合成]追加)	175
アートフィルター ([ブリーチバイパス]追加)	175

12

ファームウェアVer2.0の追加・変更機能

ファインダー撮影時のファインダー内表示

OVFシミュレーションのアイコン表示が追加されました。



① OVFシミュレーション P.172

ピクチャーモード([水中]追加)

ピクチャーモード(P.68)に[ 水中]設定が追加されました。

 水中	水中写真にあった色鮮やかな色彩に仕上げます。
--	------------------------

メモ

- ・ [ 水中]を設定して撮影するときは、カスタムメニュー(MENU → % → )の[ +WB連動]を[Off]に設定することをおすすめします(P.104)。

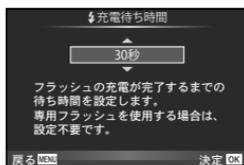
ブラケット撮影([Focus BKT]追加)

ブラケット撮影(P.88)に[Focus BKT] (フォーカスブラケット撮影)が追加されました。

Focus BKT

1コマごとにピント位置を変えて撮影するフォーカスブラケット撮影の設定を行います。撮影開始時のピント位置から、速くに向かってピントを移動させながら撮影します。[撮影枚数]で1回の撮影枚数を、[フォーカスステップ]でピント位置の間隔を、[充電待ち時間]で外部フラッシュ使用時のフラッシュ充電の待ち時間を設定できます。[フォーカスステップ]の設定値を小さくするとピント位置の間隔が狭くなり、大きくすると広くなります。シャッターボタンを全押ししてすぐに指を放すと、設定した枚数まで撮影し続けます。途中で撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- フラッシュ撮影は、シャッター速度を1/20秒以下に行ってください。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカスブラケット撮影はできません。
- フォーカスブラケット撮影中にズーム操作やピント合わせを行うと、撮影は終了します。
- ピント位置が∞に達すると撮影が終了します。



インターバル撮影([タイムラプス動画設定]追加)

インターバル撮影(P.87)に[タイムラプス動画設定]が追加されました。

タイムラプス動画設定	[ムービーサイズ]: タイムラプス動画のサイズを設定します。 [フレームレート]: タイムラプス動画のフレームレートを設定します。
------------	--

注意

- [タイムラプス動画設定]の[ムービーサイズ]を[4K]に設定して撮影されたムービーはHDMI出力できません。
- [4K]で撮影されたムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。

ICレコーダーによるムービー音声録音

ICレコーダーを使って、ムービー音声を録音できます。

ICレコーダーをマイク端子に接続して録音します。接続には、抵抗無しタイプのケーブルをご使用ください。

あらかじめカスタムメニュー（MENU →  → ）の[PCMレコーダー 接続]で、[カメラ側録音調整]を設定してください(P.171)。

オリンパス製ICレコーダー LS-100を使ってムービー音声を録音する

オリンパス製ICレコーダー LS-100を使ってムービー音声を録音するときは、カメラの操作でスレートトーン発音や録音開始・終了することができます。

あらかじめカスタムメニュー(MENU →  → )の[PCMレコーダー 接続]で、[スレートトーン]と[REC同期]を[On]に設定してください(P.171)。

また、必ずLS-100のファームウェアを最新にしてお使いください。

1 LS-100をUSB端子とマイク端子に接続します。

- LS-100をUSB端子に接続すると、接続方法を選ぶ設定画面が表示されます。[PCMレコーダー]に設定してください。接続方法を選ぶ設定画面が表示されないときは、カスタムメニューの[USB接続モード] (P.101)を[オート]に設定してください。

2 ムービー撮影を開始します。

- 同時にLS-100が録音を開始します。
- ボタンを長押しすると、スレートトーンを記録できます。

3 ムービー撮影を終了します。

- 同時にLS-100が録音を終了します。

メモ

- LS-100の取扱説明書も合わせてご覧ください。

AF/MF

カスタムメニュー（MENU →  → ）に下記設定が追加されました(P.98)。

[MFクラッチ]追加

メニュー項目	説明	
MFクラッチ	[無効]にすると、レンズのマニュアルフォーカスクラッチまたはスナップショットフォーカスを使ったMF（マニュアルフォーカス）操作ができなくなります。MF操作をするときは、レンズのフォーカスリングを前方の位置にして行ってください。 • レンズのファームウェアを最新にしてお使いください。	134

🔊 表示/音/接続

カスタムメニュー (MENU → 🌐 → 📺) の下記設定が変更されました (P.100)。

[LVダイナミックレンジ拡大]、[マルチFn表示設定]変更

メニュー項目	説明	🔊
LVダイナミックレンジ拡大	[LVダイナミックレンジ拡大]は、[OVFシミュレーション]に変更されました。	172
マルチFn表示設定	マルチファンクションにOVFシミュレーションが追加されました。	—

🎥 動画

カスタムメニュー (MENU → 🌐 → 🎥) の下記設定が変更・追加されました (P.105)。

[PCMレコーダー 📺接続]変更

メニュー項目	説明	🔊
PCMレコーダー 📺 接続	[カメラ側録音調整]：[無効]にすると、カメラの音声記録設定を無効にし、ICレコーダーの設定で録音します。 [スレートトーン]：スレートトーン発音を設定します。 [📺REC同期]：[On]にすると、カメラのムービー撮影開始・終了と同時に自動的にICレコーダーの録音を開始・終了されます。	170

[📺高感度ノイズ低減]、[📺ピクチャーモード]追加

メニュー項目	説明	🔊
📺高感度ノイズ低減	高感度動画撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。	—
📺ピクチャーモード	[On]にすると、編集に適したピクチャーモードで動画を撮影します。	—

内蔵EVF

カスタムメニュー (MENU →  → ) に下記設定が追加されました (P.107)。

[OVFシミュレーション]追加

メニュー項目	説明	
OVFシミュレーション	<p>[On]にすると、ファインダーに表示される画像を、光学ビューファインダーのように表示します。[OVFシミュレーション]を使うと暗部のディテールを確認しやすくなります。</p> <ul style="list-style-type: none">• [OVFシミュレーション]を開始すると、ファインダー内に  が表示されます。• ホワイトバランス、露出補正、ピクチャーモードなどのカメラの設定は、表示には反映されません。	—

ボタン機能

ボタン機能 (MENU →  →  → [ボタン機能]) に下記機能が追加されました (P.64)。

OVFシミュレーション	ファインダーに表示される画像を光学ビューファインダーのように表示します。ボタンを押して [OVFシミュレーション] を開始すると、ファインダー内に  が表示されます。[OVFシミュレーション] を終了するにはもう一度ボタンを押します。
-------------	--

- [マルチFn]にも、 (OVFシミュレーション)が追加されました。
- iオートモード (i**AUTO**)、アートフィルターモード (i**ART**)、シーンモード (i**SCN**)、フォトストーリーモード、ムービーモード (i**MOV**)では、[OVFシミュレーション]を設定できません。

Ol.Share (Ver2.6対応)

Ol.Share Ver2.6に対応しました。

OLYMPUS Capture (Ver1.1対応)

OLYMPUS Capture Ver1.1に対応しました。

USBケーブルでパソコンと接続し、OLYMPUS Captureを使って、撮影や設定変更、撮影した写真の転送ができます。

初期設定

新機能の初期設定および初期設定が変更された機能は以下の通りです。

*1: [マイセット]が登録可能な機能

*2: [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能

*3: [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

📷撮影メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
📷	インターバル撮影設定	Off					
	タイムラプス	ムービーサイズ		✓	✓	169	
	動画設定	フレームレート					
📷	ブラケット撮影	Focus BKT	Off	✓	✓	✓	169
		撮影枚数	99	✓	✓	✓	169
		フォーカスステップ	5	✓	✓	✓	169
		🔌充電待ち時間	0秒	✓	✓	✓	169

⚙️カスタムメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
⚙️	AF/MF						
	MFクラッチ	有効	✓	✓	✓	170	
	📺表示/音/接続						
	マルチFn表示設定	カラークリエイター、拡大、 📷ISO/📷WB、 📷WB/📷ISO、 アスペクト比設定、OVFシミュレーション		✓	✓		171
	🎞️動画						
	🔊高感度ノイズ低減	標準		✓	✓	171	
	📺ピクチャーモード	Off	✓	✓		171	
	PCMレコーダー 📺接続	カメラ側録音調整	有効				
		スレートトーン	Off		✓		171
		📷REC同期	Off				
	📷内蔵EVF						
	OVFシミュレーション	Off	✓	✓	✓	172	

12

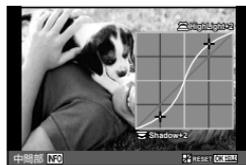
ファームアップによる追加・変更

ファームウェアVer3.0の追加・変更機能

ハイライト部/シャドウ部の明るさを変えて撮影する

ハイライト部/シャドウ部の設定(P.50)で中間部の調整に対応しました。

【ハイライト&シャドウコントロール】の設定画面で**INFO**ボタンを押すと、中間部の調整画面に切り換わります。



露出/測光/ISO

カスタムメニュー (MENU → * → 3) に下記設定が追加されました(P.102)。

【連動スポット測光】追加

メニュー項目	説明	設定
【連動スポット測光】	【スポット】、【スポットハイライト】、【スポットシャドウ】のそれぞれのスポット測光位置をAFターゲットに連動させるかどうかを設定します。	—

ファームウェアVer4.0の追加・変更機能

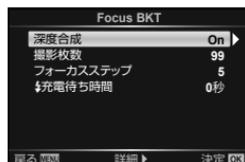
ブラケット撮影([深度合成]追加)

ブラケット撮影(P.169)に[深度合成]が追加されました。

Focus BKT (深度合成)

ピント位置を自動的に変えて8コマ撮影して合成し、手前から奥まで広い範囲にピントが合った1枚のJPEG画像を作成します。

- ピントを合わせた位置を中心に自動的にピント位置を変え、1回の撮影で8コマ撮影します。
- 合成に失敗した場合、合成画像は保存されません。
- 撮影中にズーム操作やピント合わせを行うと、撮影は終了します。
- 合成画像は、画角が狭くなります。
- [深度合成]撮影で使用可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。
- 他のブラケット撮影との併用はできません。



アートフィルター ([ブリーチバイパス]追加)

アートフィルター (P.28)に[ブリーチバイパス]が追加されました。

ブリーチバイパス I / II	映画撮影などで用いられた「銀残し(ブリーチバイパス)」の効果を加えることで、街並みなどの情景や金属の質感をより印象的に表現します。
-----------------	---

IIは、オリジナル(I)に対して変化をつけたものです。

索引

記号

⚡RCモード	139
🗨️ (言語切り換え)	97
📄/📄メニュー表示	97
[••] Home登録	98
☺ (顔優先AF)	47, 98
📷H設定	99
📷L設定	99
📷/Info表示設定	100
📷Control表示	100
🔒プレビューロック	101
⚡低速制限	103
⚡同調速度	103
📷+F連動	103
⚡+WB連動	104
📷警告レベル	107
📷高感度ノイズ低減	171
📷ピクチャーモード	171
📷モード	105
📷/📷	65
📷 (インデックス再生)	77
📷📷コントロール (カメラコントロール)	101
🔍 (クローズアップ再生)	77
🗑️ (1コマ消去)	79
✓ (画像選択)	80

英数

A (絞り優先撮影)	33
AdobeRGB	103
AEL/AFLモード	108
AEL測光モード	102
AEロック	17, 65, 108
AFイルミネータ(AF補助光)	98
AFターゲット選択([••])	46
AF方式	49, 98
ART (アートフィルター)	21, 28
B-Fn1ボタン	137
B-Fn2ボタン	137

BKT (ブラケット撮影)	88
BULB	35
BULB/TIME輝度設定	102
BULB/TIME中MF	98
BULB/TIMEリミッター	102
C-AF	49
C-AF+TR	49
dpi設定	104
Eye-Fi 設定	107
Focus BKT	169
HDMI	100
HDR撮影	51
Home登録([••]Home登録)	98
iAUTO (iAUTO)	21, 24, 37
INFO	20, 46, 50, 75
Info表示設定(📷/Info表示設定)	100
ISOオート設定	102
ISOオート有効	102
ISO感度	52
ISO感度	102
ISO感度ステップ	102
JPEG編集	95
L-Fnボタン	64
LIVE TIME	35
LVスーパーコンパネ	43
LVブースト	100
M (マニュアル撮影)	35
MFアシスト	98, 109
MF切換	65
MFクラッチ	170
MF (マニュアルフォーカス)	49, 134
OI.Share	172
OLYMPUS Capture	172
OVFシミュレーション	172
PCMレコーダー🔌接続	105, 171
Ps (プログラムシフト)	32
P (プログラム撮影)	32
RAW	59
RAW+JPEG消去	104
RAW編集	94

S (シャッター優先撮影)	34
RCモード(⚡RCモード)	139
S-AF	49
S-AF+MF	49
SCN (シーンモード)	21, 26
SDカード	130
フォーマット(初期化)	83
sRGB	104
USB接続モード	101
WBオート 電球色残し	104
WB (ホワイトバランス)	53, 103
Wi-Fi設定	120

かな

あ

アートLVモード	101
アートエフェクト機能	29
アートフィルター	28
アートフェード	38
アスペクト比設定	58
圧縮	58, 131
位置情報	119
印刷(プリント)	125
インターバル撮影	87, 169
インデックス再生	77, 81, 113
音声録音	80, 96
音量調整	78

か

カード	12, 130
カードセットアップ	83
回転	77
回転再生	94
顔優先AF	47, 98
拡大枠AF	48
風切り音低減	105
画質設定	103
カスタムメニュー (⚙)	98
画像合成	96
画像サイズ	131
静止画	58
ムービー	60

画像編集	94
カメラコントロール ( コントロール)	101
画面表示	17
再生時	74
撮影時	17
カラークリエイター	50
カラー設定	104
カレンダー再生	77, 81, 113
クイック撮影	42
クローズアップ再生	77
野線表示	100
言語設定()	97
高感度ノイズ低減	102
合焦音(電子音)	101
コンティニューAF	49
コントロールパネル表示 ( Control表示)	100
コンポジット撮影	36
コンポジット撮影設定	102

さ

再生	76
静止画再生	76, 77
ムービー再生	76, 79
再生メニュー	94
撮影	21
静止画撮影	21
ムービー撮影	38
撮影確認	97
撮影メニュー	83
シーンモード	26
シェア予約	80
シェーディング補正	103
自分撮りアシスト	114
絞り優先撮影(A絞り優先撮影)	33
シャッター優先撮影 (Sシャッター優先撮影)	34
充電	11
消去	79
1コマ消去	79
全コマ消去	83
選択コマ設定	80

初期化(カードセットアップ).....	83
シングルAF	49
水準器	20
水準器調整.....	107
水中ワイド/水中マクロ(📷/👁).....	65
スーパースポットAF (拡大枠AF).....	48
ストレージ.....	122
スマートフォン接続.....	116
スモールターゲット (スモールAFターゲット).....	46
スライドショー	78
スリープ時間.....	15, 101
スロー撮影.....	42
スローシンクロ	62
静音撮影.....	57
セットアップメニュー	97
セルフタイマー	56
全プロテクト解除.....	96
全WBモード補正.....	103
測光.....	52
外付グリップダイヤル機能.....	99

た

タイムコード設定.....	106
タイム撮影.....	35
タイムラプス動画	87
ダイヤル機能.....	99
ダイヤル方向.....	99
多重露出.....	91
タッチAF	23
タッチパネル設定	107
縦横比設定(アスペクト比設定)	58
試し撮り撮影.....	65
長時間露出(BULB/TIME).....	35
長秒時ノイズ低減.....	102
著作権情報.....	105
追尾AF.....	49
低振動撮影.....	57
デジタルシフト撮影	92
デジタルテレコン	65, 86
手ぶれ補正.....	55
テレビ.....	110

電子音	101
電池残量	15
電動ズーム速度	108
動画エフェクト	38
動画中静止画撮影	39

な

流し撮り.....	26
日時設定.....	16

は

バージョン.....	97
ハイダイナミックレンジ(HDR)撮影.....	51
ハイライト&シャドウコントロール.....	50
ハイレゾショット	58
パソコン.....	122
バックライト時間.....	101
パノラマ撮影.....	27
バルブ撮影.....	35
半押し中手ぶれ補正	99
ピーキング表示	101
ピクセルサイズ	103
ピクセルマッピング	149
ピクチャーモード	68, 85
ピクチャーモード表示.....	100
ヒストグラム警告設定.....	100
ヒストグラム表示	20
ビデオ出力.....	100
瞳検出AF (瞳優先AF).....	47
表示罫線選択.....	100
ファイルネーム	104
フォーカスモード(AF方式).....	49
フォーカスリング	98
フォーマット(カードセットアップ).....	83
フォトストーリー	30
プラグインパワー	105
ブラケット撮影	88
フラッシュ低速制限	113
フラッシュ同調速度	113
フラッシュ補正	64
フリッカー低減	101
プリント.....	125

フルタイムAF	98
プレビュー	65
プレビューロック	101
プログラム撮影 (Pプログラム撮影)	32
プログラムシフト	32
保護 (プロテクト)	79
補助光 (AFイルミネータ)	98
ボタン機能	99
ホワイトバランス	53

ま

マイクリップス	40
マイセット	84
マニュアル撮影 (Mマニュアル撮影)	35
マニュアルフォーカス (MF)	49, 134
マルチFn表示設定	101, 171
マルチエコー	38
マルチファンクション	66
ムービー画質設定	106
ムービー効果 (動画エフェクト)	38
ムービー再生	79
ムービー撮影	38
ムービーテレコン	39
ムービー録音	72, 105
無線LAN	120
メニュー表示 (☛/☞メニュー表示)	97
モードガイド表示	100
モードダイヤル機能	99
モニタ調整	97
モノクロ (モノトーン)	68
モノクロ (モノトーン) モノクロ (ラフモノクローム)	28

や

ユーザー登録	123
--------------	-----

ら

ライトボックス	112
ライブBULB/TIME設定	102
ライブガイド	24, 65
ライブコントロール (LVコントロール)	38
ライブコンボジット撮影	36

リセット	84
レリーズタイムラグ	99
レリーズ優先C/S	99
連写	56
連写中手ぶれ補正	99
レンズ手ぶれ補正優先	99
レンズリセット	98
録音	80
録音レベル調整	105
露出基準調整	107
露出ステップ	102
露出補正	45

わ

ワイヤレスRCフラッシュ	139
ワンショットエコー	38
ワンブッシュ消去	104

発行日 2015.09.

OLYMPUS

オリンパス株式会社

● インターネットでの情報入手

<https://olympus-imaging.jp/>

製品仕様、パソコン接続、OS 対応、Q&A などの各種最新情報は、
オリンパスホームページで簡単にご確認いただけます。
上記 URL より [サポート / ダウンロード] のページへお進みください。

● 電話でのお問合せ（オリンパスカスタマーサポートセンター）



0570-073-000

ナビダイヤル

* 携帯電話・PHS からのご利用になれます。

FAX 042-642-7486

* 調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間：平日および土曜・日曜・祝日 9:30 ~ 18:00

* 年末年始、システムメンテナンス日はお休みさせていただきます。

※記載内容は変更されることがあります。